

令和 7 年度

教 育 要 項

教養教育

奈良県立医科大学
医学部 医学科

学籍番号

氏名

目 次

建学の精神・理念・ポリシー	3
奈良県立医科大学医学部医学科授業科目履修要領	6
奈良県立医科大学医学部医学科 カリキュラム図	20
奈良県立医科大学医学部医学科 カリキュラムツリー	21
奈良県立医科大学医学部医学科 アウトカムに対する到達レベル（マイルストーン）	22
奈良県立医科大学医学部医学科 卒業時アウトカム、カリキュラムマップ	23
令和7年度 教養教育 時間割表	29
令和7年度 教養教育 学事計画表	30
授業科目紹介（教養教育）	
基礎物理学	32
電気と磁気の物理学	34
熱とエネルギーの物理学	36
基礎物理学演習	38
基礎物理学実験	40
分析化学	42
有機化学	44
生体分子化学	46
医用材料化学	48
基礎化学実験	50
生命科学概論（基礎）	52
生命科学概論（発展）	55
分子生物学	58
入門生物学	60
基礎生物学	62
基礎生物学実験	64
微積分学および線形代数学	66
データサイエンス数学	70
幾何学入門	72
線形代数学演習	74
微積分学演習	76
生物統計学	78
医療情報学	80
スポーツ実践Ⅰ	82
スポーツ実践Ⅱ	84
健康科学	86
English for Medical Purposes	88

医療に関わる倫理学Ⅰ	94
医療に関わる倫理学Ⅱ	96
哲学	98
アジア文化論	100
西洋文化論	103
教育実践論	106
臨床心理学	110
社会福祉と医療法規	116
市民と法	118
医学研究入門	120
諸学への誘い	122
医の探求入門	123
医学・医療入門講義	125
次世代医療人育成論	126
行動科学Ⅰ	128
デジタル医用工学	131
臨床手技実習入門Ⅰ	133
奈良学	134
早期医療体験実習	135
地域基盤型医療教育コース	136
研究医養成コース	137
緊急医師確保枠学生地域医療特別実習Ⅰ	138
コンソーシアム実習	139
奈良県立医科大学医学部公欠規程	140
奈良県立医科大学医学部医学科における成績評価異議申立てに関する要領	144
出席確認端末について	145
試験に関する諸注意	146
暴風警報発表時における授業の措置について	147
地震発生等災害時における授業の措置について	148
健康管理	149
奈良県立医科大学・附属病院配置図	151

奈良県立医科大学の「建学の精神」

最高の医学と最善の医療をもって地域の安心と社会の発展に貢献します。

奈良県立医科大学の理念

本学は、医学、看護学およびこれらの関連領域で活躍できる人材を育成するとともに、国際的に通用する高度の研究と医療を通じて、医学および看護学の発展を図り、地域社会さらには広く人類の福祉に寄与することを理念とする。

奈良県立医科大学教育分野の理念と方針

理念 豊かな人間性に基づいた高い倫理観と旺盛な科学的探究心を備え、患者・医療関係者、地域や海外の人々と温かい心で積極的に交流し、生涯にわたり最善の医療提供を実践し続けようとする強い意志を持った医療人の育成を目指します。

- 方針**
1. 良き医療人育成プログラムの実践
 2. 教員の教育能力開発と教育の質保証
 3. 教育全般に関する外部有識者評価と学生参加の推進
 4. 学習環境と教育環境の充実

医学科教育目標

奈良県立医科大学は、将来、研究・医療・保健活動を通じて地域社会に貢献し、より広く人類の福祉と医学の発展に寄与できる人材を育成するため、医学・医療に関する基本的な知識、技術、態度・習慣を体得し、独創性と豊かな人間性を涵養し、あわせて生涯学習の基礎をつくることを教育の目標とする。

ディプロマ・ポリシー

所定の期間在学し、カリキュラム・ポリシーに沿って設定した授業科目を履修し、履修規程で定められた卒業に必要な単位と時間数を修得することが学位授与の要件である。卒業時には以下の能力が求められる。

1. 生命の尊厳と患者の権利を擁護できる高い倫理観とプロフェッショナリズムを身につけている。
2. 医学とそれに関連する領域の正しい知識を身につけている。
3. 医療を適切に実践できる知識、技能、態度を身につけている。
4. 良好な医療コミュニケーション能力を身につけている。
5. 医学、医療、保健を通じて地域社会へ貢献する意欲と能力を身につけている。
6. 国際的な視野と科学的探究心を身につけている。

カリキュラム・ポリシー

1. 倫理観とプロフェッショナリズムの育成、コミュニケーション教育

教養教育では、自律心の向上と倫理学教育に重点を置く。プロフェッショナリズム、コミュニケーション教育に資するため、早期から、高齢者や乳幼児、障害者の施設を見学する機会を持ち、現場で人間的触れ合いを通じて知識だけでなく実践的な医療倫理的素養を培うカリキュラムを配置する。

2. 医学、医療とこれらに関連する領域の知識、技能、態度の習得

医学の基盤となる知識を早期から段階的に積み上げていく教育カリキュラムを配置する。

- ① 教養教育では語学や自然科学の基本を習得し、生命科学を学ぶための基盤を作り上げるカリキュラムを配置する。

- ② 基礎医学では、医学の根幹となる解剖学、生理学、生化学を学び、さらに、発展的な基礎医学知識を獲得できるように段階的なカリキュラムを配置する。
- ③ 臨床医学では、広範な知識と基本的臨床技能を習得できるようなカリキュラムを配置する。知識、技能、態度が共用試験（CBT、臨床実習前OSCE）による全国共通試験でも確認された後に、臨床実習生（医学）として臨床実習に参加させる。
- ④ 臨床実習では、診療参加の実態を確保し、医療面接と診療技法を中心に実践的な教育を行う。また、臨床実習の終了時点で臨床実習後OSCEを実施し、得られた臨床技能、態度の確認を行う。

3. 国際的な視野と科学的探究心の育成

すべての学生に、研究マインドを涵養するべく、リサーチ・クラークシップを実施する。関心の高い学生には、早期から生命科学系の研究に参加できるように、6年一貫の「研究医養成コース」を設けている。海外での実習の機会も設ける。

4. 医療を通じた地域社会への貢献

医療システムについての理解を深めることはもちろんであるが、大学内のみならず、奈良県を中心に地域社会、地域医療と関わりを持つ実体験を通じて、奈良の医療を良くしたいという意欲を高める体験型の教育を行っていく。このための6年一貫の「地域基盤型医療教育コース」を設ける。

アドミッション・ポリシー

<アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)>

理念を踏まえ、地域の医療と世界の医学・医療の発展を担い、人類の健康と福祉に貢献できる人材を育成するために、次のような資質を持った人を求めています。

<医学部医学科が求める学生像>

1 医師となる自覚が強く、人を思いやる心をもつ、人間性豊かな人

医師に求められる旺盛な科学的探求心、自然および人間・社会についての幅広い知識と向学心、自ら問題を解決しようとする主体性を持った人を求めます。加えて、豊かな人間性、高い倫理観ならびに社会性を有する人を求めます。

2 患者の立場に立って判断し、患者が安心して受診できる医師となれる人

医師には医学的知識とともに、良好な患者・医師関係を築くことができる十分なコミュニケーション能力、他職種と連携しチーム医療をリードできる能力が必要です。医師として自己研鑽ができ、自己の理念を持っているとともに、協調性に優れた人を求めます。

3 将来性豊かで、奈良県だけでなく日本、世界の医学界をリードできる人

地域医療に貢献するとともに、国際的にも活躍できる医師・研究者を育成します。入学後、世界の医学界でも活躍できる意欲と能力を高め、積極的に地域社会および国際社会に貢献できる人を求めます。

<入学者選抜の基本方針>

高等学校等で学習する全ての教科が医学科教育の土台になるため、いずれの入試においても、大学入学共通テストで、高等学校教育段階においてめざす基礎学力を確認します。

【一般選抜(前期日程及び後期日程)】

本個別学力検査では、医学科の学修に十分対応できる知識とそれを利活用した思考力、判断力及び表現力を確認します。さらに、面接を行い、本学のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに係る資質を確認します。

【学校推薦型選抜】

緊急医師確保枠をはじめ、地域における高度な医療を推進し発展させることを目指す地域枠への入学を希望する者を対象に行います。個別学力検査、面接等で将来、地域医療・医学に貢献しようとする志し及び本学のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに係る資質を確認します。

奈良県立医科大学医学部医学科授業科目履修要領

(目的)

第1条 この要領は、奈良県立医科大学学則（平成19年4月1日。以下「学則」という。）第8条の規定により、奈良県立医科大学医学部医学科の授業科目（以下「科目」という。）の名称、履修方法等に関し必要な事項を定めるものとする。

(教育課程の区分)

第2条 教育課程を次のとおりとする。

- 一 教養教育 第1年次第1学期から第3学期まで
- 二 基礎医学教育
 - ア 基礎医学Ⅰ 第2年次第1学期から第3学期まで
 - イ 基礎医学Ⅱ 第3年次第1学期から第2学期まで
- 三 臨床医学教育
 - ア 臨床医学Ⅰ 第3年次第3学期から第4年次第2学期まで
 - イ 臨床医学Ⅱ 第4年次第3学期から第5年次第1学期まで
 - ウ 臨床医学Ⅲ 第5年次第2学期から第6年次第3学期まで

(科目等)

第3条 開設する科目、単位数、時間数及び履修年次は、教養教育授業科目表（別表1）、専門教育授業科目表（別表2-1、2-2、3）、臨床実習授業科目表（別表4）及び6年一貫教育授業科目表（別表5）のとおりとす。なお、6年一貫教育授業科目に「良き医療人育成プログラム」、「地域基盤型医療教育プログラム」、「臨床マインド育成プログラム」、「研究マインド育成プログラム」、「臨床英語強化プログラム」及び「地域基盤型医療教育コース」、「研究医養成コース」を設置する。

(履修条件・進級・卒業)

第4条 科目の履修、進級及び卒業の条件は次のとおりとする。なお、進級が認められなかった者については、未修得科目に加えてマイプログラム^{※1}を修得しなければ、進級することができない。ただし、卒業が認められなかった者については、この限りでない。

また、「地域基盤型医療教育コース」及び「研究医養成コース」を履修した者については、別に定めるとおりとする。

※1 マイプログラムとは、自己学習力の向上や個人が関心のある分野での成長促進等を目的として、学生ごとのキャリアデザインに沿った教育を実践するプログラムのことをいう。

一 教養教育

教養教育科目（別表1）及び6年一貫教育科目（別表5）を修得しなければ、基礎医学Ⅰに進級することができない。なお、教養教育において、必修科目38単位及び選択科目9単位以上を修得しなければならない。また、選択科目については、履修登録を指定期間内に行わなければならない。

二 基礎医学教育

ア 基礎医学Ⅰ

専門教育科目（別表 2-1）及び 6 年一貫教育科目（別表 5）を修得しなければ基礎医学Ⅱに進級することができない。

イ 基礎医学Ⅱ

専門教育科目（別表 2-2）及び 6 年一貫教育科目（別表 5）を修得し、基礎医学知識到達度評価試験（BNAT: Basic science kNowledge Achievement Test）を受験しなければ臨床医学Ⅰに進級することができない。

三 臨床医学教育

ア 臨床医学Ⅰ

専門教育科目（別表 3）及び 6 年一貫教育科目（別表 5）を修得し、CBT 及び臨床実習前 OSCE に合格しなければ臨床医学Ⅱに進級することができない。

イ 臨床医学Ⅱ

ローテーション型臨床実習（別表 4）及び 6 年一貫教育科目（別表 5）を修得しなければ進級することができない。

ウ 臨床医学Ⅲ

5 年次臨床医学知識到達度評価試験（CNAT: Clinical science kNowledge Achievement Test）を受験し、選択型臨床実習（別表 4）及び 6 年一貫教育科目（別表 5）を修得し、臨床実習後 OSCE 及び卒業試験（統合問題形式の筆記試験）に合格しなければ卒業することができない。なお、卒業できなかった学生は、6 年次の第 1 学期から再履修し、臨床実習後 OSCE 及び卒業試験に合格しなければ、卒業することができない。

（単位の計算方法）

第 5 条 科目の単位数は、1 単位 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、学習方法に応じ、次の基準により、計算するものとする。

- 一 講義については、15 時間をもって 1 単位とする。ただし、科目の内容によっては 30 時間をもって 1 単位とすることができる。
- 二 演習については、30 時間をもって 1 単位とする。ただし、科目の内容によっては 15 時間をもって 1 単位とすることができる。
- 三 実習、実技及び実験については、45 時間をもって 1 単位とする。ただし、科目の内容によっては 30 時間をもって 1 単位とすることができる。

（単位又は授業科目修得の認定）

第 6 条 授業科目の単位又は修得の認定は試験等により、教室主任又は科目責任者が行う。

(試験)

第7条 定期試験は、期日を定めて行う。

一 定期試験の期間は、あらかじめ公示する。

二 定期試験以外に担当教員が必要と認めたときは、臨時試験を行うことがある。

2 試験は筆答及び口頭又はそのいずれかをもって行う。

3 各科目について、授業時間数の3分の2以上出席^{※2}し、かつ担当教員の承認を得なければ当該科目の定期試験を受けることができない。ただし、公欠を認められた期間は、上記の授業時間数には含めないものとする。補講等が実施された場合は当該期間数に含めるものとする。「奈良県立医科大学医学部公欠規程」参照。

4 疾病その他やむを得ない事由のため、所定の期日に定期試験を受けることが出来ない者に対し、当該試験を開始するまでに教育支援課に連絡があった場合に限り、追試験を行う。

5 前項の規定により、追試験を受けようとする場合は、担当教員の承認を得たうえで、やむを得ない事由であることを証する書類を添えて、追試験受験申請書(様式1)を指定された期日までに学長に提出しなければならない。

6 前項に規定する疾病その他やむを得ない事由とは、傷病及び奈良県立医科大学医学部公欠規程第3条第1項第一号から第四号に規定する事由並びにその他学長が認めた場合とする。

7 授業科目の単位又は修得の認定についての評価方法は、別に教育要項で定める。

8 成績は、100点法によって表示し、60点以上をもって合格とする。60点未満の者については、原則として再試験を1回行い、可否を判定する。ただし、再試験の成績表示は、60点を上限とする。

9 定期試験の受験資格を有するが、定期試験を受験せず、かつ、追試験に該当しなかった者が前項の再試験を受けようとする場合は、担当教員の承認を得たうえで、再試験受験申請書(様式2)を指定された期日までに学長に提出しなければならない。

10 追試験又は再試験をやむを得ない事由のために、所定の期日に受験出来ない者は、当該試験が開始されるまでに、教育支援課に連絡があった場合に限り、別日で受験することができる。この場合、追試験受験申請書(様式1)又は再試験受験申請書(様式2)にやむを得ない事由であることを証する書類を添えて、指定された期日までに学長に提出するものとする。ただし、試験日の設定は、欠席した日を含め、追試験と再試験を併せて2日までとする。

11 試験において不正行為を行った者については、当該科目及び関連科目の試験を無効とし、進級又は卒業を停止する。不正行為が悪質であると判断された場合は、学則第41条による懲戒処分を行う。

(成績認定、進級判定)

第8条 成績認定及び進級判定は、教養教育協議会、基礎医学教育協議会、臨床医学教育協議会又は教務委員会から提出された成績資料に基づき、成績認定会議で審議を行う。

2 成績認定会議は、医学科長、教養教育部長、基礎教育部長、臨床教育部長及び教育開発センター専任教員をもって組織する。

3 成績認定及び進級判定の結果は、医学科長が医学部長に報告のうえ学長に報告し、学長が決定するものとし、その結果は、教授会議において報告するものとする。

(卒業認定)

第9条 卒業時の成績認定、授業科目の修了の認定及び卒業の認定は、教授会議で審議を行い、その結果を受けて卒業判定会議で審議を行う。

2 卒業判定会議は、医学科長、教養教育部長、基礎教育部長、臨床教育部長及び教育開発センター教育教授をもって組織する。

3 卒業時の成績認定、授業科目の修了の認定及び卒業の認定の結果は、医学科長が医学部長に報告のうえ学長に報告し、学長が認定するものとし、その結果は、教授会議において報告するものとする。

(雑則)

第10条 この要領に定めるもののほか、科目の履修に関し必要な事項は別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この要領は、平成28年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成28年4月1日より前の進級、卒業要件は従前どおりとする。

3 第3条(2)第2学年及び(3)第3学年における(ウ)教養教育科目については、平成28年度限りとする。

教養教育授業科目は、第1学年の履修科目とし、平成27年度までに入学した学生に対しては、変更後の教養教育授業科目表(別表1)の代わりに、次のとおり、読み替えを行う。

附 則

(施行期日)

1 この要領は、平成29年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成27年度以前に必修科目が修得できないことによって進級できなかった学生の進級要件は、当該科目の再履修のみとする。

附 則

(施行期日)

この要領は、平成29年5月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

1 この要領は、平成30年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成27年度以前に必修科目が修得できないことによって進級できなかった学生の進級要件は、当該

科目の再履修のみとする。

附 則

(施行期日)

この要領は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

この要領は、令和元年12月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

この要領は、令和2年7月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

1 この要領は、令和2年12月1日から施行する。

(経過措置)

2 第4条1項三号イ及びウに規定する5年次臨床医学知識到達度評価試験は、令和2年12月1日以降に臨床実習Ⅰを履修した者に対して適用し、同日前に臨床実習Ⅰを履修した者については、なお従前の例による。

附 則

(施行期日)

1 この要領は、令和3年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 第4条1項の進級が認められなかった者に関する規定は、統合臨床講義については、令和3年12月1日以降に履修した者に対して適用し、同日前に統合臨床講義を履修した者については、なお従前の例による。

附 則

(施行期日)

1 この要領は、令和3年12月1日から施行する。

(経過措置)

2 第7条6項の追試験の成績表示に関する規定は、教養教育及び基礎医学Ⅰについては、令和4年4月1日以降に履修した者に対して適用し、同日前に教養教育又は基礎医学Ⅰを履修した者については、なお従前の例による。

附 則

(施行期日)

- 1 この要領は、令和4年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 第2条1項三号ア、イ及びウ並びに第7条6項の再試験の成績表示に関する規定は、臨床医学教育については、令和4年12月1日以降に履修した者に対して適用し、同日前に臨床医学教育を履修した者については、なお従前の例による。

附 則

(施行期日)

- 1 この要領は、令和4年12月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 第2条1項三号イ及びウ並びに第4条1項三号イ及びウの臨床医学Ⅱ及びⅢの履修内容等に関する規定は、令和4年12月1日以降に臨床医学Ⅱを履修した者に対して適用し、同日前に履修した者については、なお従前の例による。

附 則

(施行期日)

- 1 この要領は、令和5年12月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 第2条1項三号イ及びウ並びに第4条1項三号イ及びウの臨床医学Ⅱ及びⅢの履修内容等に関する規定は、令和4年12月1日以降に臨床医学Ⅱを履修した者に対して適用し、同日前に履修した者については、なお従前の例による。

附 則

(施行期日)

この要領は、令和6年4月1日から施行す

附 則

(施行期日)

この要領は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

この要領は、令和7年4月1日から施行する。

※2 3分の2以上出席の考え方について

学則第41条に規定されているとおり、授業に出席することは学生の本分であり、出席不良者（正当の理由がなくて出席常でないもの）は退学、停学、又はけん責（文書注意）のいずれかの懲戒の対象となる。よって、授業時間数の3分の2を出席すれば、それ以上出席しなくてもよいというものではない。

履修要領第7条第3項に定めている「3分の2以上出席」の趣旨は、例えば、傷病によりやむを得ず欠席した場合等を考慮し、定期試験を受けることができる出席数の下限を定めているものである。

学則（抜粋）

第41条 学長は、学生がこの学則及びこの学則に基く規程並びに学長の指示及び命令にそむき、学生の本分に反する行為があったとき、これに対し懲戒処分として、けん責、停学又は退学の処分をすることができる。ただし、退学の処分は次の各号の一に該当する者のみに行うことができる。

- 一 性行不良で改善の見込がないと認められる者
- 二 学力劣等で成業の見込がないと認められる者
- 三 正当の理由がなくて出席常でない者
- 四 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

別表 1 教養教育 医学科授業科目表

種類	授業科目	選択・必修		授業時間数			単位数	備考
		前期	後期	時間／週	年間週数	計		
1	基礎物理学	◎		2	15	30	2	
	電気と磁気の物理学		△	2	15	30	2	
	熱とエネルギーの物理学		△	2	15	30	2	
	基礎物理学演習	◎		2	15	30	1	
	基礎物理学実験		◎	4	12	48	1	
2	分析化学	◎		2	15	30	2	
	有機化学	◎		2	15	30	2	
	生体分子化学		△	2	15	30	2	
	医用材料化学		△	2	15	30	2	
	基礎化学実験		◎	4	12	48	1	
3	生命科学概論（基礎）	□	□	2	30	60	4	
	生命科学概論（発展）	□	□	2	30	60	4	
	分子生物学		△	2	15	30	2	
	入門生物学		△	2	15	30	2	
	基礎生物学		△	2	15	30	2	
	基礎生物学実験	◎		4	12	48	1	
4	微積分学および線形代数学	◎	◎	2	30	60	4	
	データサイエンス数学		△	2	15	30	2	
	幾何学入門		△	2	15	30	2	
	線形代数学演習	△		2	15	30	1	
	微積分学演習	△		2	15	30	1	
5	生物統計学	◎		2	15	30	2	
	医療情報学		△	2	15	30	2	
6	スポーツ実践Ⅰ	◎		2	15	30	1	
	スポーツ実践Ⅱ		◎	2	15	30	1	
	健康科学	△		2	15	30	2	
7	English for Medical Purposes	◎	◎	4	30	120	4	
8	医療に関わる倫理学Ⅰ	◎		2	15	30	2	医看合同(注3)
	医療に関わる倫理学Ⅱ		△	2	15	30	2	医看合同(注3)
	哲学	△		2	15	30	2	医看合同(注3)
9	アジア文化論 (注1)	◎		2	15	30	1	医看合同(注3)
	西洋文化論 (注2)		◎	2	15	30	1	医看合同(注3)
	異文化論	△		2	15	30	2	※令和7年度は不開講 医看合同(注3)
10	教育実践論	◎		2	15	30	2	医看合同(注3)
	臨床心理学		◎	2	15	30	2	医看合同(注3)
	社会福祉と医療法規		◎	2	15	30	2	医看合同(注3)
	行動科学Ⅰ		◎	2	15	30	2	
	市民と法		△	2	15	30	2	
11	医学研究入門	△		2	15	30	2	
12	諸学への誘い	△		—	—	—	1	

◎…必修科目、□…選択必修科目、△…選択科目

(注1) 「ア ジ ア 文 化 論」：中国文化、韓国文化、インドネシア文化

(注2) 「西 洋 文 化 論」：ドイツ文化、フランス文化、アメリカ文化

(注3) 医 学 看 護 学 合 同 教 育 科 目：医学科及び看護学科共通科目

別表2-1 基礎医学Ⅰ 専門教育授業科目表

区分	授業科目	主担当講座	授業時間数
講義	解剖学Ⅰ	解剖学第一	39
	解剖学Ⅱ	解剖学第二	54
	発生・再生医学	発生・再生医学	27
	生理学Ⅰ	生理学第一	51
	生理学Ⅱ	生理学第二	51
	生化学	生化学	57
合 計			279

区分	授業科目	主担当講座	授業時間数
実習	人体解剖実習	解剖学第一 / 解剖学第二	96
	解剖学Ⅰ実習	解剖学第一	9
	解剖学Ⅱ実習	解剖学第二	21
	生理学Ⅰ実習	生理学第一	42
	生理学Ⅱ実習	生理学第二	42
	生化学実習	生化学	36
合 計			246

別表2-2 基礎医学Ⅱ 専門教育授業科目表

区分	授業科目	主担当講座	授業時間数
講義	病理学	分子病理学	42
	病原体・感染防御医学	病原体・感染防御医学	45
	微生物感染症学	微生物感染症学	30
	免疫学	免疫学	45
	薬理学	薬理学	27
	衛生学・公衆衛生学Ⅰ	疫学・予防医学	63
合 計			252

区分	授業科目	主担当講座	授業時間数
実習	病理学実習	分子病理学	6
	病原体・感染防御医学実習	病原体・感染防御医学	12
	微生物感染症学実習	微生物感染症学	21
	免疫学実習	免疫学	12
	薬理学実習	薬理学	33
合 計			84

別表3 臨床医学Ⅰ 専門教育授業科目表

授業科目	担当講座		授業時間数
	主担当講座	関係講座	
循環器疾患	循環器内科学	胸部・心臓血管外科学、小児科学、放射線診断・IVR学、薬理学、先天性疾患センター	26
呼吸器疾患	呼吸器内科学	胸部・心臓血管外科学、小児科学、放射線診断・IVR学、病理診断学、薬理学	26
肝・胆・脾疾患	消化器内科学	消化器・総合外科学、放射線診断・IVR学、病理診断学、総合画像診断センター	17
消化管・乳腺疾患	消化器・総合外科学	消化器内科学、小児科学、放射線診断・IVR学、分子病理学、教育開発センター	29
小児疾患	小児科学	総合周産期母子医療センター 新生児集中治療部門（NICU）	12
腎疾患・尿路系疾患	泌尿器科学	腎臓内科学、小児科学、放射線診断・IVR学、病理診断学、透析部、薬理学	29
画像診断・IVR	放射線診断・IVR学	中央放射線部、総合画像診断センター	7
膠原病・アレルギー疾患	腎臓内科学	呼吸器内科学、脳神経内科学、整形外科、小児科学、皮膚科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科学	10
血液疾患	血液内科学／輸血部	感染症内科学、小児科学、病理診断学、輸血部	24
神経疾患	脳神経内科学／脳神経外科学	泌尿器科学	33
移植・再生医学	胸部・心臓血管外科学	血液内科学、消化器・総合外科学、眼科学、小児科学、口腔外科学、リハビリテーション医学、形成外科学、透析部、発生・再生医学、免疫学、手の外科学	17
運動器疾患	整形外科	リハビリテーション医学、手の外科学、骨軟部腫瘍制御・機能再建医学、スポーツ医学、玉井進記念四肢外傷センター	16
眼疾患	眼科学	－	14
精神・行動疾患	精神医学	－	24
皮膚疾患	皮膚科学	－	10
耳鼻咽喉疾患	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	放射線診断・IVR学	14
東洋医学	教育開発センター	産婦人科学、泌尿器科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科学、麻酔科学、大和漢方医学薬学センター	7
感染症	感染症内科	小児科学、病原体・感染防御医学、微生物感染症学、免疫学、薬理学、前立腺小線源治療学	17
内分泌代謝栄養疾患	糖尿病・内分泌内科学	循環器内科学、腎臓内科学、消化器内科学、脳神経内科学、産婦人科学、眼科学、小児科学、病理診断学	25
口腔疾患	口腔外科学	－	14
周産期医学	産婦人科学	総合周産期母子医療センター 新生児集中治療部門（NICU）	19
婦人疾患	産婦人科学	放射線診断・IVR学、病理診断学	12
臨床腫瘍学・放射線治療学	放射線腫瘍医学	呼吸器内科学、消化器・総合外科学、精神医学、放射線診断・IVR学、病理診断学、がんゲノム・腫瘍内科学、免疫学、薬理学、疫学・予防医学、分子病理学、中央臨床検査部、中央放射線部、緩和ケアセンター、医療情報部	26
麻酔・疼痛管理	麻酔科学	薬理学	17
外傷・救急医学	救急医学	脳神経外科学、胸部・心臓血管外科学、玉井進記念四肢外傷センター、集中治療部	18
総合診療	総合医療学	－	10
在宅医療学	総合医療学	－	6
衛生学・公衆衛生学Ⅱ	公衆衛生学	疫学・予防医学、教育開発センター、生命倫理管理室	27
社会フィールド系実習			30
法医学	法医学	－	24
社会フィールド系実習			30
病理学実習	病理診断学	－	21
合 計			611

別表4 臨床実習授業科目表

授業科目	分類	診療科	授業時間数 (週)
ローテーション型臨床実習	内科	循環器内科	1
		腎臓内科	1
		呼吸器・アレルギー内科	1
		血液内科、輸血部	1
		感染症内科	1
		消化器・代謝内科、中央内視鏡・超音波部	1
		糖尿病・内分泌内科	1
		脳神経内科、脳卒中センター	1
	外科	消化器外科・小児外科・乳腺外科	1
		心臓血管外科・呼吸器外科、先天性心疾患センター	1
		脳神経外科	1
		整形外科、四肢外傷センター	1
	専門性の高い診療科	歯科口腔外科	1
		眼科	1
		皮膚科、形成外科	1
		泌尿器科、透析部	1
		耳鼻咽喉・頭頸部外科、めまいセンター	1
		放射線・核医学科、総合画像診断センター、IVRセンター	1
		放射線治療科	1
		麻酔科、ペインセンター、中央手術部、緩和ケアセンター	1
		救急科	1
		リハビリテーション科	1
		腫瘍内科	1
		中央臨床検査部／病理診断科	1
	合計		24
選択型臨床実習	必修	産婦人科	4
		小児科、NICU	4
		精神科	4
		総合診療科	4
		内科から1診療科	4
		外科から1診療科	4
	選択	選択実習 4週×5ターム	20
	合計		44

別表5 6年一貫教育授業科目表

《A 良き医療人育成プログラム》

No.	授 業 科 目	区分	教養教育	基礎医学Ⅰ	基礎医学Ⅱ	臨床医学Ⅰ	臨床医学Ⅱ	臨床医学Ⅲ	授業 時間数
1	医の探求入門（※注1）	必修	◎						26
2	奈良学（※注2）	必修	◎						30
3	次世代医療人育成論	必修	◎						30
4	ロールモデルを探す	必修		◎					9
5	VOP講座	必修		◎					9
6	基礎医学Ⅰ TBL	必修		◎					30
7	基礎医学Ⅱ TBL	必修			◎				30
8	臨床医学TBL	必修					◎		15
9	私のキャリアパスⅠ	必修			◎				12
10	私のキャリアパスⅡ	必修					◎		7
11	キャリアパス・メンター実習（※注3）	必修						◎	16
12	行動科学Ⅰ（※注4）	必修	◎						30
13	行動科学Ⅱ	必修				◎			9
14	医療安全学Ⅰ（基礎編）	必修			◎				9
15	医療安全学Ⅱ（臨床編）	必修					◎		18
16	実践的医療倫理Ⅰ	必修				◎			9
17	実践的医療倫理Ⅱ	必修						◎	3
18	チーム医療論	必修					◎		6
19	Never do harm！	必修					◎		15
合 計									313

- （注1） 《D 研究マインド育成プログラム》NO.1と同一授業科目
（注2） 《B 地域基盤型医療教育プログラム》NO.1と同一授業科目
（注3） 《C 臨床マインド育成プログラム》NO.8と同一授業科目
（注4） 教養教育授業科目の必修科目（別表1参照）

《B 地域基盤型医療教育プログラム》

No.	授 業 科 目	区分	教養教育	基礎医学Ⅰ	基礎医学Ⅱ	臨床医学Ⅰ	臨床医学Ⅱ	臨床医学Ⅲ	授業 時間数
1	奈良学（※注5）	必修	◎						30
2	地域医療実習1	必修			◎				24
3	地域医療実習2	必修						◎	30
4	早期医療体験実習（※注6）	必修	◎						24
5	緊急医師確保枠学生 地域医療特別実習1（※注7）	必修	◎	◎	◎	◎			30
6	緊急医師確保枠学生 地域医療特別実習2（※注8）	必修					◎	◎	10
7	コンソーシアム実習〈地域医療学概論〉 （早稲田大・奈良医大連携講座）（※注9）	必修	◎ 夏季休暇中						24
合 計									172

- （注5） 《A 良き医療人育成プログラム》NO.2と同一授業科目
（注6） 《C 臨床マインド育成プログラム》NO.3と同一授業科目
（注7） 1～4年の緊急医師確保入学試験枠の学生が履修
（注8） 5～6年の緊急医師確保入学試験枠の学生が履修
（注9） 夏季休暇中に行う集中講義 ※緊急医師確保入学試験枠の学生は、履修が必修

《C 臨床マインド育成プログラム》

No.	授 業 科 目	区分	教養教育	基礎医学Ⅰ	基礎医学Ⅱ	臨床医学Ⅰ	臨床医学Ⅱ	臨床医学Ⅲ	授業時間数
1	医学・医療入門講義	必修	◎						30
2	デジタル医用工学（※注10）	必修	◎						8
3	早期医療体験実習（※注11）	必修	◎						24
4	臨床手技実習入門Ⅰ	必修	◎						22
5	臨床手技実習入門Ⅱ	必修		◎					30
6	臨床手技実習入門Ⅲ	必修			◎				30
7	臨床手技実習	必修				◎			41
8	キャリアパス・メンター実習（※注12）	必修						◎	16
9	救急車同乗実習	自由		□					－
合 計									201

（注10） 《D 研究マインド育成プログラム》N0.2と同一授業科目

（注11） 《B 地域基盤型医療教育プログラム》N0.4と同一授業科目

（注12） 《A 良き医療人育成プログラム》N0.11と同一授業科目

《D 研究マインド育成プログラム》

No.	授 業 科 目	区分	教養教育	基礎医学Ⅰ	基礎医学Ⅱ	臨床医学Ⅰ	臨床医学Ⅱ	臨床医学Ⅲ	授業時間数
1	医の探求入門（※注13）	必修	◎						26
2	デジタル医用工学（※注14）	必修	◎						8
3	医学研究入門	選択	○						30
4	リサーチ・クラークシップ	必修		◎					252
5	研究医特別メンター実習（※注15）	必修		◎	◎	◎			－
6	コンソーシアム実習（医工学と医学） （早稲田大・奈良医大連携講座）（※注16）	必修	◎ 夏季休暇中						24
合 計									340

（注13） 《A 良き医療人育成プログラム》N0.1と同一授業科目

（注14） 《C 臨床マインド育成プログラム》N0.2と同一授業科目

（注15） 研究医養成コースの学生は、基礎医学Ⅰ～臨床医学Ⅰでの履修が必修

（注16） 夏季休暇中に行う集中講義 ※研究医養成コースの学生は、履修が必修

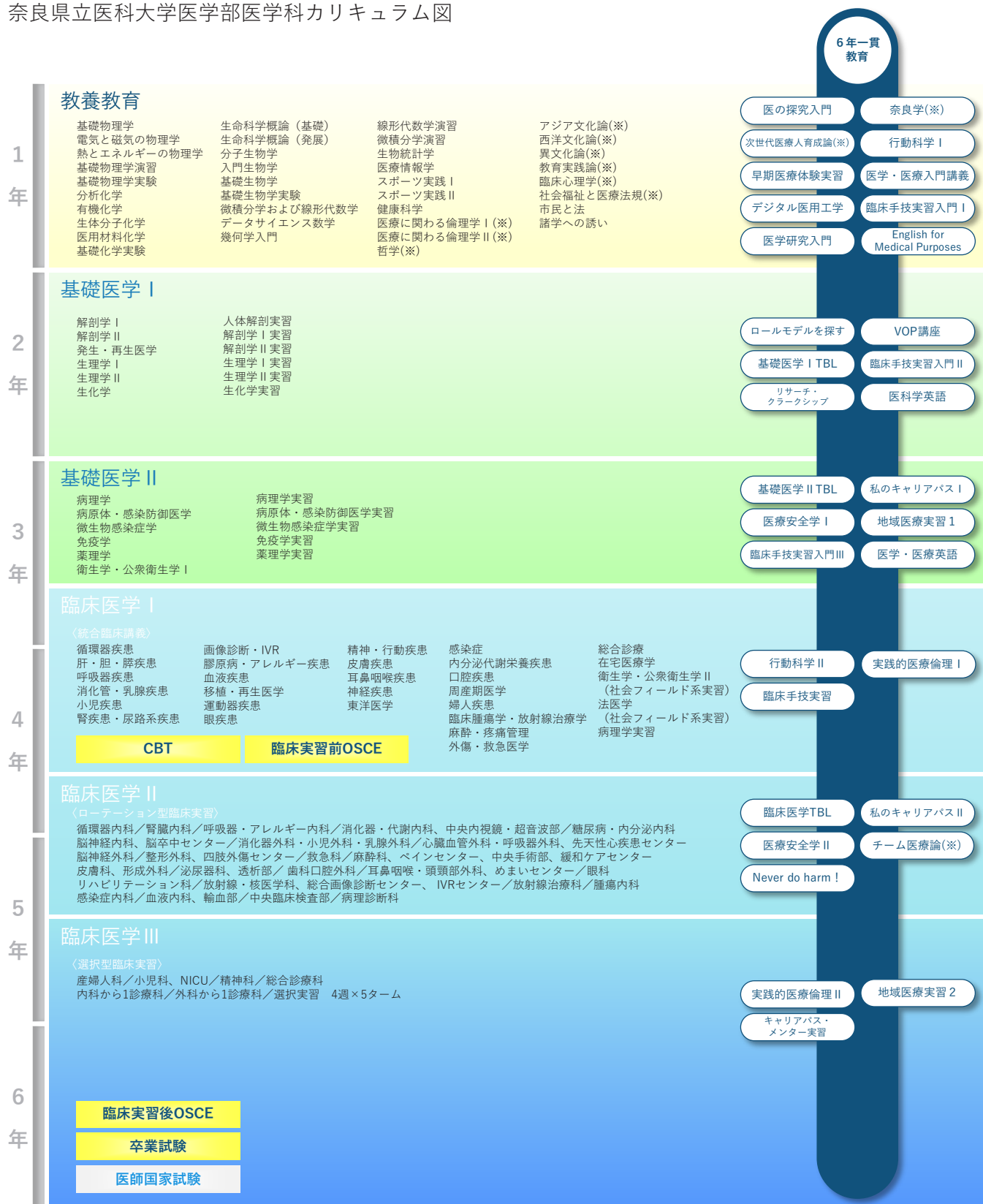
《E 臨床英語強化プログラム》

No.	授 業 科 目	区分	教養教育	基礎医学Ⅰ	基礎医学Ⅱ	臨床医学Ⅰ	臨床医学Ⅱ	臨床医学Ⅲ	授業時間数
1	English for Medical Purposes（※注17）	必修	◎						120
2	医科学英語	必修		◎					15
3	医学・医療英語	必修			◎				6
合 計									141

（注17） 教養教育授業科目の必修科目（別表1参照）

No.	授 業 科 目	区分	教養教育 前期	基礎医学Ⅰ 前期	基礎医学Ⅱ 前期	臨床医学Ⅰ 前期	臨床医学Ⅱ 前期	臨床医学Ⅲ 前期	授業 時間数
4	Advanced English 1a: English for IELTS and TOEFL (speaking, reading)	自由	☐	☐					—
5	Advanced English 1b: English for IELTS and TOEFL (writing, listening)	自由	☐	☐					—
6	Remedial English	自由	☐	☐					—
7	English for Medical Research Purposes	自由		☐	☐	☐	☐	☐	—
8	Advanced medical Vocabulary	自由		☐	☐	☐	☐	☐	—
9	Global Health issues	自由		☐	☐	☐	☐	☐	—
10	Advanced Clinical English I	自由			☐	☐	☐	☐	—
11	Medical Ethics and the Law	自由			☐	☐	☐	☐	—

奈良県立医科大学医学部医学科カリキュラム図



（※）…医学看護学合同教育科目

ディプロマポリシー

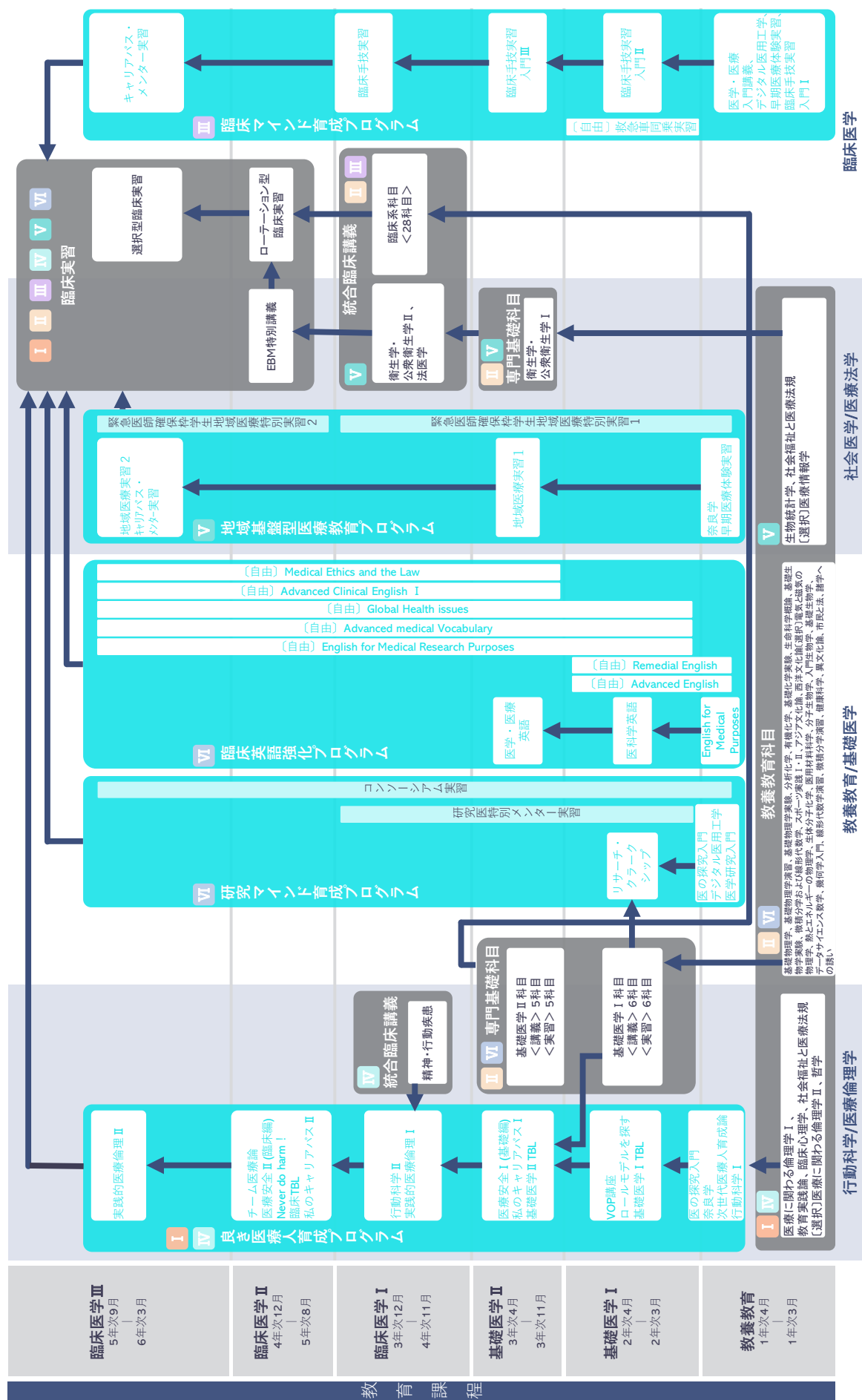
1. 生命の尊厳と患者の権利を擁護できる高い倫理観とプロフェッショナリズムを身につけている。
2. 医学とそれに関連する領域の正しい知識を身につけている。
3. 医療を適切に実践できる知識、技能、態度を身につけている。
4. 良好な医療コミュニケーション能力を身につけている。
5. 医学、医療、保健を通じて地域社会へ貢献する意欲と能力を身につけている。
6. 国際的な視野と科学的探究心を身につけている。

ディプロマ・ポリシー

1. 生命の尊厳と患者の権利を損壊できない高い倫理観とプロフェSSIONナリズムを身につけている。
2. 医学とそれに関連する領域の正しい知識を身につけている。
3. 医療を適切に実施できる知識、技能、態度を身につけている。
4. 良好な医療コミュニケーション能力を身につけている。
5. 医学、医療、保健を通じて地域社会へ貢献する意欲と能力を身につけている。

アウトカム

- I. 倫理観とプロフェッショナルリズム
- II. 医学とそれに関する領域の知識
- III. 医療の実践
- IV. チームマネジメントとコミュニケーション技能
- V. 医学、医療、保健、社会への貢献
- VI. 国際的視野と科学的探究



アウトカムに対する到達度目標レベル (マイルストーン)

S	A	B	C	
Advanced	Applied	Basic	Basic	
120%	100%	60%	30%	0%
研修医レベル	卒業時到達レベル			
診療の場で 修得した知識・技能・ 態度を実践 できる	診療の場で 修得した知識・技能・ 態度を示せる	基盤となる 知識・技能・態度を 示せる	基盤となる 知識を修得 している	修得の機会 がない
診療の場で 修得した知識を問題解 決に活用で きる	診療の場で 修得した知識を活用し て議論し発 表できる	基盤となる 知識・技能・態度を 示せる	基盤となる 知識を修得 している	修得の機会 がない
診療の場で 実践できる	模擬診療を 実施できる	基盤となる 知識・技能・態度を 示せる	基盤となる 知識を修得 している	修得の機会 がない
診療の場で 修得した知識・技能・ 態度を実践 できる	診療の場で 修得した知識・技能・ 態度を示せる	基盤となる 知識・技能・態度を 示せる	基盤となる 知識を修得 している	修得の機会 がない
診療の場で 修得した知識を問題解 決に活用で きる	診療の場で 修得した知識を活用し て議論し発 表できる	基盤となる 知識・技能・態度を 示せる	基盤となる 知識を修得 している	修得の機会 がない
立案した計 画を実施・ 発表できる	課題を認識 し、計画立 案できる	基盤となる 知識・技能・態度を 示せる	基盤となる 知識を修得 している	修得の機会 がない

I 倫理観とプロフェッショナリズム

患者、患者家族、医療チームメンバーを尊重し、責任をもって医療を実践するためのプロフェッショナリズム（態度、考え方、倫理感など）を有して行動することができる。そのために、医師としての自己を評価し、生涯にわたって向上を図ることの必要性和方法を理解している。

II 医学とそれに関連する領域の知識

基礎、臨床、社会医学等の知識を有し、それらを医療の実践の場で応用できる。医療の基盤となっている生命科学、自然科学、社会科学など関連領域の知識と原理を理解し、説明できる。

III 医療の実践

患者に対し思いやりと敬意を示し、患者個人を尊重した適切で効果的な医療と健康増進を実施できる。医学とそれに関連する領域の知識を統合して、急性あるいは慢性の頻度の高い疾患の診断と治療を計画できる。

IV チームマネジメントとコミュニケーション技能

お互いの立場を理解、尊重した人間関係を構築し、思いやりがある効果的なコミュニケーションができる。医学・医療における文書を適切に作成し、取り扱うことができる。責任ある情報交換と記録を行うことができる。

V 医学、医療、保健、社会への貢献

医療機関、行政等の規則等に基づいた保健活動と医療の実践、研究、開発を通して社会に貢献できることを理解できている。

VI 国際的視野と科学的探究

国際的視野をもって、基礎、臨床、社会医学の意義を理解し、科学的情報の評価、批判的思考、新しい情報を生み出すための論理的思考に基づき計画の立案ができる。

奈良県立医科大学医学部医学科 カリキュラムマップ

[illegible]

奈良県立医科大学医学部医学科 カリキュラムマップ

医学科卒業時アウトカム		基礎医学Ⅰ																				到達目標（％）	基礎医学Ⅱ															到達目標（％）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		専門科目												6年一貫教育科目									専門科目										6年一貫教育科目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		解剖学Ⅰ	解剖学Ⅱ	発生学・再生医学	生理学Ⅰ	生理学Ⅱ	生化学	人体解剖実習	解剖学Ⅰ実習	解剖学Ⅱ実習	生理学Ⅰ実習	生理学Ⅱ実習	生化学実習	基礎医学ⅠTBL	ローレルモデルを採す	VOP講座	実習入門Ⅱ	臨床手技	クリニカルシミュレーション	医科学英語	病理学		感染症予防医学	感染症学	微生物学	免疫学	薬理学	公衆衛生学Ⅰ	病理学実習	病原体・感染防御医学実習	微生物感染症学実習	免疫学実習	薬理学実習	基礎医学ⅡTBL	キャリアパスⅠ	医療安全学Ⅰ	実習入門Ⅲ		臨床手技	地域医療実習Ⅰ	医療英語	医学Ⅰ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
▼コンピテンス		▼コンピテンシー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						</

医学科卒業時アウトカム

▼コンピテンス

▼コンピテンシー

I 倫理観とプロフェッショナリズム	1	人間の尊厳を尊重し、患者に対して利他的、共感的、誠実に対応し、患者中心の立場に立つことができる。	B	B	B	B	C	B	C	C	C	C	C	B	B	C	B	C	C	B	B	B	C	B	C	B	B	B	B	45	A	B	B	B	B	C	62	A	A	A	A	100						
	2	医療倫理・研究倫理を理解し、倫理的原则に基づいて行動することができる。	B	C	B	B	C	B	C	C	C	C	C	B	B	C	C	C	C	B	B	C	B	C	C	C	B	B	B	B	44	A	B	B	B	B	B	67	A	A	A	A	100					
	3	医療者としての法的責任・規範を理解し、遵守することができる。	C		B	B	C	C	C	C	C	C	C	B	B	C	C	C	C	C	B	B	B	B	B	B	C				40	A	B	B	B	B	B	67	A	A	A	A	100					
	4	医学、医療の発展に貢献する使命感と責任感を持つことができる。	B	B	B	B	C	B	C	B	C	C	B	B	C	B	C	C	C	B	B	C	B	C	C	C	B	B	B	B	B	47	A	B	B	B	B	B	67	A	A	A	A	100				
	5	自己の目標を設定し、生涯にわたり向上を図るために学習し研鑽することができる。	B	C	B	B	C	B	C	B	C	C	C	B	B	C	B	C	C	B	B	C	B	C	C	C	B	B	B	B	B	C	46	A	B	B		B	C	62	A	A	A	A	100			
II 医学とそれに関する領域の知識	6	自然科学と医学の関わりについて説明できる。	B	B	B	B	C	B	C	B	C	B	C	B	B	C	B	C	B	B	B	B	B	C	B	C	C	B	B	B	B		51	A	B			C	C	55	A	A	A	A	100			
	7	個体の構造と機能を説明できる。	B	B	B	B	C	B	B	B	B	C	B	C	B	B	C	B	B	B	B	B	B	C	B	C	C	C	B	B	B	B		52	A	B			C		63	A	A	A	A	100		
	8	発生・発達・成長・加齢・死について説明できる。	B	B	B	B	B	B	C	B	C	B	B	B	C	B	B	C	B	B	B	B	B	C	B	C	C	C	B	B	B	B		52	A	B			C		63	A	A	A	A	100		
	9	病因・病態生理を理解し、診断・治療の原理について説明できる。	B	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	C	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B	B	C	C	C	B	B	B	B		54	A	B			C		63	A	A	A	A	100	
	10	社会と医学・医療との関係、死と法について説明できる。	B	C	B	B	C	B	C	B	C	B	C	B	B	C	C	B	C	B	B	B	B	C	B	C	B	B	B	B	B		49	A	B		B	C	C	56	A	A	A	A	100			
	11	人の行動・心理について説明できる。	B	C	B	B	C	B	C	B	C	B	C	B	B	C	C	C	B	B	B	B	B	C	B	C	C	B	B	B	B	B		49	A	B		B	C	C	56	A	A	A	A	100		
	12	医療安全の重要性、医療事故の予防と対処について説明できる。	B		B	B	C	B	C	B	C	B	C	B	B	C	C	B	C	B	B	B	B	B	B	B	C	C	C	B	B	B	B		49	A	B		B	B	B	68	A	A	A	A	100	
	III 医療の実践	13	患者の主要な病歴を正確に聴取できる。	B	B	B	B	C	B	C	B	B	B	C	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C	C	C	B	B	B		52	A	B			C		63	A	B	A	A	100		
14		身体診察と基本的臨床手技を適切に実施することができる。	B	B	B	B	C	B	C	B	B	B	C	B	C	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B	B	C	C	C	C	B	B		51	A	B			C		63	A	B	A	A	100		
15		臨床推論により必要な検査を選択し、診断結果から適切な治療計画を立てることができる。	B	B	B	B	C	B	C	B	B	B	C	B	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C	C	C	C	B	B		52	A	A			C		77	A	B	A	A	100		
16		診療録を適切に作成できる。	B	C	B	B	C	B	C	B	B	B	C	B	C	B	B	C	C	B	B	B	B	B	B	B	C	C	C	C	B	B		49	A	B		B	C		63	A	B	A	A	100		
17		EBMを活用し、患者の安全性を確保した医療を実践できる。	B	C	B	B	C	B	C	B	B	B	C	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C	B	C	C	B	B	B		50	A	A		B	C	B	70	A	B	A	A	100		
18		患者、患者家族、医療チームのメンバーと、個人、文化、社会的背景を踏まえて傾聴、共感、理解、支持的態度を示すコミュニケーションを取ることができる。	C	C	B	B	C	B	C	C	B	C	C	C	B	B	C	C	C	C	C	B	B	C	C	C	B	C	C	B	B	B	C	41	A	B	B	B	B	B	67	A	A	A	A	100		
IV チームマネジメントとコミュニケーション技能	19	患者、患者家族、医療チームのメンバーとの信頼関係を築き、情報交換、説明と同意、教育など医療の基本を実践できる。	C	C	B	B	C	B	C	C	B	C	C	C	B	B	C	C	C	C	B	B	C	C	C	B	C	C	B	B	B	C	42	A	B	B	B	B	B	67	A	A	A	A	100			
	20	お互いの立場を理解、尊重した人間関係を構築し、思いやりがある効果的なコミュニケーションができる。医学・医療における文書を適切に作成し、取り扱うことができる。責任ある情報交換と記録を行うことができる。	B	C	B	B	C	B	C	C	B	C	C	C	C	B	B	C	C	C	C	C	B	B	C	C	C	C	C	B	B	B	C	41	A	B	B	B	B	C	62	A	A	A	A	100		
	21	レポートや診療情報などの文書を規定に従って適切に作成し、プレゼンテーションができる。	C		B	B	C	B	C	C	A	C	C	B	C	B	B	C	B	C	C	-	B	B	C	B	C	C	C	C	C	B	B		C	42	A	B	B	B	B	C	62	A	A	A	A	100
	22	保健・医療・福祉・介護に関連する法規・制度等を理解したうえで活用することができる。	C		B	B	C	B	C	C	C	C	C	B	B	C	C	B	C	C	B	B	C	C	B	C	B	B	B	B	B		44	A	B	B	B	B	C	62	A	A	A	A	100			
V 医学、医療、保健、社会への貢献	23	健康・福祉に関する問題を評価し、地域や国際社会の疾病予防や健康増進の活動に参加できる。	C		B	B	C	B	C	C	C	C	C	C	B	B	C	C	B	C	C	B	B	C	C	B	C	B	B	B		44	A	B	B		B		70	A	A	A	A	100				
	24	医師として地域医療に関わることの必要性を理解し、医療現場でプライマリ・ケアを含む診療を実践できる。	B		B	B	C	B	C	C	C	C	B	C	B	B	C	B	C	C	B	B	B	B	B	B	C	B	B				46	A	B	B		B		70	A	A	A	A	100			
	25	医学・医療の研究と開発が社会に貢献することを理解できる。	B	C	B	B	C	B	C	C	C	C	C	B	B	C	B	C	C	C	B	B	C	C	B	C	C	B	C	B	B		43	A	B	B			B	70	A	B	A	A	100			
	26	国際的視野で医療と医学研究を考えることができる。	C	C	B	B	C	B	B	C	B		C	B	C	B	B	C	C	B	C	C	B	B	C	C	B	C	C	B	B	B		46	A	A	A			B	90	A	B	A	A	100		
VI 国際的視野と科学的探究	27	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解し、説明できる。	B	C	B	B	C	B	B	C	C	C	C	B	B	C	C	C	C	C	B	B	C	C	C	C	C	B	B	B	B		44	A	A	A			B	90	A	B	A	A	100			
	28	科学的研究で明らかになった新しい知見を明確に理解し、説明できる。	B	C	B	B	C	B	B	C	B	C	C	C	B	B	C	B	B	C	C	B	B	C	C	C	C	C	C	B	B	B		45	A	A	A	C	B	B	75	A	B	A	A	100		

令和7年度 教養教育 時間割表

【前期】

月					火					水					木					金							
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
有機化学	生物統計学	医の探究入門	医学・医療入門講義	※1	基礎物理学	基礎物理学 演習 A	基礎生物学実験 A	基礎生物学実験 A	分析化学	English for Medical Purposes	総微 積分 代数学 A 及び B	基礎生物学実験 B	基礎生物学実験 B	線形代数 演習	教育実践論 A	スポーツ実践 I A	医療に 関わる I A	医学研究入門	※1	アジア文化論 3 クラス	English for Medical Purposes	生命科学概論（基礎）	生命科学概論（発展）	哲学	生体分子化学	健康科学	※1
						基礎物理学 演習 B	基礎生物学実験 B	総微 積分 代数学 B 及び A				基礎生物学実験 B	医療に 関わる I B		スポーツ実践 I B	医療 倫理 学 I B	医看	医看				医看					
A クラス																											
B クラス																											

(※1) 補講候補日

前期授業期間：4月9日（水）～7月22日（火） 健康診断：4月25日（金） 前期試験期間：7月23日（火）～8月1日（金）
退・再試験期間（医看合同）：8月4日（月）、5日（火） 退・再試験期間：8月25日（月）～8月29日（金） 諸学への誘い：8月25日（月）～30日（土）
次世代医療人育成論（集中講義）：9月8日（月）～12日（金）

【後期】

月					火					水					木					金																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
臨床心理学 A	臨床心理学 B	臨床心理学 C	医用材料化学	基礎生物学	入門生物学	分子生物学	デジタル医用工学（※3）	臨床手技実習入門Ⅰ（※4）	※5	行動科学Ⅰ	生命科学概論（基礎）	生命科学概論（発展）	基礎化学実験 A	基礎化学実験 A	基礎物理学実験 A	基礎物理学実験 A	基礎物理学実験 A	基礎物理学実験 A	幾何学入門	データサイエンス数学	English for Medical Purposes	基礎化学実験 B	基礎化学実験 B	基礎物理学実験 B	基礎物理学実験 B	基礎物理学実験 B	基礎物理学実験 B	線形代数学及び 数学 B 及び 線形代数学 A 及び 線形代数学 B 及び	スポーツ実践Ⅱ B	医療法規社と A	医療法規社と A	スポーツ実践Ⅱ A	市民と法	※5	医療情報学	English for Medical Purposes	電気と磁気の物理学	熱とエネルギーの物理学	西洋文化講座 3 クラス	※6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
臨床心理学 A	臨床心理学 B	臨床心理学 C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

(※3) 10月6日（月）から 11月10日（月）まで開講
(※4) 11月17日（月）から 1月19日（月）まで開講
(※5) 補講候補日
(※6) Advanced Clinical English（希望者対象：16時40～18時10分）

後期授業期間：9月19日（金）～12月23日（火）、1月5日（月）～19日（月） 後期試験期間：1月20日（火）～30日（金） 奈良学（集中講義）：2月2日（月）～2月6日（金） 退・再試験期間：2月9日（月）～13日（金）
【前期入試】2月25日（水）～26日（木）【後期入試】3月12日（水）～13日（木） 早期医療体験実習：2月16日（月）～3月6日（金）

1眼目	9：00～10：30	2眼目	10：40～12：10	3眼目	13：00～14：30	4眼目	14：40～16：10	5眼目	16：20～17：50
-----	------------	-----	-------------	-----	-------------	-----	-------------	-----	-------------

医看…医学看護学合同教育科目	…必修科目	…選択必修科目
----------------	-------	---------

令和7年度 教養教育 学事計画表

4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1 火	1 木	1 日	1 火	1 金	1 日	1 火	1 金	1 日	1 金	1 月	1 火	1 水	1 水	1 土	1 月	1 月	1 月	1 水	1 元旦	1 日	1 日	1 日	1 日
2 水	2 金	2 月	2 水	2 土	2 土	2 水	2 土	2 火	2 火	2 火	2 火	2 木	2 木	2 日	2 火	2 火	2 火	2 金	2 金	2 月	2 月	2 月	2 月
3 木	3 土	3 火	3 木	3 日	3 日	3 木	3 日	3 水	3 水	3 水	3 水	3 金	3 金	3 月	3 水	3 水	3 水	3 土	3 土	3 火	3 火	3 火	3 火
4 金	4 日	4 水	4 金	4 月	4 月	4 金	4 月	4 木	4 木	4 木	4 木	4 土	4 土	4 火	4 木	4 木	4 木	4 日	4 日	4 水	4 水	4 水	4 水
5 土	5 月	5 木	5 土	5 火	5 火	5 土	5 火	5 金	5 金	5 金	5 金	5 日	5 日	5 水	5 金	5 金	5 金	5 月	5 月	5 木	5 木	5 木	5 木
6 日	6 火	6 金	6 日	6 水	6 水	6 日	6 水	6 土	6 土	6 土	6 土	6 月	6 月	6 木	6 土	6 土	6 土	6 火	6 火	6 金	6 金	6 金	6 金
7 月	7 水	7 土	7 月	7 木	7 木	7 月	7 木	7 日	7 日	7 日	7 日	7 火	7 火	7 金	7 日	7 日	7 日	7 水	7 土	7 土	7 土	7 土	7 土
8 火	8 木	8 日	8 火	8 金	8 金	8 火	8 金	8 月	8 月	8 月	8 月	8 水	8 水	8 土	8 土	8 土	8 土	8 木	8 木	8 日	8 日	8 日	8 日
9 水	9 金	9 月	9 水	9 土	9 土	9 水	9 土	9 火	9 火	9 火	9 火	9 木	9 木	9 日	9 火	9 火	9 火	9 金	9 金	9 月	9 月	9 月	9 月
10 木	10 土	10 火	10 木	10 日	10 日	10 木	10 日	10 水	10 水	10 水	10 水	10 金	10 金	10 月	10 水	10 水	10 水	10 土	10 土	10 火	10 火	10 火	10 火
11 金	11 日	11 水	11 金	11 月	11 月	11 金	11 月	11 日	11 日	11 日	11 日	11 土	11 土	11 火	11 木	11 木	11 木	11 日	11 日	11 水	11 水	11 水	11 水
12 土	12 月	12 木	12 土	12 火	12 火	12 土	12 火	12 金	12 金	12 金	12 金	12 日	12 日	12 水	12 金	12 金	12 金	12 月	12 月	12 木	12 木	12 木	12 木
13 日	13 火	13 金	13 日	13 水	13 水	13 日	13 水	13 土	13 土	13 土	13 土	13 月	13 月	13 木	13 土	13 土	13 土	13 火	13 火	13 金	13 金	13 金	13 金
14 月	14 水	14 土	14 月	14 木	14 木	14 月	14 木	14 金	14 金	14 金	14 金	14 火	14 火	14 金	14 土	14 土	14 土	14 水	14 水	14 土	14 土	14 土	14 土
15 火	15 木	15 日	15 火	15 金	15 金	15 火	15 金	15 月	15 月	15 月	15 月	15 水	15 水	15 土	15 土	15 土	15 土	15 木	15 木	15 日	15 日	15 日	15 日
16 水	16 金	16 月	16 水	16 土	16 土	16 水	16 土	16 火	16 火	16 火	16 火	16 木	16 木	16 日	16 日	16 日	16 日	16 金	16 金	16 月	16 月	16 月	16 月
17 木	17 土	17 火	17 木	17 日	17 日	17 木	17 日	17 水	17 水	17 水	17 水	17 金	17 金	17 月	17 土	17 土	17 土	17 土	17 土	17 火	17 火	17 火	17 火
18 金	18 日	18 水	18 金	18 月	18 月	18 金	18 月	18 土	18 土	18 土	18 土	18 土	18 土	18 火	18 火	18 火	18 火	18 日	18 日	18 水	18 水	18 水	18 水
19 土	19 月	19 木	19 土	19 火	19 火	19 土	19 火	19 金	19 金	19 金	19 金	19 日	19 日	19 水	19 水	19 水	19 水	19 月	19 月	19 木	19 木	19 木	19 木
20 日	20 火	20 金	20 日	20 水	20 水	20 日	20 水	20 土	20 土	20 土	20 土	20 月	20 月	20 木	20 木	20 土	20 土	20 火	20 火	20 金	20 金	20 金	20 金
21 月	21 水	21 土	21 月	21 木	21 木	21 月	21 木	21 金	21 金	21 金	21 金	21 火	21 火	21 金	21 土	21 土	21 土	21 水	21 水	21 土	21 土	21 土	21 土
22 火	22 木	22 日	22 火	22 金	22 金	22 火	22 金	22 月	22 月	22 月	22 月	22 水	22 水	22 土	22 土	22 土	22 土	22 木	22 木	22 日	22 日	22 日	22 日
23 水	23 金	23 月	23 水	23 土	23 土	23 水	23 土	23 火	23 火	23 火	23 火	23 木	23 木	23 日	23 日	23 日	23 日	23 金	23 金	23 月	23 月	23 月	23 月
24 木	24 土	24 火	24 木	24 日	24 日	24 木	24 日	24 水	24 水	24 水	24 水	24 金	24 金	24 月	24 土	24 土	24 土	24 土	24 土	24 火	24 火	24 火	24 火
25 金	25 日	25 水	25 金	25 月	25 月	25 金	25 月	25 土	25 土	25 土	25 土	25 土	25 土	25 火	25 火	25 火	25 火	25 日	25 日	25 水	25 水	25 水	25 水
26 土	26 月	26 木	26 土	26 火	26 火	26 土	26 火	26 金	26 金	26 金	26 金	26 日	26 日	26 水	26 水	26 水	26 水	26 月	26 月	26 木	26 木	26 木	26 木
27 日	27 火	27 金	27 日	27 水	27 水	27 日	27 水	27 土	27 土	27 土	27 土	27 月	27 月	27 木	27 木	27 土	27 土	27 火	27 火	27 金	27 金	27 金	27 金
28 月	28 水	28 土	28 月	28 木	28 木	28 月	28 木	28 金	28 金	28 金	28 金	28 火	28 火	28 金	28 土	28 土	28 土	28 水	28 水	28 土	28 土	28 土	28 土
29 火	29 木	29 日	29 火	29 金	29 金	29 火	29 金	29 月	29 月	29 月	29 月	29 水	29 水	29 土	29 土	29 土	29 土	29 木	29 木	29 日	29 日	29 日	29 日
30 水	30 金	30 月	30 水	30 土	30 土	30 水	30 土	30 火	30 火	30 火	30 火	30 木	30 木	30 日	30 日	30 日	30 日	30 金	30 金	30 月	30 月	30 月	30 月
31 土	31 土	31 日	31 土	31 日	31 日	31 土	31 日	31 月	31 月	31 月	31 月	31 金	31 金	31 水	31 水	31 水	31 水	31 土	31 土	31 火	31 火	31 火	31 火

授 業 科 目 紹 介

(教養教育科目)

講義科目名称： 基礎物理学

授業コード： I241040

英文科目名称： Basic Physics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	教養教育	2	必修
担当教員			
藤本 雅文			
添付ファイル			

全担当教員	藤本雅文		
概要	力学および波動に関わる自然現象を知る。このとき、自然は複雑であるが、複雑さの中に単純な法則が潜んでいることを認識する。また、このような法則が物理的な模型によって議論できることを理解し、その模型を自由に考察できる能力を養う。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 物理現象の学習は医療者を目指す上で一つの礎となる。医学、医療の発展に貢献することを念頭に、力学、波動を学習し研鑽していくことができる。 II 医学とそれに関する領域の知識 力学の法則と波動現象について、医学との密接な関わりを説明することが出来る。 III 医療の実践 － IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 指定された様式に従いノートを作成し、この学習をもとに、レポート、答案の作成、相互添削、説明が行える。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 － VI 国際的視野と科学的探究 現代物理学の研究で明らかになってきた新しい知見を理解し、説明できる。		
評価方法	■ 受講態度（15%）《 I 》 ■ ノート、小テスト、レポート（15%）《 II, IV, VI 》 ■ 定期試験（70%）《 II, IV, VI 》 《 》内は評価するアウトカムのコンピテンス番号を記載		
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【 I 】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	第1回 2025年4月15日（火） 運動の法則：質点の運動	講義	藤本
	第2回 2025年4月22日（火） 運動の法則：慣性の法則	講義	藤本
	第3回 2025年5月13日（火） 運動の法則：運動方程式	講義	藤本
	第4回 2025年5月20日（火） 運動の法則：作用反作用の法則、束縛力	講義	藤本
	第5回 2025年5月27日（火） 運動の法則：摩擦力	講義	藤本
	第6回 2025年6月3日（火） 運動の法則：慣性力	講義	藤本
	第7回 2025年6月10日（火） 力学的エネルギーと角運動量：仕事とエネルギー、力学的エネルギーの保存則	講義	藤本
	第8回 2025年6月17日（火） 力学的エネルギーと角運動量：保存力とポテンシャルエネルギー、力のモーメントと角運動量	講義	藤本
	第9回 2025年6月24日（火） 力学的エネルギーと角運動量：中心力と角運動量の保存則、ケプラーの法則と万有引力	講義	藤本

	第10回	2025年7月1日（火） 多質点、剛体および弾性体の力学：重心の運動方程式	講義	藤本
	第11回	2025年7月8日（火） 多質点、剛体および弾性体の力学：剛体のつりあい、剛体の回転	講義	藤本
	第12回	2025年7月15日（火） 多質点、剛体および弾性体の力学：剛体の運動	講義	藤本
	第13回	2025年7月22日（火） 多質点、剛体および弾性体の力学：弾性体	講義	藤本
	第14回	振動と波動：単振動の合成、強制振動と共鳴 補講を行う（日程は調整中）	講義	藤本
	第15回	振動と波動：波動 補講を行う（日程は調整中）	講義	藤本
授業外学修（事前学修・事後学修）	教務システムに毎週の講義資料を掲示し、これを用いた復習を行うものとする。（この自宅学習をふまえた小テストを次週の演習で行う。）			
テキスト	プリントを配布			
参考書	第5版「物理学基礎」 原康夫 著、学術図書 "GENERAL PHYSICS", Sternheim and Kane, John Wiley and Sons			
学生へのメッセージ等	講義を聞いているだけでは、十分な成果は得られなません。配布されるプリントを参照しながら、自分のノートを作っていくして下さい。 地味な作業になるかもしれませんが、様々な分野の基礎となる概念を多く含む学習になるはずです。 中学、高校の復習から始めますので、高校での選択・不選択に関わらず、積極的に参加してください。			

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	教養教育	2	選択
担当教員			
高木 拓明			
添付ファイル			

全担当教員	高木 拓明		
概要	医学や医療を学ぶ上でも重要となる、電気・電子回路や放射線、レーザーなどの応用物理を理解する。電気と磁気に関わる自然現象、及びその背後にある普遍的な物理法則を、微分方程式を用いて理解する。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 医学生として将来、医学・医療の発展に貢献するための基礎の1つとなる、電磁気学に関する知見を学習し研鑽することができる。 II 医学とそれに関する領域の知識 電磁気学と医学の関わりについて説明できる。 III 医療の実践 － IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 レポートを規定に従って適切に作成できる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 電磁気学に基づいた医学・医療の研究と開発が社会に貢献していることを理解できる。 VI 国際的視野と科学的探究 ☐ 医学的発見の基礎となる電磁気学の理論と方法論を理解し、説明できる。 ☐ 科学的研究で明らかになった新しい知見を理解できる。		
評価方法 《》内は評価するアウトカムのコンピテンス番号を記載	■ 受講態度 (5%) 《I》 ■ 小テストとレポート (30%) 《II, IV, V, VI》 ■ 定期試験 (65%) 《II, V, VI》		
授業計画 【】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	授業内容	授業形態	担当者
	第1回 講義の概要（自然界の階層構造、電磁気学と医学・医療との関わり）	講義	高木
	第2回 電気・電子回路（1）直流電気回路の物理	講義	高木
	第3回 電気・電子回路（2）交流電気回路の物理	講義	高木
	第4回 電気・電子回路（3）半導体の物理	講義	高木
	第5回 医療応用（1）体温計の物理	講義	高木
	第6回 医療応用（2）放射線の物理	講義	高木
	第7回 医療応用（3）レーザーの物理；電磁気学（1）近接作用と静電場の物理 1	講義	高木
	第8回 電磁気学（2）近接作用と静電場の物理 2	講義	高木
	第9回 電磁気学（3）電流の磁気作用と静磁場の物理 1	講義	高木

	第10回 電磁気学（4）電流の磁気作用と静磁場の物理 2	講義	高木
	第11回 電磁気学（5）時間変化する電場と磁場の物理 1	講義	高木
	第12回 電磁気学（6）時間変化する電場と磁場の物理 2	講義	高木
	第13回 電磁気学（7）電磁波と電磁場の物理	講義	高木
	第14回 医療応用（4）AIと医療診断	講義	高木
	第15回 全体のまとめ	講義	高木
授業外学修（事前学修・事後学修）	遠隔授業の場合、授業内容を解説した動画をStream上に事前にアップロードするので、予習、復習に活用すること。		
テキスト	授業資料を電子ファイルで毎回配布する。		
参考書	物理の考え方2「電磁気学の考え方」 砂川重信 著，岩波書店 新版 「医・生物学系のための電気・電子回路」 堀川宗之 著，コロナ社 「やっかいな放射線と向き合って暮らしていくための基礎知識」 田崎晴明 著，朝日出版社		
学生へのメッセージ等	電磁気学は，医学・医療とも深い関わりを持ち，その応用技術は多くの医療機器を生み出しています。この講義では，そうした具体的な事例を紹介すると共に，その骨子となる電気・電子回路と電磁気学について，体系的に解説していきます。関連する科学史についても紹介します。講義の一部は基礎物理学実験とも連動した内容になりますので，能動的に取り組んで理解を深めてください。		

講義科目名称： 熱とエネルギーの物理学

授業コード： I241080

英文科目名称： Fundamentals of Thermal physics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	教養教育	2	選択
担当教員			
藤本 雅文			
添付ファイル			

全担当教員	藤本雅文		
概要	熱現象の理解という観点から重要になるエントロピーの概念を知り、熱現象を応用するにあたり重要になる自由エネルギーの考え方を理解する。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 熱現象の研究は、これまで多くの医学者が関わってきた分野である。このことを学ぶとともに、医学、医療の発展に貢献する使命感を持ち、熱現象を学習し研鑽していくことができる。 II 医学とそれに関する領域の知識 熱現象の研究と医学の密接な関わりを説明することが出来る。 III 医療の実践 － IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 指定された処方に従い、計算、作図、表を用いて、レポートを作成できる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 － VI 国際的視野と科学的探究 現代物理学の研究で明らかになってきた新しい知見とそれを応用した装置を理解し、説明できる。		
評価方法 《》内は評価するアウトカムのコピテン番号を記載	■ 受講態度 (10%) 《 I 》 ■ レポート (45%) 《 II, IV, VI 》 ■ 定期試験 (45%) 《 II, IV, VI 》		
授業計画 【】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	授業内容	授業形態	担当者
	第1回 2025年9月19日 (金) 熱力学とはどのような分野であるのか	講義	藤本
	第2回 2025年9月26日 (金) 高校の物理の復習 1	講義	藤本
	第3回 2025年10月3日 (金) 高校の物理の復習 2	講義	藤本
	第4回 2025年10月10日 (金) 熱平衡状態	講義	藤本
	第5回 2025年10月17日 (金) 熱と仕事とエネルギー	講義	藤本
	第6回 2025年10月31日 (金) 完全微分と不完全微分	講義	藤本
	第7回 2025年11月7日 (金) 熱力学の第一法則とその定式化	講義	藤本
	第8回 2025年11月14日 (金) カルノーサイクルと熱力学の第二法則	講義	藤本
	第9回 2025年11月21日 (金) エントロピーと熱力学第二法則の定式化	講義	藤本
	第10回 2025年11月28日 (金) 自由エネルギー	講義	藤本

	第11回	2025年12月5日（金） 熱力学の応用	講義	藤本
	第12回	2025年12月12日（金） 量子力学の考え方	講義	藤本
	第13回	2025年12月19日（金） ボルツマンの原理	講義	藤本
	第14回	2026年1月9日（金） マクスウェル・ボルツマンの分布	講義	藤本
	第15回	2026年1月16日（金） まとめとさらなる学習について	講義	藤本
授業外学修（事前学修・事後学修）	必要に応じ教務システムに資料を掲示し、これを用いた予習復習を指示する。			
テキスト	プリントを配布			
参考書	物理学の考え方 3 「熱・統計力学の考え方」 砂川重信 著、岩波書店 "Fundamentals of statistical and thermal physics", F. Reif, McGraw-Hill Inc.			
学生へのメッセージ等	高校の物理（化学）の復習から議論を始める予定です。 高校物理の学習経験のあるなしにかかわらず、意欲のある人はふるって参加して下さい。 温度計の発明は熱現象の研究の起源の一つとなりますが、これは医者が深く関わった出来事であったことが知られております。以後も医者からの立場からこの分野に貢献した人物は少なくありません。 結果として、赤外線サーモグラフィー、エアコンの原理などが、医療現場はもとより我々の生活を大きく変えたということも強調しておきます。 数式を用いた議論だけでなく、科学的な事柄、エピソードなども含めてお話しします。			

講義科目名称： 基礎物理学演習

授業コード： I18104A I18104B

英文科目名称： Basic Physics Exercise

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	教養教育	1	必修
担当教員			
藤本 雅文			
添付ファイル			

全担当教員	藤本雅文、高木拓明、北出智巳		
概要	基礎物理学の学習を念頭に置いて、講義内容に即した演習問題を考察する。同時に、物理学と密接に関連した数学的手法を知る。数学的手法の有用性を理解し、それらを自由に使用する能力を涵養する。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 医学、医療の発展に貢献することを念頭に、様々な物理現象を数式、表、作図を用いて学習し研鑽することができる。 II 医学とそれに関する領域の知識 力学の法則と波動現象、様々な物理現象の演習を通して、物理学と医学との密接な関わりを説明することが出来る。 III 医療の実践 － IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 指定された様式に従いノートを作成し、この学習をもとに、レポート、答案の作成、相互添削、説明が行える。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 － VI 国際的視野と科学的探究 現代物理学の研究で明らかになってきた新しい知見を理解し、説明できる。		
評価方法 《》内は評価するアウトカムのコピテン番号を記載	■ 受講態度（20％）《 I 》 ■ ノート、小テスト、レポート（50％）《 II, IV, VI 》 ■ 定期試験（30％）《 II, IV, VI 》		
授業計画 【】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	授業内容	授業形態	担当者
	第1回 2025年4月15日（火） 微分と不定積分	演習	高木/藤本/北出
	第2回 2025年4月22日（火） ベクトル	演習	高木/藤本/北出
	第3回 2025年5月13日（火） 定積分	演習	高木/藤本/北出
	第4回 2025年5月20日（火） 変数分離形の微分方程式	演習	高木/藤本/北出
	第5回 2025年5月27日（火） 定係数の2階線形微分方程式	演習	高木/藤本/北出
	第6回 2025年6月3日（火） 座標変換	演習	高木/藤本/北出
	第7回 2025年6月10日（火） 線積分	演習	高木/藤本/北出
	第8回 2025年6月17日（火） 偏微分	演習	高木/藤本/北出
	第9回 2025年6月24日（火） 平面極座標	演習	高木/藤本/北出
	第10回 2025年7月1日（火） 相対座標	演習	高木/藤本/北出

	第11回	2025年7月8日（火） 体積積分（球対称）	演習	高木/藤本/北出
	第12回	2025年7月15日（火） 体積積分（軸対称）	演習	高木/藤本/北出
	第13回	2025年7月22日（火） 表面積分（球対称）	演習	高木/藤本/北出
	第14回	フーリエ級数 補講を行う（日程は調整中）	演習	高木/藤本/北出
	第15回	偏微分方程式 補講を行う（日程は調整中）	演習	高木/藤本/北出
授業外学修（事前学修・事後学修）	教務システムに掲示した講義資料を参照して、復習を行うことを前提とする。本演習では、この学習をふまえた小テストを行う。			
テキスト	プリントを配布			
参考書	第5版「物理学基礎」 原康夫 著、学術図書 "GENERAL PHYSICS", Sternheim and Kane, John Wiley and Sons			
学生へのメッセージ等	演習を見ているだけでは、十分な成果は得られません。示された演習問題を自分のノートに計算し、作図、表等も用いて解いていって下さい。最後の定期試験だけでなく、演習では普段の学習をノート、小テスト、レポートの形で評価していきます。 努力賞あり、敢闘賞ありの科目になります。			

講義科目名称： 基礎物理学実験

授業コード： I18105A I18105B

英文科目名称： Basic Physics Experiment

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	教養教育	1	必修
担当教員			
藤本 雅文			
添付ファイル			

全担当教員	藤本雅文、高木拓明、中村元彦、常田琢、釣優香、北出智巳		
概要	物理現象についての実験、観測を行い、力学、波動、熱などに関する物理法則を知る。同時に、基本的な測定機器の取り扱いや測定結果の解析法を理解する。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム □ 医学、医療の発展に貢献することを念頭に、様々な物理現象の実験、観測を行い、学習、研鑽することができる。 □ 実験、観測を行うにあたってのルール、規則を理解し、それを遵守、実践することが出来る。 II 医学とそれに関する領域の知識 様々な物理現象について、医学との密接な関わりを説明することが出来る。 III 医療の実践 — IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 □ 実験チームを作り、そのメンバーとして役割を果たすことが出来る。 □ 指定された様式に従いノートを作成し、これをもとに、プレゼンテーション、レポート作成ができる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 — VI 国際的視野と科学的探究 現代物理学の研究で明らかになってきた新しい知見とそれを応用した装置を理解し、説明できる。		
評価方法	■ 受講態度（20%）《 I 》 ■ ノート、プレゼンテーション、レポート（50%）《 II, IV, VI 》 ■ 中間テスト（30%）《 I, II, IV, VI 》		
《 》内は評価するアウトカムのコンピテンス番号を記載			
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【I】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	実験 A マイクロコンピュータ：中心極限定理と誤差の法則	実験	上記より4名の教官
	実験 B ヤング率の測定：最小二乗法を用いた測定値の解析	実験	上記より4名の教官
	実験 C 光の吸収と吸収スペクトル	実験	上記より4名の教官
	実験 D マイケルソン干渉計、光の回折と干渉	実験	上記より4名の教官
	実験 E 空気中の音速測定、音の振動数	実験	上記より4名の教官
	実験 F 超音波	実験	上記より4名の教官
	実験 G 空気の比熱比の測定、冷却法による液体の比熱測定	実験	上記より4名の教官
	実験 H 金属および半導体の電気抵抗	実験	上記より4名の教官
	実験 I 合金の熱解析	実験	上記より4名の教官
	実験 J	実験	上記より4名の教官

	自然放射能の計測		
実験 K	電子の比電荷測定、電子線の回折	実験	上記より 4 名の教官
実験 L	プランク・ヘルツの実験、プランク定数の測定	実験	上記より 4 名の教官
実験 M	プランク定数の測定	実験	上記より 4 名の教官
実験 N	オシロスコープ	実験	上記より 4 名の教官
実験 O	トランジスタの特性	実験	上記より 4 名の教官
実験 P	ホール効果	実験	上記より 4 名の教官
注	各自が行うテーマと、3、4名の班に分かれて行うテーマがある。週ごとにテーマを指定し、試験を含め10週の授業を行う。		
授業外学修（事前学修・事後学修）	教務システムに提示された資料を参照し、これを用いた予習をノートに行うものとする。		
テキスト	資料を教務システムに掲示		
参考書	第5版「物理学基礎」 原康夫 著、学術図書		
学生へのメッセージ等	基本的な測定機器の取り扱い、データの記録及び解析、レポートの作成などは、物理を専門とするしないにかかわらず重要なことである。本実験科目では先ずこれらの作業を重視します。実際に自分自身で操作してみる、計算してみる、まとめる、説明するといったことに積極的に取り組む姿勢はもとより、場合によっては、くり返し行う（やり直す）粘り強さも要求されます。物理の研究に起源を持つ装置が様々な医療現場で使われる時代になってきております；次に、このことを強調しておきます。学習を通して、医療現場に直結する実験テーマが多くあることがわかるはずです。限られた回数になりますが、多くのことを学習してってください。		

講義科目名称： 分析化学

授業コード： I181060

英文科目名称： Analytical Chemistry

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	教養教育	2	必修
担当教員			
酒井 宏水			
添付ファイル			

全担当教員	酒井 宏水、山崎 正晴		
概要	ライフサイエンス全般の研究手段として、さらには診断のための必要情報を得る手段として、様々な分析化学の技術が用いられている。本講義では、物質を構成する原子、分子の構造と性質について物理化学の基本概念についての知識を習得するとともに、主要な機器分析法についてその測定原理や、操作手法などについて知識を習得する。バイオ関連研究/診断における実際の測定例についても紹介する。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 医学生としての自覚をもって授業に臨み、医学、医療の発展に貢献する使命感と責任感を持つことができる。 II 医学とそれに関する領域の知識 分析化学と医学（診断・検査・分析）の関わりについて説明できる。 III 医療の実践 － IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 － V 医学、医療、保健、社会への貢献 医学・医療の研究に分析化学が関与し、社会に貢献していることを理解できる。 VI 国際的視野と科学的探究 ☐ 国際的視野で分析化学の発展を考えることができる。 ☐ 医学的発見の基礎となる分析手法の理論と方法論を理解し、説明できる。		
評価方法	■受講態度(5%)《I》 ■ミニツツペーパー提出(10%)《I, II, V, VI》 ■定期試験(85%)の総合評価《II, V, VI》 《》内は評価するアウトカムのコンピテン番号を記載		
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【I】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	第1回 2025年4月9日（水） ライフサイエンスに必要な分析化学（1）	講義	酒井
	第2回 2025年4月16日（水） ライフサイエンスに必要な分析化学（2）	講義	酒井
	第3回 2025年4月23日（水） 分光光度法（紫外可視）	講義	酒井
	第4回 2025年4月30日（水） 分光光度法（紫外可視、蛍光、燐光）	講義	酒井
	第5回 2025年5月7日（水） 分光光度法（赤外線）	講義	酒井
	第6回 2025年5月14日（水） ESR法、NMR法	講義	酒井
	第7回 2025年5月21日（水） 光学顕微鏡、電子顕微鏡	講義	酒井
	第8回 2025年5月28日（水） 原子吸光分析、プラズマ発光分光分析、電気化学的測定法	講義	酒井
	第9回 2025年6月4日（水） ガスクロマトグラフィー、液体クロマトグラフィー	講義	酒井
	第10回 2025年6月11日（水）	講義	酒井

	電気泳動、核酸分析		
	第11回 2025年6月18日（水） 酵素活性測定法、酵素結合免疫測定法	講義	酒井
	第12回 2025年6月25日（水） 質量分析法	講義	酒井
	第13回 2025年7月2日（水） 臨床検査における分析化学の役割	講義	山崎正晴（中央臨床検査部）・酒井
	第14回 2025年7月9日（水） 同位体分析法	講義	酒井
	第15回 2025年7月16日（水） 分析化学の総括・試験内容について	講義	酒井
授業外学修（事前学修・事後学修）			
テキスト	プリント配布、および、教務システムにアップロード		
参考書	「生命科学のための分析化学」（化学同人）		
学生へのメッセージ等	医学を極めれば極めるほど、化学の重要性に気づきます。		

講義科目名称： 有機化学

授業コード： I181070

英文科目名称： Organic Chemistry

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	教養教育	2	必修
担当教員			
松平 崇			
添付ファイル			

全担当教員	松平 崇		
概要	ヒトの体は炭素骨格を基本とした有機化合物で構成されている。生体内の反応のほとんどすべては有機化学反応であり、有機化学の原理に従って進行する。従って、生体内で進行する複雑な反応を根本から理解するためには、有機化学の知識が不可欠である。本科目では、医学専門教育に関連する種々の学問の基礎となる、有機化学の基本的な考え方を習得する。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 医学生としてふさわしい行動を示すことができる。 II 医学とそれに関する領域の知識 有機化学の基本的な考え方が生体分子の性質や生化学反応にどのように関連しているか説明できる。 III 医療の実践 — IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 — V 医学、医療、保健、社会への貢献 有機化学の発展が医学研究において重要な役割を果たし、社会に貢献していることを理解できる。 VI 国際的視野と科学的探究 科学的探求を行う上で基礎となる化学反応のメカニズムを理解できる。		
評価方法	■ 受講態度 (10%) 《I》 ■ 小テスト (10%) 《II, V, VI》 ■ 定期試験 (80%) 《II, V, VI》 《》内は評価するアウトカムのコンピテンンス番号を記載		
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【I】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	第1回 ガイダンス (なぜ有機化学が必要なのか) 原子の構造 (ヒトの体を構成する主な元素、電子配置と原子軌道)	講義	松平
	第2回 有機化合物の分子軌道 (共有結合の本質、炭素の混成軌道と分子の形の関係)	講義	松平
	第3回 有機酸と有機塩基 (酸と塩基の強さの指標(pKa)、置換基効果)	講義	松平
	第4回 有機化合物のIUPAC命名法 (系統名から構造式を導く)	講義	松平
	第5回 鏡像異性体とジアステレオマー (立体配置の表し方、立体異性体の性質の違い)	講義	松平
	第6回 有機化合物のコンホメーション変化 (ブタン、シクロヘキサン、生体分子のコンホメーション)	講義	松平
	第7回 有機化学反応の機構 (反応機構の表し方、ラジカル反応、求核置換反応)	講義	松平
	第8回	講義	松平

	生体を構成するカルボニル化合物 (脂肪、脂肪酸の一般的な性質と加水分解反応)		
第9回	触媒作用 (触媒作用の機構、求核性と求電子性)	講義	松平
第10回	カルボン酸エステルの化学反応 (リボソームにおけるタンパク質合成、環状エステルの化学) アルデヒド・ケトンが生成する酸化還元反応 (ヒドリド還元、生体内(in vivo)と試験管内(in vitro)での化学反応)	講義	松平
第11回	単糖の構造と水溶液中での化学平衡 (糖の鎖状構造と環状構造、アルデヒド・ケトンと主要な官能基との化学反応)	講義	松平
第12回	糖質の化学 (単糖と多糖の種類と構造、単糖の化学平衡、糖に特有の化学反応) アミノ酸の化学 (アミノ酸の化学構造と性質による分類)	講義	松平
第13回	タンパク質の化学 (アミド結合・ペプチド結合の性質と化学合成)	講義	松平
第14回	核酸の化学 (DNAとRNAの構造と化学的性質の違い、核酸の化学反応と突然変異)	講義	松平
第15回	有機合成化学 (炭素—炭素結合を形成する反応が化学工業分野や医薬品開発にもたらした恩恵とは?)	講義	松平
授業外学修 (事前学修・事後学修)	講義前に教務システムで配布する資料を活用した予習・復習を行う。		
テキスト	教科書 基礎生命化学—分子から見た私たち— (かきく書房) プリント配布		
参考書	ボルハルト・ショアー 現代有機化学 (上、下巻) (化学同人) 生体分子の化学 (化学同人) 化合物命名法 (東京化学同人)		
学生へのメッセージ等	医学を学び、細胞、組織、臓器などを扱うようになると、ヒトの体は原子、分子、イオンで構成されているという自明の事実は忘れ去られてしまいがちです。生体が示す複雑な挙動の本質を理解するためには、分子レベルで構造と性質との関係を探求する必要があります。有機化学の講義は、そのための知識や思考を身につける助けとなるでしょう。		

講義科目名称： 生体分子化学

授業コード： I181080

英文科目名称： Biomolecular Chemistry

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	教養教育	2	選択
担当教員			
山本 恵三			
添付ファイル			

全担当教員	山本恵三		
概要	生体内の反応を理解するためには、生体を構成する分子の化学的性質や反応性を理解することが重要です。本講義では、特にタンパク質と糖に焦点を当て、化学的構造、反応性、速度論的解釈、研究手法等を理解することを目的とします。さらに、医学、医学研究に関するテーマについて、各自で調べて発表してもらう予定です。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム □医学生としてふさわしい行動を示すことができる。 □生涯にわたる医学研究の基礎を身につけることができる。 II 医学とそれに関する領域の知識 生体分子と医学とのかかわりについて説明できる。 III 医療の実践 文献を検索し、医学研究について理解することができる。 IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 協力して研究発表を構築したうえで発表することができる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 生体分子がどのように機能しているかを理解できる。 VI 国際的視野と科学的探究 リサーチマインドを持ち、医学研究についてアプローチすることができる。		
評価方法	■ 受講態度 (10%) 《I》 ■ 小テスト (10%) 《II、III、V、VI》 ■ 発表 (20%) 《I、II、III、IV、V、VI》 ■ 定期試験 (60%) 《II、V、VI》		
《》内は評価するアウトカムのコンピテンス番号を記載			
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	第1回 2025年4月11日 (金) 講義内容の概説 生体分子化学では、どのように講義を進めるのかについて説明します。また、自主研究発表の内容について説明します。	講義	山本
	第2回 2025年4月18日 (金) 生体分子の立体化学 生体分子は高度にホモキラルです。enantiomerの化学についての理解を深める講義を行います。	講義	山本
	第3回 2025年4月25日 (金) タンパク質の化学的構造 1 タンパク質の1～4次構造について、化学的な視点からの理解を深めます。	講義	山本
	第4回 2025年5月2日 (金) タンパク質の化学的構造 2 タンパク質の構造を安定化する相互作用について講義します。	講義	山本
	第5回 2025年5月9日 (金) 糖の構造と化学反応 糖の絶対構造がどのようにして決定されてきたかを理解し、その中で使用された化学反応について説明します。	講義	山本
	第6回 2025年5月16日 (金) 化学反応と酵素反応の速度論 1 化学反応における1次、2次反応と反応速度定数の求め方を理解したうえで、酵素反応が化学反応とどのように異なるのかを速度論的に解釈する方法について説明します。	講義	山本
	第7回 2025年5月23日 (金) 化学反応と酵素反応の速度論 2 酵素反応の現代的解釈について説明します。また、阻害剤が存在する場合の酵素反応の速度論について説明します。	講義	山本

	第8回	2025年5月30日（金） リガンドの結合に対する物理化学的解釈 1 タンパク質にリガンドが結合する場合の物理化学的性質について説明します。	講義	山本
	第9回	2025年6月6日（金） リガンドの結合に対する物理化学的解釈 2，モレキュラクラウディング リガンドの結合部位の数と結合数との関係式を求めます。 細胞内はどのような状態になっているかについて、化学的に解釈します。	講義	山本
	第10回	2025年6月13日（金） 生体分子を見る方法 1 生体（細胞）～生体分子を見る手法について講義します。	講義	山本
	第11回	2025年6月20日（金） 生体分子を見る方法 2 タンパク質を見る手法について講義します。	講義	山本
	第12回	2025年6月27日（金） 機能を持つタンパク質を得る方法 タンパク質を対象とした研究手法とトピックスについて説明します。	講義	山本
	第13回	2025年7月4日（金） 自主研究発表 1 医学研究に関するトピックスについて調べ、発表してもらいます。	演習	山本
	第14回	2025年7月11日（金） 自主研究発表 2 医学研究に関するトピックスについて調べ、発表してもらいます。	演習	山本
	第15回	2025年7月18日（金） 演習 演習を行うことにより、講義内容について理解を深めてもらいます。	演習	山本
授業外学修（事前学修・事後学修）				
テキスト	プリントを配布します。			
参考書	参考書 有坂 文雄 蛋白質科学入門（裳華房） ボルハルト、ショアー 現代有機化学（化学同人） 大西 正健 酵素反応速度論入門（学会出版センター） Lehninger Principles of Biochemistry（W. H. Freeman and Company）			
学生へのメッセージ等	生体分子を化学的に理解することは、将来基礎医学を学ぶ基礎となるとともに、医学研究を行うための必要な知識です。			

講義科目名称： 医用材料化学

授業コード： I181090

英文科目名称： Biomedical Materials Chemistry

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	教養教育	2	選択
担当教員			
酒井 宏水			
添付ファイル			

全担当教員	酒井 宏水、武村 潤一		
概要	医用材料・人工臓器、ドラッグデリバリーシステム、血液代替物に使われている高機能材料、汎用性材料、さらに研究開発が進められている材料について、化学の視点から構造、物性、生体適合性、安全性に関する知識を習得する。医用材料・人工臓器の実物を目で見、手で触り、特徴を実感する。また、先進医療技術の課題についての理解を深める。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナルリズム 医学生としての自覚をもって授業に臨み、医学、医療の発展に貢献する使命感と責任感を持つことができる。 II 医学とそれに関する領域の知識 様々な医用材料が治療に使用されることについて化学的に説明することができる。 III 医療の実践 － IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 － V 医学、医療、保健、社会への貢献 医学・医療に医用材料が関与し、社会に貢献していること、またその課題を理解し、説明することができる。 VI 国際的視野と科学的探究 医用材料の開発動向や課題を理解し、将来あるべき医療技術の研究開発を考え、リサーチマインドを持つことができる。		
評価方法	■受講態度(5%)《I》 ■ミニッツペーパー(10%)《I, II, V, VI》 ■定期試験(85%)《I, II, V, VI》		
《》内は評価するアウトカムのコンピテン番号を記載			
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【I】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	第1回 2025年9月22日（月） 講義の概要・医用材料（無機材料）	講義	酒井
	第2回 2025年9月29日（月） 医用材料（高分子材料）	講義	酒井
	第3回 2025年10月6日（月） 医用材料（生体高分子材料）	講義	酒井
	第4回 2025年10月16日（木） 医用材料として用いられる高分子の合成と基本物性（補講）	講義	酒井
	第5回 2025年10月20日（月） 人工臓器として用いられる医用材料（人工骨、人工関節、人工歯根など）	講義	酒井
	第6回 2025年10月27日（月） 人工臓器として用いられる医用材料（人工心臓、人工血管、人工透析など） 臓器移植-人工臓器-再生医療	講義	酒井
	第7回 2025年11月6日（木） 人工臓器として用いられる医用材料（アフレスシス、人工膵臓、インターフェース材料など）（補講）	講義	酒井
	第8回 2025年11月10日（月） 臨床外科手術現場における医用材料の使用法の実例	講義	武村（心臓血管外科）・酒井
	第9回 2025年11月17日（月） 医用材料に求められる生体適合性（生体側の変化、材料側の変化）	講義	酒井

	第10回	2025年12月1日（月） 医用材料の滅菌操作法、ウィルス不活化・除去法	講義	酒井
	第11回	2025年12月8日（月） ドラッグデリバリーシステム(DDS)に使用される材料	講義	酒井
	第12回	2025年12月15日（月） リポソーム（１）疎水性相互作用とリポソームの形成、機能	講義	酒井
	第13回	2025年12月22日（月） リポソーム（２）ドラッグデリバリーシステムへの応用	講義	酒井
	第14回	2026年1月5日（月） 献血-輸血システムの課題、血液成分の役割とその代替物材料	講義	酒井
	第15回	2026年1月19日（月） 医用材料化学の総括 試験について	講義	酒井
授業外学修（事前 学修・事後学修）				
テキスト	プリント配布			
参考書	堀内孝、村林俊 著 「医用材料工学」 コロナ社 橋田充 監修 「図解で学ぶDDS」 じほう			
学生へのメッセージ等	先進的医療技術を深く理解するには化学が不可欠です。医工連携の学際研究が新しい医用材料を誕生させます。			

講義科目名称： 基礎化学実験

授業コード： I18110A I18110B

英文科目名称： Basic Chemical Experiment

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	教養教育	1	必修
担当教員			
山本 恵三			
添付ファイル			

全担当教員	山本 恵三、松平 崇、久禮 智子、山田 孫平、菅原 啓祐		
概要	医学専門科目の実習の準備として、実験方法の基礎を身につける。講義や実技を通じて器具や装置の正しい使い方を習得し、実験に臨む態度を身につけるとともに、ノートとレポートの提出を行い、実験記録の取り方、科学論文に準拠した結果のまとめ方を学習する。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 医学生としてふさわしい行動を示すことができる。 II 医学とそれに関する領域の知識 医学研究を行う上で基礎となる実験操作や測定方法について理解し、実践することができる。 III 医療の実践 － IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 □メンバーと協力して実験することができる。 □実験結果からレポートを作成することができる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 － VI 国際的視野と科学的探究 科学的な理論と方法を理解し、実験し、記録することができる。		
評価方法	■ 実習中の受講態度 (20%) 《I》 ■ 実験ノート (定性実験) (40%) 《I、II、VI》 ■ レポート (定量実験) (40%) 《I、II、IV、VI》 《》内は評価するアウトカムのコンピテン্স番号を記載		
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【I】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	第1回 定性実験ガイダンス 定性実験についてのガイダンスに加え、基礎化学実験全体で使用する特定化学物質や医薬用外劇物等の取扱いに関する説明を行います。 《使用化学物質》 水酸化ナトリウム・シュウ酸・塩酸・硝酸・硫酸・水酸化カリウム・アンモニア水・塩化スズ・酢酸鉛・クロム酸カリウム・硝酸銀・硝酸鉛	講義	山本、松平、久禮、山田、菅原
	第2回 無機陽イオン定性分析 I 族金属イオンの分離・同定	実習	山本、松平、久禮、山田、菅原
	第3回 無機陽イオン定性分析 II 族金属イオンの分離・同定	実習	山本、松平、久禮、山田、菅原
	第4回 無機陽イオン定性分析 III 族金属イオンの分離・同定	実習	山本、松平、久禮、山田、菅原
	第5回 実技試験 未知試料中に含まれる金属イオンの分離、同定試験は2グループに分けて行います。	実習	山本、松平、久禮、山田、菅原
	第6回 定量実験ガイダンス 6項目 (A-1～C-2) の定量実験の説明を行います。定量実験で使用する医薬用外劇物の使用に関する再度の説明を行います。また、器具・装置の使い方を説明します。	講義	山本、松平、久禮、山田、菅原
	A* 中和滴定 滴定結果の統計処理	実習	山本、松平、久禮、山田、菅原
	B* 	実習	山本、松平、久禮、山田、菅原

	中和滴定 逆滴定と未知試料の濃度定量		
	C* pH測定 pH滴定曲線の作成と電離定数の決定	実習	山本、松平、 久禮、山田、菅原
	D* pH測定 緩衝液の調製と緩衝能の比較	実習	山本、松平、 久禮、山田、菅原
	E* 分光分析 モル吸光係数の測定	実習	山本、松平、 久禮、山田、菅原
	F* 分光分析 擬一次反応速度定数の測定	実習	山本、松平、 久禮、山田、菅原
	*注：A～Fはローテーションを組んで実験を行うので、順番は前後します。		
授業外学修（事前学修・事後学修）	定性実験：英語で書かれた実験テキストを基に、プロトコルをノートに記述する予習を行う。 定量実験：実験終了後に科学論文に準拠した様式のレポートを作成し、提出する。		
テキスト	プリントを配布する		
参考書	実験を安全に行うために 第8版（化学同人） クリスチャン分析化学Ⅰ 基礎（丸善） Introduction To Semimicro Qualitative Analysis (Prentice Hall, Inc.)		
学生へのメッセージ等	化学実験で習得する手法・実験ノートの記述・レポートの作成方法は、専門科目の実習や医学研究を行うための基礎となります。 安全のため、白衣、保護メガネ（手袋：定性実験）の着用が必須です。		

講義科目名称： 生命科学概論（基礎）

授業コード： I241010

英文科目名称： Principles to Life Science (Basics)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	教養教育	4	選択必修
担当教員			
永渕 昭良			
添付ファイル			

全担当教員	前期：永渕昭良 後期：永渕昭良、小林千余子、裏山悟司		
概要	【前期】 永渕：細胞生物学の基本用語を習得し、生命活動の様式を分子・細胞レベルで理解する能力を身につける。 【後期】 永渕・小林・裏山：細胞生物学の基本現象を理解し、それを説明する能力を身につける。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 医学生として、学習内容の把握に真剣に取り組み、自己研鑽に努める。 II 医学とそれに関する領域の知識 生体を構成する細胞と分子について理解し、その働きを説明することができる。 III 医療の実践 教科書や参考資料から、目的に応じた内容を見つけ出し、問題を解決することができる。 IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 異なった興味や知識をもった同級生と、意見を交換し、問題を解決することができる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 － VI 国際的視野と科学的探究 細胞や分子に基づく知見が、国際的な研究に必要であることを理解し、その重要性を説明することができる。		
評価方法 《》内は評価するアウトカムのコンピテンス番号を記載	【前期】 ■定期試験（90%）《 I , II , VI 》 ■受講態度（10%）《 I 》 【後期】 永渕・小林・裏山： ■定期試験（90%）《 I , II , III , VI 》 ■受講態度（10%）《 I , IV 》 ただし、最終成績は前期×0.2+後期×0.8とする。		
授業計画 【】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	授業内容	授業形態	担当者
	第1回 ガイダンス 生物学学習の意味	講義	永渕
	第2回 タンパク質の構成因子と構造	講義	永渕
	第3回 複製の基本原則	講義	永渕
	第4回 転写の基本原則	講義	永渕
	第5回 翻訳の基本原則	講義	永渕
	第6回 生体膜の構成因子と構造	講義	永渕
	第7回 細胞骨格とモーター関連因子と基本機能	講義	永渕
	第8回 細胞接着関連因子と基本機能	講義	永渕

	第9回	細胞周期の基本原理	講義	永渕
	第10回	膜電位の基本原理	講義	永渕
	第11回	生体における化学変化	講義	永渕
	第12回	細胞内区画の基本機能とATP産生の基本原理	講義	永渕
	第13回	情報伝達の基本原理	講義	永渕
	第14回	細胞生物学から見たがん	講義	永渕
	第15回	がんの分子生物学	講義	永渕
	第16回	複製の理解 1	講義	永渕・小林・裏山
	第17回	複製の理解 2	講義	永渕・小林・裏山
	第18回	転写・翻訳の理解	講義	永渕・小林・裏山
	第19回	翻訳の詳細についての理解	講義	永渕・小林・裏山
	第20回	オルタナティブスプライシングの理解	講義	永渕・小林・裏山
	第21回	複製・転写・翻訳のまとめ	講義	永渕・小林・裏山
	第22回	細胞周期の理解	講義	永渕・小林・裏山
	第23回	細胞周期と複製の関連についての理解	講義	永渕・小林・裏山
	第24回	ATP産生の理解	講義	永渕・小林・裏山
	第25回	細胞周期・複製・ATP産生のまとめ	講義	永渕・小林・裏山
	第26回	膜電位の理解	講義	永渕・小林・裏山
	第27回	達成度評価	講義	永渕・小林・裏山
	第28回	DNA修復・アポトーシス・情報伝達の理解	講義	永渕・小林・裏山
	第29回	総復讐	講義	永渕・小林・裏山
	第30回	最先端の生物学の講義	講義	永渕・小林・裏山

授業外学修（事前学修・事後学修）	
テキスト	教科書 Essential細胞生物学 最新版 南江堂（現時点では原著第5版 2021年） プリント配布
参考書	細胞の分子生物学 最新版
学生へのメッセージ等	【前期】 医学の基礎として、また一般教養として重要な生物学の基礎を確実に習得してください。 【後期】 永渕・小林・裏山：生物学の基礎を問題を解くことにより、確実に理解してください。

講義科目名称： 生命科学概論（発展）

授業コード： I241020

英文科目名称： Principles of Life Science (Advanced)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	教養教育	4	選択必修
担当教員			
永渕 昭良			
添付ファイル			

全担当教員	前期：永渕昭良 後期：後藤弘爾		
概要	【前期】 永渕：細胞生物学の基本用語を習得し、生命活動の様式を分子・細胞レベルで理解する能力を身につける。 【後期】 後藤：生物学の基本概念を習得し、それらがどのような研究によって生み出されてきたのかを理解する。単なる知識の習得に止まらず、生物学の発想や研究手法、論理展開の方法を学ぶ。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 医学生として、学習内容の把握に真剣に取り組み、自己研鑽に努める。 II 医学とそれに関する領域の知識 生体を構成する細胞と分子について理解し、その働きを説明することができる。 III 医療の実践 教科書や参考資料から、目的に応じた内容を見つけ出し、問題を解決することができる。 IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 異なった興味や知識をもった同級生と、意見を交換し、問題を解決することができる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 － VI 国際的視野と科学的探究 細胞や分子に基づく知見が、国際的な研究に必要であることを理解し、その重要性を説明することができる。		
評価方法 《》内は評価するアウトカムのコンピテンス番号を記載	【前期】 ■定期試験（90％）《 I, II, VI 》 ■受講態度（10％）《 I 》 【後期】 後藤： ■定期試験（70％）《 I, II, III, VI 》 ■受講態度（30％：講義中の小テスト、提出課題、授業参加度）《 I, IV 》 ただし、最終成績は前期×0.2＋後期×0.8とする。		
授業計画 【I】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	授業内容	授業形態	担当者
	第1回 ガイダンス 生物学学習の意味	講義	永渕
	第2回 タンパク質の構成因子と構造	講義	永渕
	第3回 複製の基本原則	講義	永渕
	第4回 転写の基本原則	講義	永渕
	第5回 翻訳の基本原則	講義	永渕
	第6回 生体膜の構成因子と構造	講義	永渕
	第7回 細胞骨格とモーター関連因子と基本機能	講義	永渕
	第8回 細胞接着関連因子と基本機能	講義	永渕

	第9回	細胞周期の基本原理	講義	永渕
	第10回	膜電位の基本原理	講義	永渕
	第11回	生体における化学変化	講義	永渕
	第12回	細胞内区画の基本機能とATP産生の基本原理	講義	永渕
	第13回	情報伝達の基本原理	講義	永渕
	第14回	細胞生物学から見たがん	講義	永渕
	第15回	がんの分子生物学	講義	永渕
	第16回	生物学の学び方、生物学の歴史	講義	後藤
	第17回	生物の特徴	講義	後藤
	第18回	生体高分子	講義	後藤
	第19回	細胞構造と細胞周期	講義	後藤
	第20回	遺伝学1（メンデル遺伝とその拡張）	講義	後藤
	第21回	遺伝学2（非メンデル遺伝）	講義	後藤
	第22回	遺伝学3（遺伝子と染色体）	講義	後藤
	第23回	分子生物学1（DNAの構造と複製）	講義	後藤
	第24回	分子生物学2（転写と翻訳）	講義	後藤
	第25回	分子生物学3（遺伝子発現調節）	講義	後藤
	第26回	分子生物学4（分子発生学）	講義	後藤
	第27回	ウイルス	講義	後藤
	第28回	DNAテクノロジーと遺伝子工学	講義	後藤
	第29回	ゲノム科学	講義	後藤
	第30回	まとめ（ゲノム、発生、進化）	講義	後藤

授業外学修（事前学修・事後学修）	【後期】 後藤：最低1時間の予習、1時間の復習（課題への取り組み）が必要。
テキスト	教科書 【前期】 Essential細胞生物学 最新版 南江堂（現時点では原著第5版 2021年） プリント配布 【後期】 後藤：キャンベル生物学 原書11版以降（原書/日本語版） プリント配布。
参考書	【前期】 細胞の分子生物学 最新版 【後期】 後藤：Molecular Biology of the Cell 原書第7版（原書/日本語版）
学生へのメッセージ等	【前期】 医学の基礎として、また一般教養として重要な生物学の基礎を確実に習得してください。 【後期】 後藤：生物学は医学の基礎となる学問です。 分子遺伝学を中心に、生物学を体系的に学ぶと共に、科学的根拠に基づいて論理的に思考することを身につけてください。 物理選択者に対しても十分な理解が得られるよう配慮します。

講義科目名称： 分子生物学

授業コード： I181120

英文科目名称： Molecular Biology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	教養教育	2	選択
担当教員			
永渕 昭良			
添付ファイル			

全担当教員	永渕 昭良		
概要	生物の複雑な現象を理解するために必要な用語を習得し、複雑な生命活動の様式を分子の言葉で理解し、説明する能力を身につける。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 医学生として、学習内容の把握に真剣に取り組み、自己研鑽に努める。 II 医学とそれに関する領域の知識 生体を構成する細胞と分子について理解し、その働きを説明することができる。 III 医療の実践 教科書や参考資料から、目的に応じた内容を見つけ出し、問題を解決することができる。 IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 － V 医学、医療、保健、社会への貢献 医学研究に関する基礎知識を習得し、その応用の可能性を考えることができる。 VI 国際的視野と科学的探究 細胞や分子に基づく知見が、国際的な研究に必要であることを理解し、その重要性を説明することができる。		
評価方法	■定期試験（90％）《Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅵ》 ■受講態度・机間指導（10％）《Ⅰ、Ⅴ》		
《》内は評価するアウトカムのコンピテンス番号を記載			
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	第1回 カドヘリンの歴史	講義	永渕
	第2回 クロマチンの構造と機能	講義	永渕
	第3回 DNA修復の基本原則	講義	永渕
	第4回 細胞骨格とモーターの複雑な機能	講義	永渕
	第5回 細胞周期の複雑な調節機構	講義	永渕
	第6回 細胞間接着の複雑な機能	講義	永渕
	第7回 細胞基質間接着の複雑な機能	講義	永渕
	第8回 細胞内区画の複雑な機能	講義	永渕
	第9回 小胞輸送の複雑な制御機構	講義	永渕
	第10回 エキソサイトーシス・エンドサイトーシスの制御機構と役割	講義	永渕

	第11回 情報伝達ーGPCRと酵素共役型	講義	永渕
	第12回 情報伝達ーサイトカインと形態形成	講義	永渕
	第13回 アポトーシスの制御機構	講義	永渕
	第14回 がん遺伝子とがん抑制遺伝子	講義	永渕
	第15回 がんの複雑さ	講義	永渕
授業外学修（事前学修・事後学修）			
テキスト	Essential細胞生物学 最新版 南江堂（現時点では原著第5版 2021年） プリント配布		
参考書	細胞の分子生物学 最新版		
学生へのメッセージ等	生物の不思議と複雑さを理解し、全体像を把握してください。		

講義科目名称： 入門生物学

授業コード： I241090

英文科目名称： Introduction to Biology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	教養教育	2	選択
担当教員			
小林 千余子			
添付ファイル			

全担当教員	小林 千余子		
概要	(一般目標) 最近の驚異的な生命科学の発展により、いまや生命科学の理解なしに「いのち」を理解することは出来ない。生命科学に関する基礎知識を習得し、「生きているしくみ」を細胞および分子レベルで理解する能力を養う。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 将来の医療人として、ふさわしい行動を示すことができる II 医学とそれに関する領域の知識 ☐ 細胞や生体を構成する物質 (タンパク質、DNA) のはたらきについて、概略を説明することができる ☐ 生殖と発生について、概略を説明することができる III 医療の実践 — IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 — V 医学、医療、保健、社会への貢献 自然科学研究を基とした医学の研究と開発が社会に貢献することを理解できる VI 国際的視野と科学的探究 自然科学研究で明らかになった新しい知見や、その発見の基礎となった科学的理論と方法論を理解し、説明できる		
評価方法	■ 受講態度、課題、小テスト (10%) 《 I, II, V, VI 》 ■ 定期試験 (90%) 《 II, V, VI 》		
《 》内は評価するアウトカムのコンピテン্স番号を記載			
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【I】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	第1回 2025年9月22日 (月) 生物と細胞、生体を構成する物質	講義	小林
	第2回 生物と遺伝子、ゲノム	講義	小林
	第3回 細胞周期	講義	小林
	第4回 遺伝情報の分配	講義	小林
	第5回 DNAの複製	講義	小林
	第6回 遺伝情報の転写	講義	小林
	第7回 遺伝情報の翻訳	講義	小林
	第8回 遺伝子の発現調節	講義	小林
	第9回 バイオテクノロジー 基礎編	講義	小林
	第10回	講義	小林

	バイオテクノロジー 応用編		
	第11回 生殖と減数分裂	講義	小林
	第12回 配偶子形成	講義	小林
	第13回 受精と発生	講義	小林
	第14回 再生現象 再生医療技術	講義	小林
	第15回 2026年1月19日（月） 総復習とまとめ	講義	小林
授業外学修（事前学修・事後学修）			
テキスト	Essential 細胞生物学 最新版, 高校教科書 基礎生物 生物, プリント配布		
参考書	「細胞の分子生物学」最新版 ニュートンプレス		
学生へのメッセージ等	高校で生物学を履修していない学生を対象に、高校レベルからはじめ、基礎医学履修への橋渡しをする。生命科学概論（基礎）と、連携した講義を行うこともあり、授業計画は前後することがある。		

講義科目名称： 基礎生物学

授業コード： I241100

英文科目名称： Basic Biology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	教養教育	2	選択
担当教員			
裏山 悟司			
添付ファイル			

全担当教員	裏山 悟司		
概要	生命の捉え方・生命活動の様式について、専門教育課程で学ぶための基礎知識を習得することを目的とする。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 医学生としてとしてふさわしい行動を示すことができる。 II 医学とそれに関する領域の知識 生命科学の基礎的な現象について、適切な用語を用いて説明することができる。 III 医療の実践 - IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 教員の指示を理解し、適切なレポートを作成することができる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 生命科学の基礎的な現象を理解することにより、将来学ぶ様々な疾患についてより深く理解することができる。 VI 国際的視野と科学的探究 生命科学の基礎的な現象を理解することにより、科学研究で明らかになった新しい知見をより深く理解することができる。		
評価方法	■定期試験 (80%) ≪ II ≫ ■受講態度/小テスト/中テスト/レポート (20%) ≪ I, II, IV, V, VI ≫		
《》内は評価するアウトカムのコンピテン্স番号を記載			
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【I】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	第1回 ガイダンス/細胞と分子 I	講義	裏山
	第2回 細胞と分子 II	講義	裏山
	第3回 DNAの構造と機能 I (DNAの複製)	講義	裏山
	第4回 DNAの構造と機能 II (DNAの複製、修復)	講義	裏山
	第5回 遺伝子発現(転写、翻訳)	講義	裏山
	第6回 エネルギーと代謝 I (細胞内呼吸)	講義	裏山
	第7回 エネルギーと代謝 II (細胞内呼吸、光合成)	講義	裏山
	第8回 体細胞分裂	講義	裏山
	第9回 減数分裂、初期発生	講義	裏山
	第10回 復習1	講義	裏山

	(1)便宜上、10回目に記載しているが進捗状況に応じて実施回は前後する。 (2)授業の進捗が遅い場合には、復習回は通常授業進行となる。		
	第11回 生物工学(遺伝子工学)	講義	裏山
	第12回 体の成り立ちと恒常性の維持	講義	裏山
	第13回 免疫	講義	裏山
	第14回 中テスト (1)便宜上、14回目に記載しているが進捗状況に応じて実施。実施日はあらかじめ通知する。状況によっては、未実施の可能性もあり。 (2)実施するとしても中テストのみではなく、前後どちらかの授業項目の講義を実施予定	講義	裏山
	第15回 復習2 (1)最終回を予定しているが、授業の進行が遅れている場合、未実施の単元を実施する場合あり。 (2)必要に応じて、14回目までに振り分ける可能性あり。	講義	裏山
授業外学修(事前学修・事後学修)			
テキスト			
参考書	教科書 特に指定しないが、参考図書のものを1冊読破することを推奨する。詳しくは初回の授業で言及する。 ※なお、Essential 細胞生物学 原書第5版 / 中村桂子 松原謙一 榎佳之 水島昇 監訳 / 南江堂、の内容を必要に応じて取り扱うので持参することが望ましい; こちらは生命科学概論(必修;授業コード; I27013)のテキストになっている。 参考書 ・高校の基礎生物、生物の教科書全般 ・生物学・細胞生物学 第3版 / 和田勝 著 / 羊土社 ・やさしい基礎生物学 第2版 / 南雲保 著 / 羊土社 ・理系総合のための生命科学 第4版 / 東京大学生命科学教科書編集委員会 編/ 羊土社 ・スター生物学 / 八杉貞雄 監訳 / 東京科学同人		
学生へのメッセージ等	1. 基礎生物学は高校生物履修者を対象とした基礎的な授業となる。高校生物履修者など、基礎的な生物学の知識を既に身につけている学生は、本講義と同じ時間に開講されている分子生物学(授業コード; I25015)の受講を強く勧める。 2. 学生の習熟度をみつつ授業進行を行うので、状況により、シラバスと実際の進行速度、および順序が異なる場合がある。 ※特に生命科学概論の進行に合わせた単元を実施する場合あり。		

講義科目名称： 基礎生物学実験

授業コード： I18114A I18114B

英文科目名称： Basic Biology Experiment

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	教養教育	1	必修
担当教員			
永渕 昭良			
添付ファイル			

全担当教員	永渕昭良、小林千余子、裏山悟司、川島牧、秋山康子		
概要	生物学に関する一般的な知識、および基礎実験の手法と考え方を身につける。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 共用の実習用機器の重要性を理解し、丁寧に扱うことができる。 II 医学とそれに関する領域の知識 □生体を構成する臓器、組織、細胞の形態や名称を理解し、説明することができる。 □生物学的研究の大きな柱である、分子生物学的実験の基礎と手法を理解し、実際に行うことができる。 III 医療の実践 遺伝子情報のデータベースについて理解し、操作することができる。 IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 機器や情報の共有を介して、班員と良好で生産的な関係を築くことができる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 医学研究にも使われる機器の名称と使用方法を理解し、その応用の可能性を考えることができる。 VI 国際的視野と科学的探究 細胞や分子に基づく知見が、国際的な研究に必要であることを理解し、その重要性を説明することができる。		
評価方法	■レポート（受講態度を含む）100% 《 I, II, III, IV, V, VI 》		
《 》内は評価するアウトカムのコンピテン্স番号を記載			
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【 】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	第1回 光学顕微鏡観察Ⅰ 光学顕微鏡の使い方講習	実習	全教員
	第2回 光学顕微鏡観察Ⅱ 腎臓の切片（ハツカネズミ）の観察	実習	全教員
	第3回 光学顕微鏡観察Ⅲ 動物細胞、植物細胞の観察①	実習	全教員
	第4回 光学顕微鏡観察Ⅳ 動物細胞、植物細胞の観察②	実習	全教員
	第5回 光学顕微鏡観察Ⅴ 植物細胞の浸透圧変化の観察①	実習	全教員
	第6回 光学顕微鏡観察Ⅵ 植物細胞の浸透圧変化の観察②	実習	全教員
	第7回 光学顕微鏡観察Ⅶ 血球の観察①	実習	全教員
	第8回 光学顕微鏡観察Ⅷ 血球の観察②	実習	全教員
	第9回 光学顕微鏡観察Ⅸ 脊椎動物の組織切片の観察①	実習	全教員
	第10回 光学顕微鏡観察Ⅹ 脊椎動物の組織切片の観察②	実習	全教員

	第11回	資料作成Ⅰ 本実習内容に関する発表資料作成①	実習	全教員
	第12回	資料作成Ⅱ 本実習内容に関する発表資料作成②	実習	全教員
	第13回	発表Ⅰ 資料作成Ⅰ・Ⅱで作成した資料の発表Ⅰ	実習	全教員
	第14回	発表Ⅱ 資料作成Ⅰ・Ⅱで作成した資料の発表Ⅱ	実習	全教員
	第15回	分子生物学実験Ⅰ 実験機器の名称と使用法の把握①	実習	全教員
	第16回	分子生物学実験Ⅱ 実験機器の名称と使用法の把握②	実習	全教員
	第17回	分子生物学実験Ⅲ 制限酵素処理と電気泳動	実習	全教員
	第18回	分子生物学実験Ⅳ プラスミドDNA配列情報の解析	実習	全教員
	第19回	分子生物学実験Ⅴ PCR反応の原理、DNA解析方法の習得	実習	全教員
	第20回	分子生物学実験Ⅵ プラスミドをテンプレートにしたPCR反応	実習	全教員
	第21回	分子生物学実験Ⅶ PCR反応産物の解析, ゲノムDNAをテンプレートにしたPCR反応	実習	全教員
	第22回	分子生物学実験Ⅷ ゲノムDNA情報処理方法の習得	実習	全教員
	第23回	分子生物学実験Ⅸ PCR反応産物の制限酵素処理による確認	実習	全教員
	第24回	分子生物学実験Ⅹ ゲノム情報処理の応用 (cDNAとゲノムDNAの違いの把握)	実習	全教員
授業外学修 (事前学修・事後学修)				
テキスト	プリントを配布する。			
参考書	授業中に紹介する。			
学生へのメッセージ等	状況により、授業の順番が前後する可能性がある。			

講義科目名称：微積分学および線形代数学

授業コード：I24103A

英文科目名称：Calculus and Linear Algebra

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	教養教育	4	必修
担当教員			
芦野 隆一			
添付ファイル			

全担当教員	芦野 隆一		
概要	線形代数学は微分積分学と並ぶ数学の基本分野であり、統計学や機械学習などへの応用も幅広い。本講義では、行列の基本や行列式、逆行列といった概念を学習し、それらを連立一次方程式の解法に応用する方法を学ぶ。さらに線形写像やその性質について講義する。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 医師にとっても必要不可欠な考える力を身につける。 II 医学とそれに関する領域の知識 医学・自然科学を背後から支える数学の基礎理論を説明できる。 III 医療の実践 — IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 — V 医学、医療、保健、社会への貢献 — VI 国際的視野と科学的探究 ☐自然科学の共通言語である数学を学び、自由な発想の大事さを理解している。 ☐数学を学び、ものを真に自由に考えることができる。		
評価方法	■受講態度 (10%) 《I, VI》 ■定期試験 (90%) 《I, II, IV》 《》内は評価するアウトカムのコンピテン番号を記載		
授業計画 【I】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	授業内容	授業形態	担当者
	第1回 ベクトルと行列	講義	芦野
	第2回 行列の演算	講義	芦野
	第3回 行列と連立一次方程、係数行列と拡大係数行列	講義	芦野
	第4回 行列の基本変形と連立一次方程式	講義	芦野
	第5回 行列の階数と解の関係	講義	芦野
	第6回 逆行列と正則行列	講義	芦野
	第7回 行列式	講義	芦野
	第8回 逆行列と連立一次方程式	講義	芦野
	第9回 ベクトル空間、部分空間	講義	芦野
	第10回 一次独立と一次従属	講義	芦野

	第11回	基底と次元	講義	芦野
	第12回	写像と線形写像、核と像	講義	芦野
	第13回	線形変換、表現行列	講義	芦野
	第14回	固有値と固有ベクトル	講義	芦野
	第15回	行列の対角化	講義	芦野
授業外学修（事前学修・事後学修）				
テキスト	三宅久恒「線形代数学-初歩からジョルダンの標準形へ-」培風館			
参考書				
学生へのメッセージ等	理解度や進度に応じて内容を変更する場合がある。			

講義科目名称：微積分学および線形代数学

授業コード：I24103B

英文科目名称：Calculus and Linear Algebra

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	教養教育	4	必修
担当教員			
川口 良			
添付ファイル			

全担当教員	川口 良		
概要	関数近似を大きなテーマとし、高校数学の先にある微積分を学ぶ。三角関数や指数関数、対数関数などよく知られた初等関数であっても、具体的に与えられた入力値に対し出力値を知することは意外に困難である。それをどのようにして求めるのか、またそれが可能になると何が起こるのか。関数近似の手法とそこから得られる様々な知見や応用を眺めながら、解析学に関する教養を深める。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 医師にとっても必要不可欠な自分の頭で考える力を身に付けている。 II 医学とそれに関する領域の知識 医学や自然科学を背後から支える数学の基礎理論を説明できる。 III 医療の実践 — IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 — V 医学、医療、保健、社会への貢献 — VI 国際的視野と科学的探究 □自然科学の共通言語である数学を学び、柔軟な発想の大切さを理解している。 □数学の学習を通して良い意味での批判精神を身に付け、物事を真に自由に考えることができる。		
評価方法	受講態度(10%)《I》 定期試験(90%)《II, VI》 《》内は評価するアウトカムのコンピテンス番号を記載		
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【I】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	第1回 いろいろな関数	講義	川口
	第2回 平均値の定理の再考とテイラー展開	講義	川口
	第3回 テイラー展開による関数近似	講義	川口
	第4回 テイラー展開の応用	講義	川口
	第5回 広義積分	講義	川口
	第6回 広義積分の応用	講義	川口
	第7回 累次積分	講義	川口
	第8回 重積分	講義	川口
	第9回 重積分の変数変換	講義	川口
	第10回 フーリエ級数展開	講義	川口

	第11回 複素フーリエ級数展開	講義	川口
	第12回 フーリエ変換	講義	川口
	第13回 フーリエ変換の応用（画像圧縮）	講義	川口
	第14回 フーリエ変換の応用（CTスキャン）	講義	川口
	第15回 これまでの学習のまとめと復習	講義	川口
授業外学修（事前学修・事後学修）			
テキスト	教科書 難波誠 著 「微分積分学」 裳華房		
参考書	参考書 三宅敏恒 著 「入門微分積分」 培風館		
学生へのメッセージ等	微積分やフーリエ解析について、理論と応用の両面を学んでいきます。幅広い話題を扱いますが、講義をしっかり聞いていれば十分理解可能な内容です。高校までの学習内容は既知としますが、状況や希望に応じて復習しながら講義を進めます。なお、理解度や講義の進度によって内容が変更になる場合もあります。		

講義科目名称： データサイエンス数学

授業コード： I251020

英文科目名称： Mathematics for Data Science

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	教養教育	2	選択
担当教員			
佐藤 嘉伸			
添付ファイル			

全担当教員	佐藤 嘉伸		
概要	医療・生命科学において、データサイエンスの重要性が増している。将来、臨床業務や医学研究で扱うであろう大量のデータ（ビッグデータ）の解析や可視化、これらデータを活用したAIの開発等を行うための基礎となる数学を学ぶ。実際に、コンピュータによるデータ解析を行うことで、講義内容の理解を深める。 本講義では、数学的厳密性や手計算で数学の問題を解けるようになることは重視せず、数学の各理論の基本概念を理解することで、洞察力をもってデータ解析ソフトウェアを活用でき、さらに興味のある学生は、プログラムを作成してデータ解析を行えるようになることを重視する。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 臨床現場で得られる患者データや生命科学実験で得たデータの重要性和プライバシーの問題を把握した上で、その貴重なデータをフル活用できるための数学的素養を身に付け、医療の質向上や新しい生命科学研究への貢献を目指して行動できる。 II 医学とそれに関する領域の知識 医療データ・生命科学データを活用した診断・治療や基礎研究のために必要な数学を説明できる。 III 医療の実践 実際の医療データを用いて、数学的意味を理解した上で、医療に貢献するデータ解析を行うことができる。 IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 医療におけるデータサイエンスとその基礎となる数学の意義をレポートなどで述べることができる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 医師として、日常臨床で積み重ねた医療データが、数学の素養をもつことで、より意義の高い解析につなげることができ、社会に貢献することが理解できる。 VI 国際的視野と科学的探究 国際的な視野において、医学と諸科学の融合研究の重要性を、特に、データサイエンス、その基礎となる数学との融合において理解し、説明できる。		
評価方法	■受講態度（20%）《I》 ■演習課題のレポート（80%）《II, III, IV, V, VI》		
《》内は評価するアウトカムのコンピテンス番号を記載			
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【I】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	第1回 データサイエンス数学概論	講義	佐藤 嘉伸
	第2回 微積分学および線形代数学概論（必須科目「微積分学および線形代数学」の予習/復習を含む）	講義	佐藤 嘉伸
	第3回 ビッグデータ解析・モデル化のための数学： 線形最小二乗法	講義	佐藤 嘉伸
	第4回 ビッグデータ解析・モデル化のための数学： 直交変換、直交関数展開、コサイン変換、離散コサイン変換	講義	佐藤 嘉伸
	第5回 ビッグデータ解析・モデル化のための数学： 主成分分析、教師無し学習、クラスタリング	講義	佐藤 嘉伸
	第6回 ビッグデータ解析・モデル化のための数学： たたみ込み積分、信号処理・画像処理	講義	佐藤 嘉伸
	第7回 ビッグデータ解析・モデル化のための数学：	講義	佐藤 嘉伸

	微分方程式、ベクトル解析		
	第8回	講義	佐藤 嘉伸
	ビッグデータ解析・モデル化のための数学： 教師あり学習、深層学習、誤差逆伝搬法		
	第9回	講義	佐藤 嘉伸
	ビッグデータ解析・モデル化のための数学： 正則化/ベイズ定理、非剛体位置合わせ		
	第10回	講義	佐藤 嘉伸
	3Dデータ可視化のための数学： コンピュータグラフィックス(CG)の数学（仮想人体形状や運動の表現など）		
	第11回	講義	佐藤 嘉伸
	3Dデータ可視化のための数学： 仮想現実感(VR)/拡張現実感(AR)の数学（仮想人体と実人体の融合のための位置合わせの理論など）		
	第12回	講義	佐藤 嘉伸
	医用画像データ再構成のための数学： フーリエ級数展開/フーリエ変換（必須科目「微積分学および線形代数学」の予習/復習を含む）、たたみ込み定理		
	第13回	講義	佐藤 嘉伸
	医用画像データ再構成のための数学： 離散フーリエ変換、高速フーリエ変換、2次元フーリエ変換、投影切断面定理		
	第14回	講義	佐藤 嘉伸
	医用画像データ再構成のための数学： CT/MRI画像再構成		
	第15回	講義	
	講義全体のまとめと復習		
授業外学修（事前学修・事後学修）			
テキスト	教員の作成した講義資料を配布する。講義の最初に（あるいは、事前に）、ダウンロードURLを提示する。		
参考書	妥協しないデータ分析のための微積分＋線形代数学 著者：杉山 聡、定価：3,080円（本体2,800円＋税）、ソシム株式会社 ISBN：978-4-8026-1480-1 授業中に、その他の参考書やわかりやすいYoutubeコンテンツ等を紹介する。 スマホやPC用の無料の統計解析アプリでの演習を行うことを検討している。		
学生へのメッセージ等	データサイエンスの活用は、今後、医学研究、医療の質向上のために、ますます重要になってきますので、その基礎となる数学の勉強にも、ぜひとも積極的に取り組んでください。数学が苦手な人にも、数式の意味を直観的に理解できるよう、また、数学の具体的な応用を常に示しながら、わかりやすい講義にしたいと思っています。 高校の時に、数学が不得意ではなくても（むしろ、得意でも）、大学で、数学が急に難しくなったと感じる学生も多いと思います。本講義では、必須科目の「微積分学および線形代数学」の予習/復習/補習にもなるよう、さらには、その講義で行われるようなフォーマルな数学のポイントや重要性の理解にもつながり、受講意欲が増すように配慮したいと思っています。		

講義科目名称： 幾何学入門

授業コード： I241120

英文科目名称： Introduction to Geometry

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	教養教育	2	選択
担当教員			
川口 良			
添付ファイル			

全担当教員	川口 良		
概要	関数や方程式の係数、変数、解として複素数まで許容したときに、どのような世界が広がっているだろうか。複素関数の性質や集合としての複素数の構造、複素方程式の定める多様体など、解析・代数・幾何それぞれの視点からその様子を眺める。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 医師にとっても必要不可欠な自分の頭で考える力を身に付けている。 II 医学とそれに関する領域の知識 医学や自然科学を背後から支える数学の基礎理論を説明できる。 III 医療の実践 － IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 － V 医学、医療、保健、社会への貢献 － VI 国際的視野と科学的探究 ☐自然科学の共通言語である数学を学び、柔軟な発想の大切さを理解している。 ☐数学の学習を通して良い意味での批判精神を身に付け、物事を真に自由に考えることができる。		
評価方法	■受講態度(10%)《I》 ■レポート課題または定期試験(90%)《II, VI》		
《》内は評価するアウトカムのコンピテン্স番号を記載			
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【I】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	第1回 複素数の基本	講義	川口
	第2回 複素平面と複素数列	講義	川口
	第3回 複素指数関数（オイラーの公式）	講義	川口
	第4回 複素三角関数	講義	川口
	第5回 複素平面に含まれる代数的構造（ガウス整数環）	講義	川口
	第6回 ガウス整数環の性質	講義	川口
	第7回 ガウス整数環における互除法	講義	川口
	第8回 ガウス整数の整数論への応用	講義	川口
	第9回 射影平面と代数方程式の定める多様体	講義	川口
	第10回 リーマン球面、代数曲線と特異点の定義	講義	川口

	第11回 1次代数曲線の形	講義	川口
	第12回 2次多項式の標準化と2次代数曲線の形	講義	川口
	第13回 3次多項式の標準化（リーマンの標準形）	講義	川口
	第14回 3次代数曲線の形	講義	川口
	第15回 これまでの学習のまとめと復習	講義	川口
授業外学修（事前学修・事後学修）			
テキスト	教科書 森正武・杉原正顕 著 「複素関数論」 岩波書店		
参考書	参考書 梶原健 著 「代数曲線入門」 日本評論社		
学生へのメッセージ等	高校では複素数は数の一種としてしか扱われませんでした、数であるからには実数と同様にそれらを使って関数論や方程式論を展開することができます。やや高度ですが、数学に興味があって真面目に取り組める人なら十分理解できる内容です。なお、理解度や講義の進度によって内容が変更になる場合もあります。		

講義科目名称： 線形代数学演習

授業コード： I241050

英文科目名称： Exercise of Linear Algebra

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	教養教育	1	選択
担当教員			
芦野 隆一			
添付ファイル			

全担当教員	芦野 隆一		
概要	線形代数学の講義の内容に沿った演習問題を解き、計算力・発想力・応用力を養う。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 医師にとっても必要不可欠な考える力を身につけている。 II 医学とそれに関する領域の知識 数学が医学のみならず自然科学全般を背後から支えていることを説明できる。 III 医療の実践 － IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 他者との意見交換や自分の考えの発表を通して、コミュニケーション能力を養い、プレゼンテーションを行うことができる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 － VI 国際的視野と科学的探究 いずれも数学の自由な発想を学ぶことで、考える力の重要性を理解している。		
評価方法 《》内は評価するアウト カムのコンピテンス番号 を記載	■受講態度（20％）《I, II》 ■演習発表や課題提出（80％）《IV, VI》		
授業計画 【】内は授業時に関係する モデル・コア・カリ キュラムの番号を記載	授業内容	授業形態	担当者
	第1回 ベクトルと行列	演習	芦野
	第2回 行列の演算	演習	芦野
	第3回 行列と連立一次方程、係数行列と拡大係数行列	演習	芦野
	第4回 行列の基本変形と連立一次方程式	演習	芦野
	第5回 行列の階数と解の関係	演習	芦野
	第6回 逆行列と正則行列	演習	芦野
	第7回 行列式	演習	芦野
	第8回 逆行列と連立一次方程式	演習	芦野
	第9回 ベクトル空間、部分空間	演習	芦野
	第10回 一次独立と一次従属	演習	芦野

	第11回 基底と次元	演習	芦野
	第12回 写像と線形写像、核と像	演習	芦野
	第13回 線形変換、表現行列	演習	芦野
	第14回 固有値と固有ベクトル	演習	芦野
	第15回 行列の対角化	演習	芦野
授業外学修（事前学修・事後学修）			
テキスト	三宅久恒「線形代数学-初歩からジョルダンの標準形へ-」培風館		
参考書			
学生へのメッセージ等	講義の内容の理解を深めるためにも、選択することが望ましい。理解度や進度に応じて内容を変更する場合がある。		

講義科目名称： 微積分学演習

授業コード： I241060

英文科目名称： Exercise of Calculus

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	教養教育	1	選択
担当教員			
川口 良			
添付ファイル			

全担当教員	川口 良		
概要	講義の内容に沿った演習問題を解き、計算力・発想力・応用力を養う。また、自分の考えを発表する力も身につける。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 医師にとっても必要不可欠な自分の頭で考える力を身に付けている。 II 医学とそれに関する領域の知識 医学や自然科学を背後から支える数学の基礎理論を説明できる。 III 医療の実践 － IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 他者との意見交換や自分の考えの発表を通して、コミュニケーション能力を養いプレゼンテーションを行うことができる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 － VI 国際的視野と科学的探究 ☐自然科学の共通言語である数学を学び、柔軟な発想の大切さを理解している。 ☐数学の学習を通して良い意味での批判精神を身に付け、物事を真に自由に考えることができる。		
評価方法	■受講態度(20%)《I》 ■演習発表(80%)《II, IV, VI》 《》内は評価するアウトカムのコンピテン্স番号を記載		
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【I】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	第1回 いろいろな関数 (演習問題を通じた学習)	演習	川口
	第2回 平均値の定理の再考とテイラー展開 (演習問題を通じた学習)	演習	川口
	第3回 テイラー展開による関数近似 (演習問題を通じた学習)	演習	川口
	第4回 テイラー展開の応用 (演習問題を通じた学習)	演習	川口
	第5回 広義積分 (演習問題を通じた学習)	演習	川口
	第6回 広義積分の応用 (演習問題を通じた学習)	演習	川口
	第7回 累次積分 (演習問題を通じた学習)	演習	川口
	第8回 重積分 (演習問題を通じた学習)	演習	川口
	第9回 重積分の変数変換 (演習問題を通じた学習)	演習	川口
	第10回 フーリエ級数展開	演習	川口

	(演習問題を通じた学習)		
	第11回 複素フーリエ級数展開 (演習問題を通じた学習)	演習	川口
	第12回 フーリエ変換 (演習問題を通じた学習)	演習	川口
	第13回 フーリエ変換の応用 (画像圧縮) (演習問題を通じた学習)	演習	川口
	第14回 フーリエ変換の応用 (CTスキャン) (演習問題を通じた学習)	演習	川口
	第15回 これまでの学習のまとめと復習 (演習問題を通じた学習)	演習	川口
授業外学修 (事前学修・事後学修)			
テキスト	教科書 難波誠 著 「微分積分学」 裳華房 + 演習プリント		
参考書	参考書 三宅敏恒 著 「入門微分積分」 培風館		
学生へのメッセージ等	講義で習った定義や定理を実際にどのように使うのか。講義中にも具体例は示しますが、演習では各自で問題を解いて発表してもらいます。ある程度は発表の回数を増やすことも大切ですが、それよりも試験にも向けた自習の時間と思って、自分で問題が解けるように訓練することに大きな意味があります。解答の途中で投げ出さず、一つ一つの問題にじっくり取り組んでください。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	教養教育	2	必修
担当教員			
周藤 俊治			
添付ファイル			

全担当教員	周藤 俊治														
概要	生物統計学は、保健医療分野における課題を統計的手法により明らかにし解決に資する学問である。ここでは、統計学の基礎から本分野においてどのような統計的手法が用いられてきたのか理解し、データの収集・解析・結果の解釈に必要とされる基礎知識を修得する。 授業を通して関連するモデル・コア・カリキュラムの項目は以下になる。 PR-01-01-01:患者や社会に対して誠実である行動とはどのようなものかを考え、そのように行動する（利益相反等） PR-01-02-02:他者からのフィードバックを適切に受け入れる PR-02-01-01:患者を含めた他者に思いやりをもって接する PR-02-02-01:自身の想像力の限界を認識した上で、他者を理解することに努める PR-03-01-01:人の生命に深く関わる医師に相応しい教養を身につける PR-03-01-02:答えのない問いについて考え続ける LL-01-01-02:学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる RE-01-01-01:常識を疑う RE-01-01-02:何事にも知的好奇心を持って取り組むことができる RE-03-01-01:自身の関心を問いにすることができる 授業内容で関連する項目は以下になる。 GE-01-04-01:根拠に基づいた医療(EBM)の 5 つのステップを列挙できる GE-01-04-02:PICO(PECO)を用いた問題の定式化ができる SO-02-02-02:割合・比・率の違い及び代表的な疫学指標(有病割合、リスク比、罹患率等)を理解している SO-02-02-05:主な疫学の研究デザインとして、観察研究(記述研究、横断研究、症例対照研究、コホート研究)及び介入研究(ランダム化比較試験等)を理解している SO-02-03-01:尺度(間隔、比、順序、名義)について説明できる SO-02-03-02:データの分布(欠損値を含む)について説明できる SO-02-03-03:正規分布の母平均の信頼区間について説明できる SO-02-03-04:相関分析、平均値と割合の検定等を実施できる SO-02-03-05:多変量解析の意義を理解している CS-02-03-04:主要な臨床・画像検査(表6)の特性(感度、特異度、偽陽性、偽陰性、検査前確率・検査後確率、尤度比、ROC曲線)と判定基準(基準値・基準範囲、カットオフ値、パニック値)を理解している														
目標	I 倫理観とプロフェッショナルリズム ☐医療者として研究倫理・規範を理解し説明できる ☐医学、医療の発展に統計分析が寄与することを説明できる ☐生涯にわたり統計分析について関心を持ち続ける必要性について説明できる II 医学とそれに関する領域の知識 統計と医学の関わりについて説明できる III 医療の実践 － IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 － V 医学、医療、保健、社会への貢献 － VI 国際的視野と科学的探究 ☐新たな知見と統計分析の関係について説明できる ☐科学研究で明らかになった知見における統計手法について説明できる														
評価方法	■提出課題(20%)《Ⅰ》 ■小テスト(30%)《Ⅵ》 ■定期試験(50%)《Ⅰ, Ⅱ, Ⅵ》 《》内は評価するアウトカムのコンピテンス番号を記載														
授業計画	<table><tr><th colspan="2">授業内容</th><th>授業形態</th><th>担当者</th></tr><tr><td>第1回</td><td>2025年4月9日（水）～5月9日（金） 【オンデマンド】科学と統計 （教科書1章1, 2） 【GE-01-04-01】</td><td>講義</td><td>周藤</td></tr><tr><td>第2回</td><td>2025年4月9日（水）～5月9日（金） 【オンデマンド】記述統計 尺度、度数、代表値、散布度(教科書2章1)</td><td>講義</td><td>周藤</td></tr></table>			授業内容		授業形態	担当者	第1回	2025年4月9日（水）～5月9日（金） 【オンデマンド】科学と統計 （教科書1章1, 2） 【GE-01-04-01】	講義	周藤	第2回	2025年4月9日（水）～5月9日（金） 【オンデマンド】記述統計 尺度、度数、代表値、散布度(教科書2章1)	講義	周藤
授業内容		授業形態	担当者												
第1回	2025年4月9日（水）～5月9日（金） 【オンデマンド】科学と統計 （教科書1章1, 2） 【GE-01-04-01】	講義	周藤												
第2回	2025年4月9日（水）～5月9日（金） 【オンデマンド】記述統計 尺度、度数、代表値、散布度(教科書2章1)	講義	周藤												

	【S0-02-03-01】 【S0-02-03-02】		
	第3回 2025年4月14日 (月) 推測統計 (1) 点推定(平均と分散)(教科書2章1) 【S0-02-03-03】	講義	周藤
	第4回 2025年4月21日 (月) 推測統計 (2) 区間推定(正規分布)(教科書2章1, 2, 3) 【S0-02-03-03】	講義	周藤
	第5回 2025年4月28日 (月) 推測統計 (3) 区間推定(t分布)(教科書3章2標本平均の理論分布と標準誤差(SE), 教科書4章1正規分布とt分布の違い, 2) 【S0-02-03-03】	講義	周藤
	第6回 2025年5月12日 (月) 推測統計 (4) 母比率の区間推定(二項分布と正規分布)(教科書7章1) 【S0-02-02-02】 【S0-02-03-04】	講義	周藤
	第7回 2025年5月19日 (月) 推測統計 (5) パラメトリック検定 (t検定)(教科書4章1, 5章1)	講義	周藤
	第8回 2025年5月26日 (月) 推測統計 (6) パラメトリック検定 (ANOVA, 有意確率補正法)(教科書8章1, 2教科書10章1Q7)	講義	周藤
	第9回 2025年6月2日 (月) 中間まとめ 小テスト(範囲 科学と統計～推測統計(6))	講義	周藤
	第10回 2025年6月9日 (月) 推測統計 (7) ノンパラメトリック検定, カイ二乗検定(教科書4章3, 教科書5章4, 教科書7章1, 2), 小テスト解説	講義	周藤
	第11回 2025年6月16日 (月) 相対リスク 【GE-01-04-02】 【S0-02-02-02】 【S0-02-02-05】	講義	周藤
	第12回 2025年6月23日 (月) ROC解析 (教科書6章1, 2, 3) 【CS-02-03-04】	講義	周藤
	第13回 2025年6月30日 (月) 相関係数, 回帰分析 (教科書9章1, 2, 3) 【S0-02-03-04】 【S0-02-03-05】	講義	周藤
	第14回 2025年7月7日 (月) 生存時間分析 【S0-02-02-02】	講義	周藤
	第15回 2025年7月14日 (月) まとめ	講義	周藤
授業外学修(事前学修・事後学修)	<事前学修> 事前に教科書および講義サイトを確認し, 用語など不明なものをリストアップしておくこと 授業で使用する資料が指示されている場合, 必要に応じてプリントアウトすること <事後学修> 例題や課題に関する不明点について調べて理解する, もしくは担当教員に相談し解決すること		
テキスト	教科書: カラーイメージで学ぶ統計学の基礎 新版 第2版 (日本教育研究センター) 講義サイト: https://medbb.net/education/nmubiostat2025 授業で使用する資料は講義サイトより提供する		
参考書			
学生へのメッセージ等	1) 受講生の理解度や実態を考慮してシラバスを変更する場合がある. 講義用Webサイトに変更内容を反映するので確認の事 2) 開講日時が未定の授業については決定次第告知するので注意のこと		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	教養教育	2	選択
担当教員			
周藤 俊治			
添付ファイル			

全担当教員	周藤 俊治		
概要	医療情報学は、保健医療分野における情報資源に関連する学問領域である。機微な情報を取り扱う一方で地域完結型医療や遠隔医療などで幅広く利活用が求められるなど、技術的な側面のみならず様々な側面からのアプローチが求められる学際的な側面の強い領域である。 ここでは様々な側面から保健医療に関する情報のあり方について基礎的な部分を理解しながら、さらなる発展が期待される科学技術の進展を見据える力を意見交換を通して獲得していく。 授業を通して関連するモデル・コア・カリキュラムの項目は以下になる。 PR-01-01-01: 患者や社会に対して誠実である行動とはどのようなものかを考え、そのように行動する（利益相反等） PR-01-02-02: 他者からのフィードバックを適切に受け入れる PR-02-01-01: 患者を含めた他者に思いやりをもって接する PR-02-02-01: 自身の想像力の限界を認識した上で、他者を理解することに努める PR-03-01-01: 人の生命に深く関わる医師に相応しい教養を身につける PR-03-01-02: 答えのない問いについて考え続ける LL-01-01-02: 学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる RE-01-01-01: 常識を疑う RE-01-01-02: 何事にも知的好奇心を持って取り組むことができる RE-03-01-01: 自身の関心を問いにすることができる IT-01-01-01: 情報・科学技術を医療に活用することの重要性と社会的意義を理解している IT-02-02-02: 情報・科学技術の専門家とともに、技術を医療へ応用する際に、医療者に求められる役割を理解している IT-03-02-01: 自己学習や協同学習の場に適切なICT（eラーニング、モバイル技術等）を活用できる 授業単位で関連する項目は以下になる。 IT-01-01-02: 医療における情報・科学技術に関連する規制（法律、ガイドライン等）の概要を理解している IT-01-01-03: デジタル情報や科学技術の活用における社会的格差が医療や福祉にもたらす影響や倫理的問題を議論できる IT-01-02-01: 電子カルテをはじめとする医療情報の管理・保管の原則について理解し、関連する規制（法律、倫理基準、個人情報保護のための規定等）を遵守できる IT-01-02-02: ソーシャルメディア（インターネット、SNS等）の利用において、医療者として相応しい情報発信の在り方を理解し、実践できる IT-02-02-01: 医療に関連する情報・科学技術（医療情報システム、ウェアラブルデバイス、アプリ、人工知能、遠隔医療技術、IoT等）を理解し、それらの応用可能性について議論できる IT-03-02-02: 新たに登場する情報・科学技術を自身の学び及び医療に活用する柔軟性を有する CS-05-06-02: 診療録の重要性を理解し、適切に記載し取り扱うことができる		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム ☐ 医療者として発生するデータの取り扱いに関する倫理・規範を理解し説明できる ☐ 医学、医療の発展にデータの利活用が寄与することを説明できる ☐ 生涯にわたりICTの活用について関心を持ち続ける必要性について説明できる II 医学とそれに関する領域の知識 ☐ データサイエンスと医学の関わりについて説明できる ☐ 社会において発生する保健医療データの役割について説明できる ☐ パーソナルデータの有用性について説明できる III 医療の実践 － IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 － V 医学、医療、保健、社会への貢献 ☐ 医師として地域医療に関わることの必要性を理解し、ICTをどのように活用しているのか説明できる ☐ 医療情報分野の研究開発が社会に貢献していることを説明できる VI 国際的視野と科学的探究 －		
評価方法	■ 提出課題 (20%) 《I》 ■ 小テスト (30%) 《II, V》 ■ レポート (50%) 《I, II, V》 《》内は評価するアウトカムのコンピテン番号を記載		
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【I】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	1 情報学（1）	講義	周藤

	情報とは 【IT-01-02-02】		
2	情報学（2） 情報量(1)定義，文字	講義	周藤
3	情報学（3） 情報量(2)画像，音	講義	周藤
4	ネットワーク技術	講義	周藤
5	情報セキュリティ 【IT-01-01-02】	講義	周藤
6	保健医療情報（1） 診療情報と診療記録 【CS-05-06-02】	講義	周藤
7	保健医療情報（2） 診療情報，診療記録の電子化 【IT-01-02-01】 【IT-02-02-01】	講義	周藤
8	保健医療情報（3） 医療機関外で発生する情報	講義	周藤
9	保健医療情報（4） 医療機関外で蓄積される情報	講義	周藤
10	保健医療分野におけるデジタルディバイド（1） 【IT-01-01-03】	講義	周藤
11	保健医療分野におけるデジタルディバイド（2） 【IT-01-01-03】	講義	周藤
12	保健医療分野における倫理的問題と情報技術（1） 【IT-01-01-02】	講義	周藤
13	保健医療分野における倫理的問題と情報技術（2） 【IT-01-01-02】	講義	周藤
14	情報技術の進展がもたらす未来の保健医療分野 【IT-03-02-02】	講義	周藤
15	まとめ	講義	周藤
授業外学修（事前学修・事後学修）	<事前学修> 事前に講義サイトを確認し，用語など不明なものをリストアップしておくこと 授業で使用する資料が指示されている場合，必要に応じてプリントアウトすること <事後学修> 授業内で生じた不明点について調べて理解する，もしくは担当教員に相談し解決すること		
テキスト	講義サイト： https://medbb.net/education/nmumedinfo2025 授業で使用する資料は講義サイトより提供する		
参考書			
学生へのメッセージ等	1) 受講生の理解度や実態を考慮してシラバスを変更する場合がある．講義用Webサイトに変更内容を反映するので確認の事		

講義科目名称： スポーツ実践I

授業コード： I18120A I18120B

英文科目名称： Sports Education I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	教養教育	1	必修
担当教員			
石指 宏通			
添付ファイル			

全担当教員	石指 宏通、王 文超		
概要	運動・スポーツが健康の保持・増進に果たす役割を認識するとともに、スポーツという身体活動による爽快感、そこで生まれる仲間との協力・競争を通して好ましい人間関係を形成し、公正、協力、責任、参画など社会的に望ましい行動する能力を養う。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 各種スポーツの実践を通して、スポーツに対する関心や主体的に取り組む意欲を高め、スポーツが健康の保持・増進に果たす役割を説明できる。 II 医学とそれに関する領域の知識 スポーツ活動の身体に及ぼす有効性と危険性を説明できる。 III 医療の実践 － IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 ルールを守り、仲間と共同してプレーできるとともに「楽しさ」を引き出し、強める方法を考えることができる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 既存のスポーツに固執することなく、能力差やハンディキャップの有無に応じてルール等を改変し、新たな実践方法を考えることができる。 VI 国際的視野と科学的探究 －		
評価方法	■受講態度（60％）：《Ⅰ，Ⅳ》 ■レポート（40％）：《Ⅱ，Ⅴ》		
《》内は評価するアウトカムのコンピテン番号を記載			
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	第1回 オリエンテーション（種目選択） （バレーボール、ソフトボール、テニス、卓球）	実技	石指・王
	第2回 各種スポーツの個人的基本技術の習得と簡易ゲーム①	実技	石指・王
	第3回 各種スポーツの個人的基本技術の習得と簡易ゲーム②	実技	石指・王
	第4回 各種スポーツの集団的基本技術の習得と簡易ゲーム①	実技	石指・王
	第5回 各種スポーツの集団的基本技術の習得と簡易ゲーム②	実技	石指・王
	第6回 リーグ戦	実技	石指・王
	第7回 リーグ戦	実技	石指・王
	第8回 リーグ戦	実技	石指・王
	第9回 各種スポーツの個人的基本技術の習得と簡易ゲーム① （種目変更）	実技	石指・王
	第10回 各種スポーツの個人的基本技術の習得と簡易ゲーム②	実技	石指・王

	第11回 各種スポーツの集団的基本技術の習得と簡易ゲーム①	実技	石指・王
	第12回 各種スポーツの集団的基本技術の習得と簡易ゲーム②	実技	石指・王
	第13回 リーグ戦	実技	石指・王
	第14回 リーグ戦	実技	石指・王
	第15回 リーグ戦とまとめ	実技	石指・王
授業外学修（事前学修・事後学修）			
テキスト	教科書 ナシ（必要に応じて、プリント配布）		
参考書	参考書 ナシ		
学生へのメッセージ等	2種目（各7回）を選択し、ゲーム中心にスポーツを楽しむ。詳細については1回目（オリエンテーション）で説明する。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	教養教育	1	必修
担当教員			
石指 宏通			
添付ファイル			

全担当教員	石指 宏通. 王 文超. 陳 昱龍		
概要	運動・スポーツが健康の保持・増進に果たす役割を認識するとともに、スポーツという身体活動による爽快感、そこで生まれる仲間との協力・競争を通して好ましい人間関係を形成し、公正、協力、責任、参画など社会的に望ましい行動する能力を養う。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 各種スポーツの実践を通して、スポーツに対する関心や主体的に取り組む意欲を高め、スポーツが健康の保持・増進に果たす役割を説明できる。 II 医学とそれに関する領域の知識 スポーツ活動の身体に及ぼす有効性と危険性を説明できる。 III 医療の実践 － IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 ルールを守り、仲間と共同してプレーできるとともに「楽しさ」を引き出し、強める方法を考えることができる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 既存のスポーツに固執することなく、能力差やハンディキャップの有無に応じてルール等を改変し、新たな実践方法を考えることができる。 VI 国際的視野と科学的探究 －		
評価方法 《》内は評価するアウトカムのコピテン番号を記載	■受講態度（60％）：《I，IV》 ■レポート（40％）：《II，V》		
授業計画 【】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	授業内容	授業形態	担当者
	第1回 オリエンテーション（種目選択） （バスケットボール、サッカー、テニス、卓球）	実技	石指・王
	第2回 各種スポーツの個人的基本技術の習得と簡易ゲーム①	実技	石指・王
	第3回 各種スポーツの個人的基本技術の習得と簡易ゲーム②	実技	石指・王
	第4回 各種スポーツの集団的基本技術の習得と簡易ゲーム①	実技	石指・王
	第5回 各種スポーツの集団的基本技術の習得と簡易ゲーム②	実技	石指・王
	第6回 リーグ戦	実技	石指・王
	第7回 リーグ戦	実技	石指・王
	第8回 リーグ戦	実技	石指・王
	第9回 各種スポーツの個人的基本技術の習得と簡易ゲーム① （種目変更）	実技	石指・王
	第10回	実技	石指・王

	各種スポーツの個人的基本技術の習得と簡易ゲーム②		
	第11回 各種スポーツの集団的基本技術の習得と簡易ゲーム①	実技	石指・王
	第12回 各種スポーツの集団的基本技術の習得と簡易ゲーム②	実技	石指・王
	第13回 リーグ戦	実技	石指・王
	第14回 リーグ戦	実技	石指・王
	第15回 リーグ戦とまとめ	実技	石指・王
授業外学修（事前学修・事後学修）			
テキスト	教科書 ナシ（必要に応じて、プリント配布）		
参考書	参考書 ナシ		
学生へのメッセージ等	2種目（各7回）を選択し、ゲーム中心にスポーツを楽しむ。詳細については1回目（オリエンテーション）で説明する。		

講義科目名称： 健康科学

授業コード： I181220

英文科目名称： Health Science

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	教養教育	2	選択
担当教員			
石指 宏通			
添付ファイル			

全担当教員	石指 宏通		
概要	健康の保持・増進のための運動やスポーツ、競技力向上のためのトレーニングを行うために必要となる人体各部の構造および機能に関する解剖生理学的基礎知識を身につけるとともに、運動・スポーツ傷害の予防や対処方法を理解し、安全に運動・スポーツを実施できる能力を養う。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 自己の目標を設定し、生涯にわたり向上を図るために学習し、研鑽することができる。 II 医学とそれに関する領域の知識 □運動・スポーツが健康に果たす役割について説明できる。 □身体諸機能（神経系・骨格系・呼吸循環系・消化系）の正常機能と構造を理解し、それらに及ぼす運動の影響について説明できる。 □運動・スポーツ時に発生し得る事故について、その予防法を応急処置が説明できる。 III 医療の実践 － IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 医学生として、共感的態度で他者に敬意をはらったコミュニケーションができる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 教養教育を学ぶことにより、将来医学・医療・保健・社会に貢献できることを理解する。 VI 国際的視野と科学的探究 科学的研究で明らかになった新しい知見を理解し、説明できる。		
評価方法 《》内は評価するアウトカムのコンピテン্স番号を記載	■受講態度（30％）：《Ⅰ，Ⅳ，Ⅴ》 ■小テスト（20％）：《Ⅱ》 ■定期試験（50％）：《Ⅱ，Ⅵ》		
授業計画 【】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	授業内容	授業形態	担当者
	第1回 運動と健康	講義	石指
	第2回 筋の構造と筋収縮	講義	石指
	第3回 エネルギー供給機構	講義	石指
	第4回 骨格器の機能と構造① （上肢帯と上肢）	講義	石指
	第5回 骨格器の機能と構造② （下肢帯と下肢）	講義	石指
	第6回 骨格器の機能と構造③ （体幹）	講義	石指
	第7回 骨格器の障害① （上肢帯と上肢）	講義	石指
	第8回 骨格器の障害② （下肢帯と下肢）	講義	石指
	第9回 呼吸・循環器の機能と構造および疾患	講義	石指
	第10回	講義	石指

	消化器の機能と構造および疾患		
	第11回 神経・内分泌の機能と構造および疾患	講義	石指
	第12回 運動時の体温調節	講義	石指
	第13回 運動と栄養	講義	石指
	第14回 運動の有効性と危険性	講義	石指
	第15回 まとめと復習	講義	石指
授業外学修（事前学修・事後学修）			
テキスト	教科書 授業ごとにプリント配布		
参考書	参考書 坂井建雄、河原克雅（総編集）「人体の正常構造と機能」 日本医事新報社		
学生へのメッセージ等	授業内容は順番が前後する可能性もあります。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	教養教育	4	必修
担当教員			
Mathieson Paul			
添付ファイル			

全担当教員	Mathieson, Paul / Murray, Claire / Ghashut, Rima / Antoniu, Manuela
概要	This course aims to: 1) Develop students' accuracy, fluency, and confidence across the 4 language skills (reading, writing, speaking and listening). 2) Introduce students to academic and scientific English vocabulary (form, meaning, and use). 3) Enable students to engage with various scientific/medical topics in English. The first half of the course (first semester) has a social science focus, covering topics that are relevant to the study and practice of medicine. The second half of the course (second semester) challenges students to discuss and debate topics relating to evidence-based medicine (EBM).
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム ☐ Throughout the course, students are required to discuss and debate issues of personal, social, and scientific relevance using logic, scientific reasoning, and empathy. ☐ A flipped-class approach facilitates interactive classes and requires students to develop good time management habits. ☐ A largely EBM-based content component requires students to evaluate perspectives/opinions that may be different from their own. II 医学とそれに関する領域の知識 ☐ Throughout the course students are expected to discuss topics from different perspectives, with a focus on balancing the needs of the individual and the needs of society. ☐ Throughout the first semester, students are required to discuss and debate issues of personal and societal relevance using logic, scientific reasoning, and empathy. ☐ The second semester is based on EBM principles and the role of science in medicine. Students are expected to apply their understanding of the scientific method, reason and logic, bias, and so on, to the various topics that are covered. III 医療の実践 The entire second semester is based around discussion and application of EBM principles in English. Students are expected to: ☐ Understand and evaluate different sources of medical information. ☐ Apply EBM principles to interpret medical data. ☐ Consider appropriate measures/actions based on EBM principles to answer specific questions of medical relevance. IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 ☐ Students are exposed to a variety of views and perspectives through 10 minutes of English conversation (in pairs) with other class members in every class. ☐ Students are required to work in different groups in class, assume different roles within those groups, and contribute to/lead discussions within group activities. ☐ Extensive communication with teachers from a variety of different cultural backgrounds helps to build students' intercultural communicative competence. V 医学、医療、保健、社会への貢献 ☐ Students are expected to discuss/debate various aspects of different health systems throughout the world. ☐ Students are required to discuss/debate the ethics of different approaches to the regulation of medication and medical procedures throughout the world. ☐ Students are also tasked with considering different aspects of global health systems from various viewpoints (including the viewpoints of healthcare regulators, healthcare providers, and patients). VI 国際的視野と科学的探究 ☐ Students extend their basic English communicative ability across the 4 skills to the level where they can join the international community of scientists and interact using English (the global language of science and medicine). ☐ Throughout the course, students are required to discuss and debate issues of personal, societal, and scientific importance based on the findings of relevant medical/scientific research in English. ☐ While participating in course-related activities, students are challenged to reflect on their own culture in order to deepen their understanding of foreign cultures.
評価方法	PARTICIPATION Students are expected to: 1) Complete their homework and class preparation BEFORE class. 2) Attend ALL classes *.

	3) Participate actively in class activities. * Students are able to miss up to 2 classes (2 absences) per semester without penalty. However, from the third absence, a penalty of 5% per missed class may be applied. Such a penalty will be deducted from the student's final grade. Failure to complete homework or being late for class may also be considered an absence from class. ASSESSMENT Overall English Skills To pass this course, students need to demonstrate that they have achieved the required standards in the following skill areas through in-class tests/assessment: 1) Speaking and listening fluency → Passing 2 speaking/listening fluency tests (first and second semester); 2) Writing fluency → Passing 2 fluency writing tests (first and second semester); 3) Reading fluency → Passing 2 speed reading tests (first and second semester); 4) Academic vocabulary → Passing 3 final AWL tests (first semester); 5) Scientific vocabulary → Passing 3 final AWL + SWL tests (second semester); and 6) Grammar → Passing six weekly grammar tests (first and second semester). Students who are unable to achieve these standards will NOT be eligible for credit (単位) for this course (regardless of their performance in the final exam/retest or in other forms of assessment). Final Grades Final grades for this course will be determined by: a) Class participation (see the note above regarding absences) 《I, II, III, IV, V, VI》 b) Final skills tests/assessments (see 1 - 6 above) 《I, II, IV, VI》 c) Weekly vocabulary tests = 10% 《V, VI》 d) Weekly grammar tests = 10% e) Extensive Reading Programme (Xreading) = 20% 《I, II, IV, V, VI》 f) Mid-term Test (First Semester) = 20% 《I, II, III, IV, V, VI》 g) Final Exam (Second Semester) = 40% 《I, II, III, IV, V, VI》 h) [Bonus = + 5% for each Special English Course completed (maximum of 2 Special English Courses)] To pass the Extensive Reading Programme (Xreading), students need to read a minimum of 80,000 words in the first semester and a minimum of 80,000 words in the second semester. The scoring for the Extensive Reading Programme in each semester is as follows: → 80,000 or more words = 60% (6 points) → 100,000 or more words = 80% (8 points) → 120,000 or more words = 100% (10 points) The content of the Mid-term Test and the Final Exam will be based on the texts and videos relating to the topics that are covered in this course. The minimum pass score for the Mid-term Test and for the Final Exam is 60%. Students who do not meet the minimum pass score (60%) for the Mid-term Test will be required to take a Special English Course in the second semester in order to be eligible to receive credit for this course. The minimum pass score for the course overall (all assessment) is also 60%.		
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
	(前)Week1	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
	Orientation & Introduction to the Course		
	10:40 am - 12:10 pm, Wednesday, 9 April & Friday, 11 April		
Updated Vocabulary Levels Test AWL 1-10 (α)			
(前)Week2	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou	
Topic 1: Why Do Japanese Physicians Need English?			
10:40 am - 12:10 pm, Wednesday, 16 April & Friday, 18 April			
AWL Sublist 1 Murphy Units 1-5			
(前)Week3	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou	
Topic 2: Knowledge versus Skills			
10:40 am - 12:10 pm, Wednesday, 23 April & Friday, 25 April			
AWL Sublist 2 Murphy Units 6-10			

	(前)Week4 Topic 3: Learning a Second Language: Vocabulary and Fluency Strategies 10:40 am – 12:10 pm, Wednesday, 30 April & Friday, 2 May AWL Sublist 3 Murphy Units 11-15	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
	(前)Week5 Topic 4: A Day in the Life of a Medical Student 10:40 am – 12:10 pm, Wednesday, 7 May & Friday, 9 May AWL Sublist 4 Murphy Units 16-20	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
	(前)Week6 Topic 5: Motivation and Creativity 10:40 am – 12:10 pm, Wednesday, 14 May & Friday, 16 May AWL Group 4 Murphy's Units 21-25	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
	(前)Week7 Topic 6: Happiness Studies 10:40 am – 12:10 pm, Wednesday, 21 May & Friday, 23 May AWL Sublist 6 Murphy Units 26-30	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
	(前)Week8 Topic 7: The Half-life of Knowledge 10:40 am – 12:10 pm, Wednesday, 28 May & Friday, 30 May AWL Groups 6 Murphy's Units 31-35	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
	(前)Week9 Topic 8: What Makes a Good Doctor? Empathy and the Art of Medicine 10:40 am – 12:10 pm, Wednesday, 4 June & Friday, 6 June AWL Group 7 Murphy's Units 36-40	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
	(前)Week10 Topic 9: Rich Doctors, Poor Patients 10:40 am – 12:10 pm, Wednesday, 11 June & Friday, 13 June AWL Sublist 9 Murphy Units 41-45	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
	(前)Week11 Topic 10: Death and Dying 10:40 am – 12:10 pm, Wednesday, 18 June & Friday, 20 June AWL Sublist 10 Murphy Units 46-50	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
	(前)Week12 Topic 11: Sleep, Stress, and the Brain 10:40 am – 12:10 pm, Wednesday, 25 June & Friday, 27 June AWL 1-10 (A) Murphy Units 51-55	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
	(前)Week13 Topic 12: Neurogenesis 10:40 am – 12:10 pm, Wednesday, 2 July & Friday, 4 July	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou

	AWL 1-10 (B) Murphy Units 56-60		
(前)Week14	Topic 13: Neuroplasticity 10:40 am - 12:10 pm, Wednesday, 9 July & Friday, 11 July AWL 1-10 (C) Murphy Units 61-65	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
(前)Week15	First Semester Review Classes 10:40 am - 12:10 pm, Wednesday, 16 July & Friday, 18 July AWL 1-10 (D) + (E) Murphy Units 66-70	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
	Mid-term Exam Wednesday, 23 July AWL 1-10 (F)	EXAM	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
(後)Week1	Introduction to the Second Semester Programme 10:40 am - 12:10 pm, Friday, 19 September AWL 1-10 (β) Murphy Units 71-75	Lecture	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
(後)Week2	Topic 1: What is Evidence-based Medicine and Why is it Important? 10:40 am - 12:10 pm, Wednesday, 24 September & Friday, 26 September SWL Sublist 1 Murphy Units 76-80	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
(後)Week3	Topic 2: The Scientific Method: What is it and Why Does it Work? 10:40 am - 12:10 pm, Wednesday, 1 October & Friday, 3 October SWL 1-2 Murphy Units 81-85	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
(後)Week4	Topic 3: Cause and Effect and the Human Experience 10:40 am - 12:10 pm, Wednesday, 8 October & Friday, 10 October SWL 1-3 Murphy Units 86-90	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
(後)Week5	Topic 4: Logic and Critical Thinking in Science 10:40 am - 12:10 pm, Wednesday, 15 October & Friday, 17 October SWL 1-4 Murphy Units 91-95	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
(後)Week6	Special Topic: AI - Friend or Foe? 10:40 am - 12:10 pm, Wednesday, 22 October SWL 1-5 Murphy Units 96-100	Lecture	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
(後)Week7	Topic 5: Statistics - Their Use and Misuse 10:40 am - 12:10 pm, Wednesday, 29 October & Friday, 31 October SWL 1-6 Murphy Units 101-105	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou

	(後)Week8 Topic 6: Clinical Science versus Basic Science 10:40 am - 12:10 pm, Wednesday, 5 November & Friday, 7 November AWL 1-10 + SWL 1-6 (A) Murphy Units 106-110	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
	(後)Week9 Topic 7: Bad Science: How Science Fails 10:40 am - 12:10 pm, Wednesday, 12 November & Friday, 14 November AWL 1-10 + SWL 1-6 (B) Murphy Units 111-115	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
	(後)Week10 Topic 8: Replication in Science and Medicine 10:40 am - 12:10 pm, Wednesday, 19 November & Friday, 21 November AWL 1-10 + SWL 1-6 (C) Murphy Units 116-120	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
	(後)Week11 Topic 9: Publish or Perish: The Publication Bias 10:40 am - 12:10 pm, Wednesday, 26 November & Friday, 28 November AWL 1-10 + SWL 1-6 (D) Murphy Units 121-125	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
	(後)Week12 Topic 10: A Dance with the Devil: Industry-funded Research 10:40 am - 12:10 pm, Wednesday, 3 December & Friday, 5 December AWL 1-10 + SWL 1-6 (E) Murphy Units 126-130	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
	(後)Week13 Topic 11: The Vaccination Debate 10:40 am - 12:10 pm, Wednesday, 10 December & Friday, 12 December AWL 1-10 + SWL 1-6 (F) Murphy Units 131-135	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
	(後)Week14 Topic 12: An Investigation of Homeopathy 10:40 am - 12:10 pm, Wednesday, 17 December & Friday, 19 December AWL 1-10 + SWL 1-6 (G) Murphy Units 136-140	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
	(後)Week15 Topic 13: An Investigation of Antidepressants 10:40 am - 12:10 pm, Wednesday, 7 January & Friday, 9 January AWL 1-10 + SWL 1-6 (H) Murphy Units 141-142	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
	(後)Week16 First Semester Review Classes 10:40 am - 12:10 pm, Wednesday, 14 January & Friday, 16 January AWL 1-10 + SWL 1-6 (I) + (J)	Lectures	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
	Final Exam Wednesday, 21 January	EXAM	Mathieson Murray Ghashut Antoniou

	Retest	EXAM	Mathieson Murray Ghashut Antoniou
授業外学修（事前学修・事後学修）	This course uses a flipped classroom (反転学習) approach. This means that students are expected to come to class having (1) prepared for the topic (read the topic text, watched the topic video, etc) and (2) completed any homework that was set by their teacher. In addition, students are expected to do extensive reading (Xreading) OUTSIDE of class time.		
テキスト	1) Murphy, R. (2017). Grammar in Use - Intermediate. Cambridge University Press. ISBN: 9784889969238. マーフィーのケンブリッジ英文法（中級編） 2) Xreading VL. XLearning Systems. ISBN: 9784865390704.		
参考書	Goldacre, B. (2013) Bad Pharma. London. Fourth Estate ISBN 9780007363643.		
学生へのメッセージ等	Due to the heavy workload in this course, it is crucial that students develop good study habits throughout the course. In addition to preparing for classes each week (reading the article and watching the video for the topic), students also need to set aside enough time each week to (1) study vocabulary (AWL and SWL), (2) study grammar (Murphy textbook), and (3) read books in the Xreading Virtual Library.		

講義科目名称： 医療に関わる倫理学 I

授業コード： I18123A I18123B

英文科目名称： Clinical Ethics I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	教養教育	2	必修
担当教員			
池邊 寧			
添付ファイル			

全担当教員	池邊 寧		
概要	医療行為は患者の身体や生命、患者や患者の家族の人生に深く関わる。それだけに医療行為に携わる者には、医学・看護学に関する専門的な知識や技術だけでなく、人間に対する深い認識や高い倫理的意識をもつことが求められる。 本講義では、現代医療が抱える諸問題を概観しながら、患者と医療者との望ましい関係について考えていく。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム □医療倫理・研究倫理の重要性を理解し、倫理的に適切な行動について説明できる。 □医療現場で直面する倫理的問題について、倫理的な考え方に依拠して自分で対応策を立てることができる。 II 医学とそれに関する領域の知識 □社会と医学・医療の関係を理解し、人々の行動について説明できる。 □生と死に関わる倫理的問題を理解し、自身の考えを述べることができる。 III 医療の実践 — IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 □多様な人生観・価値観を理解し、医療現場における倫理的葛藤への対処について説明できる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 — VI 国際的視野と科学的探究 —		
評価方法	■ ミニツッペーパー（100％）《Ⅰ，Ⅱ，Ⅳ》		
《》内は評価するアウトカムのコンピテンス番号を記載			
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	第1回 倫理学と医療倫理学	講義	池邊
	第2回 人間の尊厳と医療	講義	池邊
	第3回 インフォームド・コンセント（1） —定義・構成要素—	講義	池邊
	第4回 インフォームド・コンセント（2） —歴史的経緯—	講義	池邊
	第5回 患者の権利	講義	池邊
	第6回 研究倫理	講義	池邊
	第7回 輸血拒否	講義	池邊
	第8回 守秘義務	講義	池邊
	第9回 生殖医療の倫理的諸問題（1） —社会問題としての不妊—	講義	池邊

	第10回 生殖医療の倫理的諸問題（2） —人工授精と体外受精—	講義	池邊
	第11回 生殖医療の倫理的諸問題（3） —代理出産—	講義	池邊
	第12回 出生前診断の倫理的諸問題	講義	池邊
	第13回 移植医療の倫理的諸問題（1） —脳死—	講義	池邊
	第14回 移植医療の倫理的諸問題（2） —臓器移植—	講義	池邊
	第15回 エンド・オブ・ライフケアの倫理的諸問題	講義	池邊
授業外学修（事前学修・事後学修）	講義時に配布するプリントを用いて、復習・予習を必ず行うこと。		
テキスト	使用しない。随時プリントを配布する。		
参考書	松島哲久／盛永審一郎／村松聡編『教養としての生命倫理』丸善出版 盛永審一郎／松島哲久編『医学生のための生命倫理』丸善出版 盛永審一郎／長島隆編『看護学生のための医療倫理』丸善出版 盛永審一郎／松島哲久／小出泰士編『いまを生きるための倫理学』丸善出版 その他の参考書は講義中に随時紹介する。		
学生へのメッセージ等	明確な問題意識を持って講義に取り組み、疑問点は積極的に質問してください。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	教養教育	2	選択
担当教員			
池邊 寧			
添付ファイル			

全担当教員	池邊 寧		
概要	生命科学や医療技術の発達に伴って、技術的に可能なことと倫理的に容認されることの間にどのような折り合いをつけていけばよいのかが問われる場面が多々生じている。われわれは今日、従来の生命観や価値観を問い直すことを余儀なくされている。 本講義では「医療に関わる倫理学Ⅰ」に引き続き、現代医療をめぐる倫理的諸問題を概観しながら、患者と医療者との望ましい関係について考えていく。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム □医療倫理・研究倫理の重要性を理解し、倫理的に適切な行動について説明できる。 □医療現場で直面する倫理的問題について、倫理的な考え方に依拠して自分で対応策を立てることができる。 II 医学とそれに関する領域の知識 □社会と医学・医療の関係を理解し、人々の行動について説明できる。 □生と死に関わる倫理的問題を理解し、自身の考えを述べることができる。 III 医療の実践 — IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 □多様な人生観・価値観を理解し、医療現場における倫理的葛藤への対処について説明できる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 — VI 国際的視野と科学的探究 —		
評価方法	■ ミニツッペーパー（100％）《Ⅰ，Ⅱ，Ⅳ》		
《》内は評価するアウトカムのコンピテンス番号を記載			
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	第1回 パンデミックの倫理学	講義	池邊
	第2回 医学研究の倫理（１） —歴史的経緯—	講義	池邊
	第3回 医学研究の倫理（２） —被験者保護—	講義	池邊
	第4回 動物実験の倫理	講義	池邊
	第5回 人工妊娠中絶とパーソン論（１） —パーソン論とは—	講義	池邊
	第6回 人工妊娠中絶とパーソン論（２） —パーソン論の展開—	講義	池邊
	第7回 重症新生児治療の差し控えと中止	講義	池邊
	第8回 エンハンスメントの倫理的諸問題	講義	池邊
	第9回 ナラティブと医療（１） —E BMとN BM—	講義	池邊

	第10回	ナラティブと医療（２） ーナラティブ・メディスンー	講義	池邊
	第11回	痛み（１） ー痛みと人間ー	講義	池邊
	第12回	痛み（２） ー痛みと医療ー	講義	池邊
	第13回	死生観の諸相	講義	池邊
	第14回	緩和ケア	講義	池邊
	第15回	スピリチュアル・ケア	講義	池邊
授業外学修（事前学修・事後学修）	講義時に配布するプリントを用いて、復習・予習を必ず行うこと。			
テキスト	使用しない。随時プリントを配布する。			
参考書	松島哲久／盛永審一郎／村松聡編『教養としての生命倫理』丸善出版 盛永審一郎／松島哲久編『医学生のための生命倫理』丸善出版 盛永審一郎／長島隆編『看護学生のための医療倫理』丸善出版 盛永審一郎／松島哲久／小出泰士編『いまを生きるための倫理学』丸善出版 その他の参考書は講義中に随時紹介する。			
学生へのメッセージ等	明確な問題意識をもって講義に取り組み、疑問点は積極的に質問してください。			

講義科目名称： 哲学

授業コード： I181250

英文科目名称： Philosophy

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	教養教育	2	選択
担当教員			
池邊 寧			
添付ファイル			

全担当教員	池邊 寧		
概要	哲学的思索は、世界や人間の根本原理を追求する営みである。それゆえ、現実と遊離したところで行われる「机上の空論」という印象を抱く人がいるかもしれない。しかし、哲学が理念として描く事柄は、現実の日常生活から抽出した事柄である。哲学的思索の出発点は今ここに生きる「私」であり、「私を取り巻く現実」である。 本講義では以下に列挙した主題について、主として西洋の哲学思想を手がかりにしながら考えていくことにする。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム ☐ 人の生と死に深く関わる医師にふさわしい哲学的教養を身につける。 ☐ 医師の職責を自覚し、人間としてよりよく生きる道を探究することができる。 ☐ 答えのない問いについて考え続けることができる。 II 医学とそれに関する領域の知識 ☐ 哲学と医学・医療の関わりを理解し、自身の考えを述べることができる。 ☐ さまざまな哲学思想を理解し、人々の行動について説明できる。 III 医療の実践 — IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 レポートを適切に作成し、自分の考えを提示することができる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 — VI 国際的視野と科学的探究 —		
評価方法	■ 受講態度 (40%) 《I, II, IV》 ■ レポート (60%) 《I, II, IV》 《》内は評価するアウトカムのコンピテンス番号を記載		
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【I】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	第1回 哲学とは何か	講義・演習	池邊
	第2回 私とは	講義・演習	池邊
	第3回 他者とは	講義・演習	池邊
	第4回 アイデンティティとは	講義・演習	池邊
	第5回 人間は資源か	講義・演習	池邊
	第6回 反出生主義	講義・演習	池邊
	第7回 生の肯定	講義・演習	池邊
	第8回 生きることの意味	講義・演習	池邊
	第9回 友情	講義・演習	池邊

	第10回 愛の諸相	講義・演習	池邊
	第11回 自由意志	講義・演習	池邊
	第12回 人格の同一性	講義・演習	池邊
	第13回 心と身体	講義・演習	池邊
	第14回 死と不死	講義・演習	池邊
	第15回 働くということ	講義・演習	池邊
授業外学修（事前学修・事後学修）	講義時に配布するプリントを用いて、復習・予習を必ず行うこと。		
テキスト	使用しない。随時、プリントを配布する。		
参考書	盛永審一郎／松島哲久／小出泰士編『いまを生きるための倫理学』丸善出版 その他の参考書は講義中に随時紹介する。		
学生へのメッセージ等	哲学には絶対に正しいといえる答えはありません。大切なのは「自分で考えること」です。 受講者数にもよりますが、ディスカッション中心の講義を行う予定です。 講義で取り上げる主題は受講者数、受講者の要望などに応じて、適宜、変更します。 積極的に問題提起されることを望みます。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	教養教育	1	必修
担当教員			
若月 幸平（教育開発センター教育教授）			
添付ファイル			

全担当教員	若月 幸平（教育開発センター教育教授）／浅井 良純（韓国文化）／水野 杏紀（中国文化）／富岡 三智（インドネシア文化）
概要	〔浅井（韓国文化）〕 戦後、朝鮮半島では大韓民国（韓国）と朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）という二つの国家として独立し、対立するなかで民族が分断された状態にある。また近年、日韓両政府はいわゆる「徴用工」や「慰安婦」などの問題を抱えている。さらに朝鮮半島問題を複雑にしているのは、それを取り巻く米国・中国・ロシア・日本などの利害が交差しているためである。本講座では朝鮮半島問題について、南北関係やそれを取り巻く地政学的環境、そして文化的相違性に留意しながら考察する。 〔富岡（インドネシア文化）〕 インドネシアは世界最大のイスラム人口を抱えながら、多様な民族・宗教・文化を擁し、「多様性の統一」を国是とする国である。日本と歴史的、政治的、経済的に関わりの深いインドネシアの文化を知ることを通して、多様な価値を認め合い共存を目指す社会について考える。 〔水野（中国文化）〕 中華文化圏とは中国、香港、台湾などの文化エリアを示す。本講義では、この文化圏の歴史、地理、気候、民族、言語、さらには暦法と習俗、飲食と養生、思想（諸子百家）、芸術文化などを学び、中華文化圏の特性を総合的に理解する。さらに学生の関心が高い医学との関連を踏まえた項目、たとえば現代中国の医療事情と、昨今高まる医療インバウンドと中国人の関連、中国人の不老長生の観念などを考察する。
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 〔浅井（韓国文化）〕 韓国の現代史や歴史問題を通じて文化的共通性と相違性から韓国における倫理観の背景を理解する。 〔富岡（インドネシア文化）〕 帰属する社会や宗教の違いによって死生観や倫理観が異なることを理解し、患者中心の立場に立つことができる。 〔水野（中国文化）〕 古代中国の諸子百家である孔子の「仁」「恕」、老子の「道」などの思想を通じ、倫理観を備えたプロフェッショナルな人材になることを目指すことができる。 II 医学とそれに関する領域の知識 〔浅井（韓国文化）〕 朝鮮半島の南北関係やそれを取り巻く地政学的環境や文化的相違を理解することで、この地域の医療にたずさわる際の基礎となる知識を学ぶ。 〔富岡（インドネシア文化）〕 日本と異なる死生観や生活習慣があることを理解し、治療において判断の基盤となる知識を修得している。 〔水野（中国文化）〕 中国伝統医学に根ざした本草や養生の学びにより、医学に関連する幅広い領域の知識を得ることができる。 III 医療の実践 〔浅井（韓国文化）〕 — 〔富岡（インドネシア文化）〕 — 〔水野（中国文化）〕 — IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 〔浅井（韓国文化）〕 韓国の医療チームと交流のための文化的基礎知識（文化・歴史的相違性）を習得する。 〔富岡（インドネシア文化）〕 患者が属する社会や宗教の慣習を理解し、コミュニケーションを取りながら医療を実践するため、基盤となる知識を修得している。 〔水野（中国文化）〕 自分の属するチームを目標達成に導き、人材育成につながるマネジメント力を磨き、多様な人びとの思考を理解できるコミュニケーション能力について理解することができる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 〔浅井（韓国文化）〕

	— [富岡（インドネシア文化）] — [水野（中国文化）] 古来、東アジアでは多様な共同体のなかで良好な人間社会を形成し、各々が社会に役立つことを目指した。こうした歴史的な学びを通し、現代における社会貢献とは何かを考えることができる。 VI 国際的視野と科学的探究 [浅井（韓国文化）] 朝鮮半島の諸問題を地政学的特徴（米・ロ・中・日の利害交差）の理解をもとに認識・分析することができる。 [富岡（インドネシア文化）] 医療と医学研究を考える上で、国際社会の多様な価値観を視野に入れ、共存してゆくことができるよう、基盤となる知識を修得している。 [水野（中国文化）] アジアは日本が属するエリアであり、多様な民族、さまざまな国家、人口の圧倒的パワーを持つ。その文化を学ぶことから、国際的視野を持つ人材となることを目指すことができる。		
評価方法 《》内は評価するアウトカムのコンピテンス番号を記載	[浅井（韓国文化）] ■受講評価（授業毎に提出するミニレポートの内容と回数）40%《Ⅰ、Ⅱ、Ⅳ、Ⅵ》 ■試験（最終講義(5回目)の後半で到達度確認のための試験を行う）60%による総合評価《Ⅰ、Ⅱ、Ⅳ、Ⅵ》 [富岡（インドネシア文化）] ■各回（4回）のレポートの内容（20%）《Ⅰ、Ⅱ、Ⅳ、Ⅵ》 ■5回目の授業で実施する確認テスト（80%）《Ⅰ、Ⅱ、Ⅳ、Ⅵ》 [水野（中国文化）] ■小テスト（初回から四回の授業最後に行いその理解度をみる）（40%）《Ⅰ、Ⅱ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ》 ■期末試験（第五回の授業最後に行い総合的な理解度を評価する）（60%）《Ⅰ、Ⅱ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ》		
授業計画 【】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	授業内容	授業形態	担当者
	第1回 朝鮮半島の地政学的構造と現代史（1）	講義	浅井（韓国文化）
	第2回 朝鮮半島の地政学的構造と現代史（2）	講義	浅井（韓国文化）
	第3回 日韓歴史問題の構造と認識（1）	講義	浅井（韓国文化）
	第4回 日韓歴史問題の構造と認識（2）	講義	浅井（韓国文化）
	第5回 日韓歴史問題の構造と認識（3）	講義	浅井（韓国文化）
	第6回 インドネシアの地理、歴史、言語、宗教	講義	富岡（インドネシア文化）
	第7回 インドネシアの様々な死生観	講義	富岡（インドネシア文化）
	第8回 インドネシアのイスラム	講義	富岡（インドネシア文化）
	第9回 インドネシアの現代史、日本との関わり	講義	富岡（インドネシア文化）
	第10回 インドネシアの観光と文化、確認テスト	講義	富岡（インドネシア文化）
	第11回 中華文化圏の特性（歴史、地理、気候、言語、民族、漢字）	講義	水野（中国文化）
	第12回 中華文化圏の暦法と歳時記（元旦、清明節、端午節、重陽節）	講義	水野（中国文化）
	第13回 中華文化圏の飲食と養生（四季の食養生、中国六大茶）	講義	水野（中国文化）
	第14回	講義	水野（中国文化）

	中華文化圏の思想（諸子百家の思想、孔子、孟子、老子、荘子）		
	第15回 中華文化圏の芸術（書画、絵画、民居、庭園）	講義	水野（中国文化）
授業外学修（事前学修・事後学修）	[浅井（韓国文化）] 朝鮮半島の諸問題（北朝鮮の核・拉致問題、徴用工や慰安婦問題など）に関するニュースをチェックする。 [富岡（インドネシア文化）] なし [水野（中国文化）] なし		
テキスト	[浅井（韓国文化）] 特になし、また必要な資料は講義時に配布する。 [富岡（インドネシア文化）] 特に使用しない。必要に応じてレジュメを配布する。 [水野（中国文化）] なし。必要に応じてレジュメを配布する。		
参考書	[浅井（韓国文化）] 授業中に紹介する。 [富岡（インドネシア文化）] 授業中に紹介する。 [水野（中国文化）] 水野杏紀『易、風水、暦、養生、処世 東アジアの宇宙観』（講談社選書メチエ、講談社、2016年）		
学生へのメッセージ等	[浅井（韓国文化）] 朝鮮半島は日本に隣接する地域でありながら理解を難しくしている要因の一つが半島を取り巻く国際環境にあります。東アジア全体から朝鮮半島の諸問題を捉えなおしてみましょう。 注意：授業中、私語等で注意を受けた場合、評価対象から外れる場合があるので注意されたい。 [富岡（インドネシア文化）] 現在は海外に駐在・留学する日本人の数も、また日本に在留する外国人の数も増え、相互理解の必要性はますます高まっています。皆さんの職業人生において、異なる文化背景の人々とどのように接してゆくべきか、この講義を契機として考えてみてください。 [水野（中国文化）] 日本は中国と古くよりさまざまな交流があり、思想や文化、技術、芸術など多くのものが伝播し、これらはまた日本で独自の発展を遂げています。中国を理解することは日本を理解することにもつながります。そうした視点も踏まえながら、学んでほしいと思います。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	教養教育	1	必修
担当教員			
若月 幸平（教育開発センター教育教授）			
添付ファイル			

全担当教員	若月 幸平（教育開発センター教育教授）／池邊 寧（ドイツ文化）／勝井 伸子（アメリカ文化）／折井 穂積（フランス文化）
概要	〔池邊（ドイツ文化）〕 ナチ時代のドイツを取り上げ、ドイツ国民はなぜヒトラーを支持したのか、戦後ドイツがナチ時代とどう向き合ってきたのかについて考えていく。 〔勝井（アメリカ文化）〕 21世紀の現在の世界に大きな影響力を及ぼしているアメリカの文化を形成するヒーロー、フロンティア、移民といったいくつかの要素からアメリカ文化を理解することから、アメリカ人にとっての世界の見え方を理解し、また同時にアメリカ文化がグローバル化とともに世界に浸透しているということを改めて認識することで、世界の中で生きる視点を持つことを目的とする。 〔折井（フランス文化）〕 世界遺産や文化財に指定されている建造物をたどりながら、それらの背景となった歴史や文化を考察する。扱われる建造物は、古代の遺跡、ロマネスクやゴシックの聖堂、英仏百年戦争時代の古城、絶対王政期の宮殿、産業革命期の工場や社宅、大戦時の軍事施設、現代の新市街など。さらに、残り時間を利用して流行歌を紹介し、フランス語圏の現在を考える。扱われる内容は、パリとジャズ・マヌーシュ、カナダのフランス語圏、アフリカにルーツを持つ歌手、同性愛や認知症を主題とする歌など。幅広い知識と国際的な視野の獲得を目指す。
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 〔池邊（ドイツ文化）〕 医療者の職責を自覚し、人間の多様性を尊重することができる。 〔勝井（アメリカ文化）〕 幅広い教養と深い洞察力を備えた医療人となるべく、広く世界に目を向け、常に共感をもって異文化に接することができる。 〔折井（フランス文化）〕 幅広い教養と深い洞察力を備えた医療人となるべく、広く世界に目を向け、常に共感をもって異文化に接することができる。 II 医学とそれに関する領域の知識 〔池邊（ドイツ文化）〕 時代の流れや社会の状況のなかで医学・医療について理解できる。 〔勝井（アメリカ文化）〕 他国の歴史や文化に触れることにより、自身の考えを相対化することができる。 〔折井（フランス文化）〕 他国の歴史や文化に触れることにより、自身の考えを相対化することができる。 III 医療の実践 〔池邊（ドイツ文化）〕 — 〔勝井（アメリカ文化）〕 — 〔折井（フランス文化）〕 — IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 〔池邊（ドイツ文化）〕 — 〔勝井（アメリカ文化）〕 アメリカ文化の特徴、日本文化との違いなどについて、自分なりに分析したことを、論理的な文章構成で伝えることができる。 〔折井（フランス文化）〕 フランス文化の特徴、日本との関わり、日本文化との違いなどについて、新たに発見したこと、疑問に感じたこと、自分なりに分析したことを、論理的な文章構成で伝えることができる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 〔池邊（ドイツ文化）〕 —

	[勝井（アメリカ文化）] アメリカの医療・医療保険制度と文化、歴史との関係について理解し、説明できる。 [折井（フランス文化）] — VI 国際的視野と科学的探究 [池邊（ドイツ文化）] 他国の歴史や文化を理解し、国際的な視野に立って医学・医療のあり方を考えることができる。 [勝井（アメリカ文化）] 自国以外の地域の文化を、探求心を持って学ぶことができる。授業で得られた知識を自分の言葉で整理し、それに基づいて考察することができる。 [折井（フランス文化）] 自国以外の地域の文化を、探求心を持って学ぶことができる。授業で得られた知識を自分の言葉で整理し、それに基づいて考察することができる。		
評価方法 《》内は評価するアウトカムのコンピテン্স番号を記載	[池邊（ドイツ文化）] ■ミニッツペーパー（100%）《Ⅰ，Ⅱ，Ⅵ》 [勝井（アメリカ文化）] ■授業中ミニレポート・貢献度（50%）《Ⅰ，Ⅱ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ》 ■期末レポート（50%）《Ⅰ，Ⅱ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ》 [折井（フランス文化）] ■小レポート（100%）《Ⅰ，Ⅱ，Ⅳ，Ⅵ》		
授業計画 【Ⅰ】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	授業内容	授業形態	担当者
	第1回 ナチズムと現代	講義	池邊（ドイツ文化）
	第2回 ナチ時代の政策と生活	講義	池邊（ドイツ文化）
	第3回 ナチスに抵抗した人々	講義	池邊（ドイツ文化）
	第4回 ナチズムと優生思想	講義	池邊（ドイツ文化）
	第5回 ホロコースト	講義	池邊（ドイツ文化）
	第6回 アメリカ文化におけるヒーロー	講義	勝井（アメリカ文化）
	第7回 アメリカ文化の特質としてのフロンティア	講義	勝井（アメリカ文化）
	第8回 イデオロギーとしてのアメリカの農民	講義	勝井（アメリカ文化）
	第9回 アメリカの主流文化の形成と移民	講義	勝井（アメリカ文化）
	第10回 フロンティアの経験と暴力	講義	勝井（アメリカ文化）
	第11回 古代と中世	講義	折井（フランス文化）
	第12回 中世末期とルネサンス	講義	折井（フランス文化）
	第13回 ブルボン王朝時代	講義	折井（フランス文化）
	第14回 19世紀	講義	折井（フランス文化）
	第15回 20世紀	講義	折井（フランス文化）

授業外学修（事前学修・事後学修）	[池邊（ドイツ文化）] 講義時に配布するプリントを用いて、復習・予習を必ず行うこと。 [勝井（アメリカ文化）] 5回目授業終了後3週間以内に最終レポート提出 提出は教務システム [折井（フランス文化）] 事後学習：学習した内容を踏まえてレポートを作成し、期間内に提出してください。
テキスト	[池邊（ドイツ文化）] 使用しない。随時、プリントを配布する。 [勝井（アメリカ文化）] 使用しない [折井（フランス文化）] 使用しない
参考書	[池邊（ドイツ文化）] 講義中に随時紹介する。 [勝井（アメリカ文化）] 使用しない [折井（フランス文化）] 使用しない
学生へのメッセージ等	[池邊（ドイツ文化）] 他国のこと、昔のことと突き放さず、自分に引きつけて受講してください。 [勝井（アメリカ文化）] 今まで特に意識していなかったことを前景化する＝意識化することで、世界の見え方が変わる！という経験を一緒に味わえればと思います。授業中の質問やコメントは貢献度として評価しますので、みなさんの積極的な参加を期待しています。 [折井（フランス文化）] 授業で扱われるのは文化史の一断面に過ぎません。そこに留意し、これから自分自身で考える際の参考にしてください。

講義科目名称： 教育実践論

授業コード： I18129C I18129D

英文科目名称： Theory of Teaching Practice

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	教養教育	2	必修
担当教員			
若月 幸平（教育開発センター教育教授）			
添付ファイル			

全担当教員	若月 幸平（教育開発センター教育教授）／杉野 竜美		
概要	本授業では、教育学における教授論と学習論の知見を生かし、自分なりに教育学と医学・看護学を実践的に結びつけ、医療従事者としてよりよく職能成長していくための基礎を身につける。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 医療者として医療倫理に基づき、生涯にわたる自己学習の重要性を理解できる。 II 医学とそれに関する領域の知識 医療者として身に付けるべき人の成長や発達についての基礎を理解できる。 III 医療の実践 － IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 レポートを規定に従って適切に作成するとともに、グループワークを通してチーム医療に必要な基礎的コミュニケーション技能を養い、プレゼンテーションができる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 医療者として社会に関わる大切さと貢献のあり方について、キャリアデザインと重ねて考えることができる。 VI 国際的視野と科学的探究 －		
評価方法	■毎回実施するワークシートand/or課題and/orミニッツペーパー 60%（5点×12回）《I、II》 ■プレゼンテーション 20%（10点×2回）《IV、V》 ■最終授業における試験 20%《V》		
《》内は評価するアウトカムのコンピテン্স番号を記載			
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【I】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	第1回 オリエンテーション 医療従事者における教育実践学を学ぶ意義	講義	杉野
	第2回 社会の中の医療と教育 機能化された社会の特徴・課題	講義	杉野
	第3回 教育とは何か① 人として生きるための教育の役割	講義	杉野
	第4回 教育とは何か② 「教育の概念」の整理	講義	杉野
	第5回 人間の発達 子ども観の形成／「発達」という見方	講義	杉野
	第6回 社会教育・生涯教育 学びの継続／社会教育プログラムをデザインする	講義	杉野
	第7回 プレゼンテーション：社会教育プログラム	講義	杉野
	第8回 「教授・学習」学ぶということ、教えるということ 他者との関わり／コミュニケーション／リーダーシップ論	講義	杉野
	第9回 個別指導の方法 経験学習の支援／コーチング	講義	杉野
	第10回 集団研修の方法	講義	杉野

	講義法の長所と課題／協同学習／研修運営の技法		
	第11回 教育評価 目標の設定／教育評価の方法／研修&評価をデザインする	講義／グループ ワーク	杉野
	第12回 プレゼンテーション&評価：集団研修プログラム	プレゼンテー ション／講義	杉野
	第13回 インクルーシブ教育（イタリアの例）	講義	杉野
	第14回 多文化ソーシャルワークにおける課題（医療分野・教育分 野）	講義	杉野
	第15回 現代社会における教育 ※授業内試験	講義	杉野
授業外学修（事前 学修・事後学修）	各回授業の最後に、次回の授業テーマを示しますので、関連事項を想像することを事前学修とします。授業内 で完了できない課題は事後学修とします。		
テキスト	なし		
参考書	授業内で随時紹介します。		
学生へのメッセー ジ等	知識や技能を獲得するだけでなく、「これらを使って何を考えるか」「何ができるか」という意識をもって授 業に参加してください。		

講義科目名称： 教育実践論

授業コード： I18129E I18129F

英文科目名称： Theory of Teaching Practice

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	教養教育	2	必修
担当教員			
若月 幸平（教育開発センター教育教授）			
添付ファイル			

全担当教員	若月 幸平（教育開発センター） / 板橋 孝幸		
概要	本授業では、教育学における教授論と学習論の知見を生かし、自分なりに教育学と医学・看護学を実践的に結びつけ、医療従事者としてよりよく職能成長していくための基礎を身につける。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 医療者として医療倫理に基づき、生涯にわたる自己学習の重要性を理解できる。 II 医学とそれに関する領域の知識 医療者として身に付けるべき人の成長や発達についての基礎を理解できる。 III 医療の実践 — IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 レポートを規定に従って適切に作成するとともに、グループワークを通してチーム医療に必要な基礎的コミュニケーション技能を養い、プレゼンテーションができる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 医療者として社会に関わる大切さと貢献のあり方について、キャリアデザインと重ねて考えることができる。 VI 国際的視野と科学的探究 —		
評価方法	■授業の振り返り：30%《I，II，V》 ■レポート、プレゼンテーション：30%《I，II，IV，V》 ■最終試験：40%《I，II，V》 《》内は評価するアウトカムのコンピテンス番号を記載		
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【I】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	第1回 オリエンテーション	講義	板橋
	第2回 教育における理念と目的	講義	板橋
	第3回 教授論①：人に教えるということ	講義	板橋
	第4回 教授論②：教育における目標と評価	講義	板橋
	第5回 教授論③：よりよい患者教育を行うためには	講義	板橋
	第6回 学習論①：大学での学びと職業に就いてからの学びの違い	講義	板橋
	第7回 学習論②：生涯学習の意義と役割	講義	板橋
	第8回 学習論③：学び続ける医療従事者になるためには	講義	板橋
	第9回 教育の方法と技術①：課題の設定と解決の工夫（発表準備1回目含む）	講義・演習	板橋
	第10回	講義・演習	板橋

	教育の方法と技術②：協同学習の要件と技法（発表準備2回目含む）		
	第11回 教育の方法と技術③：発表を通して教授・学習論を実践的に学ぶグループによる発表 1回目	講義・演習	板橋
	第12回 教育の方法と技術④：発表を通して教授・学習論を実践的に学ぶグループによる発表 2回目	講義・演習	板橋
	第13回 教育の方法と技術⑤：発表を通して教授・学習論を実践的に学ぶグループによる発表 3回目	講義・演習	板橋
	第14回 教育の方法と技術⑥：発表を通して教授・学習論を実践的に学ぶグループによる発表 4回目	講義・演習	板橋
	第15回 まとめ	講義・演習	板橋
授業外学修（事前学修・事後学修）	授業中に指示する。		
テキスト	なし		
参考書	木村元編『教育学』医学書院、2024年		
学生へのメッセージ等	グループによる話し合いを行うので、主体的に授業に取り組むことを期待する。		

講義科目名称： 臨床心理学A

授業コード： I18130A

英文科目名称： Clinical Psychology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	教養教育	2	必修
担当教員			
若月 幸平（教育開発センター教育教授）			
添付ファイル			

全担当教員	若月 幸平（教育開発センター教育教授）／近池 操		
概要	理論と実践の研究を統合して人の社会への適応と人格的成長について理解する。 不適応・障害・苦悩を持つ人に対する理解と共感を深め、その援助について学習する。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 人の発達・成長のあり方の理解を通して、医学生として相応しい行動を認識できる。 II 医学とそれに関する領域の知識 対人援助職として、身につけるべき基本的なスキルや態度の基礎を理解できる。 III 医療の実践 心理的な問題を抱えた人の理解と援助について、アセスメントする能力を習得する。 IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 □不適応・障害・苦悩を持つ人に対する理解と共感を深めることができる。 □上記の者に対する具体的な援助方法・技術・姿勢等について理解できる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 医療現場における心理社会的ニーズと必要な支援について理解できる。 VI 国際的視野と科学的探究 臨床心理学の実践に求められる様々な知見や研究を理解できる。		
評価方法	■受講態度（提出物なども含む）（40％）≪I, II, III, VI, V, VI≫ ■定期試験（60％）≪I, II, III, VI, V, VI≫ 《》内は評価するアウトカムのコンピテンス番号を記載		
授業計画 【I】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	授業内容	授業形態	担当者
	第1回 2025年9月22日（月） 臨床心理学とは 臨床心理学の歴史 心理学の起源から脳科学の進歩までの歴史を理解する。	講義	近池操
	第2回 2025年9月22日（月） 人の心の理解 知覚と認知 記憶 認知機能と記憶のしくみを理解する。	講義	近池操
	第3回 2025年9月29日（月） 人の行動 学習 動機 意欲 生物学的視点から、動物の行動形成について学び、進化の過程で獲得した人の適応的行動について理解する。	講義	近池操
	第4回 2025年9月29日（月） 発達心理学 愛着理論 人の感情の発達と人間関係の形成について理解する。	講義	近池操
	第5回 2025年10月6日（月） 発達心理学 ピアジェとエリクソン 人の認知機能の発達と社会性の発達について理解する。	講義	近池操
	第6回 2025年10月20日（月） 深層心理学 精神分析的理解と実践 精神分析理論の展開と精神分析理論の実践について理解する。	講義	近池操
	第7回 2025年10月27日（月）（日程調整中） 臨床心理研究方法とアセスメント 1 心理検査実習（質問紙法）をして、人の特性について理解を深める	講義	近池操
	第8回 2025年11月10日（月） 臨床心理的研究方法とアセスメント 2 心理検査実習（投影法）をして、心理とその表現について理解する。 自己への理解を深め、人それぞれに個性があることを理解する。	講義	近池操
	第9回 2025年11月17日（月） 臨床心理学的テーマ 不安からおこる症状について	講義	近池操

	不安からおこる様々な症状と、その治療について理解する。		
第10回	2025年12月1日（月） 臨床心理学的テーマ 依存症 ・摂食障害について 依存症や摂食障害の問題とその回復について理解する。	講義	近池操
第11回	2025年12月8日（月） 臨床心理学的テーマ 発達の領域とその障害 神経発達症の特性とその支援について理解する。	講義	近池操
第12回	2025年12月15日（月） 臨床心理学的テーマ 精神病への理解 統合失調症の症状と支援について理解する。	講義	近池操
第13回	2025年12月22日（月） 臨床心理学的治療 認知療法 1 ものの受けとめかたを検討して、適応的な思考を組み立てていくことを理解する。	講義	近池操
第14回	2026年1月5日（月） 臨床心理学的治療 認知療法 2 行動活性化や認知再構成法について理解する。 自動思考記録表作成の実習をする。	講義	近池操
第15回	2026年1月19日（月） 臨床心理実践に求められるもの 連携・守秘義務・倫理・スーパービジョン・研究 治療者の持つべき心のありかた、態度・コミュニケーションについて理解する。 怒りのコントロールの大切さを理解する。	講義	近池操
授業外学修（事前学修・事後学修）	授業外学習修については授業内で案内を行う。		
テキスト	特になし。資料を授業中に配布します。		
参考書	特になし。資料を授業中に配布します。		
学生へのメッセージ等	人の発達・成長・心のありかたに興味を持って、授業に積極的に参加することを望みます。 不適応や心の病気への理解を深め、自分自身の心の健康の維持にも留意していくことを望みます。		

講義科目名称： 臨床心理学B

授業コード： I18130B

英文科目名称： Clinical Psychology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	教養教育	2	必修
担当教員			
若月 幸平（教育開発センター教育教授）			
添付ファイル			

全担当教員	若月 幸平（教育開発センター教育教授）／須磨 知美		
概要	科学・理論・実践を統合して社会への適応と人格的成長について理解する。 不適応・障害・苦悩を持つ人に対する理解と共感を深め、その援助について学習する。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 人の発達・成長のあり方の理解を通して、医学生として倫理に基づいた相応しい行動を認識できる。 II 医学とそれに関する領域の知識 対人援助職として、身につけるべき基本的なスキルや態度の基礎を理解できる。 III 医療の実践 心理的な問題を抱えた人の理解と援助について、アセスメントする能力を習得する。 IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 □不適応・障害・苦悩を持つ人に対する理解と共感を深めることができる。 □上記の者に対する具体的な援助方法・技術・姿勢等について理解できる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 医療現場における心理社会的ニーズと必要な支援について理解できる。 VI 国際的視野と科学的探究 臨床心理学の実践に求められるさまざまな知見や研究を理解できる。		
評価方法	■授業態度（提出物なども含む）40% ≪I, II, III, VI, V, VI≫ ■定期試験 60% ≪I, II, III, VI, V, VI≫		
《》内は評価するアウトカムのコンピテン্স番号を記載			
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	第1回 2025年9月22日（月） 臨床心理学とは 臨床心理学の歴史 受講にあたっての留意点。臨床心理学とは、臨床心理学の歴史と現代的意義について学ぶ。	講義	須磨
	第2回 2025年9月29日（月） 人の心の理解 「知覚、認知」 知覚の機能、認知の機能と記憶のしくみを理解する。	講義	須磨
	第3回 2025年10月6日（月） 人の心の理解 「人の行動、学習、発達」 学習の理論、動機、ピアジェとエリクソン、生来的な気質や後天的に体験を通して学習について学ぶ。	講義	須磨
	第4回 2025年10月20日（月） 人の心の理解「アタッチメント（愛着）」 心身機能の発達とアタッチメントの発達、コミュニケーションのあり方、対人関係への影響について学ぶ。	講義	須磨
	第5回 2025年10月27日（月） 臨床心理学的アセスメント「質問紙法、認知機能検査、高次脳機能検査」 心理学的検査の仕組みを理解する。認知機能障害について学び、認知機能の評価方法について学ぶ。	講義	須磨
	第6回 2025年11月10日（月） 臨床心理学的アセスメント「発達検査、知能検査、性格検査」 さまざまな心理検査について概要を学ぶ。実際に性格検査を体験し、その検査のメリット・デメリット、限界について考える。	講義	須磨
	第7回 2025年11月17日（月）	講義	須磨

	臨床心理学的テーマ 「精神分析理論、認知行動療法、傾聴」 さまざまな理論について概要を学ぶ。話を聴くことと、傾聴の違いについて体験的に学ぶ。		
第8回	2025年12月1日（月） 臨床心理学的テーマ 「精神疾患、抑うつ仕組み、不安からおこる症状や行動化」 さまざまな精神疾患について概要を学ぶ。抑うつと不安の起こる状態の違いを学ぶ。依存、自傷、摂食障害の問題とその回復について理解する。	講義	須磨
第9回	2025年12月8日（月） 臨床心理学的テーマ 「チーム医療で臨床心理学的視点」 チーム医療で生じる葛藤や職種による視点の違いについて理解する。グループワークを通して、違う視点の意見を尊重し、チーム医療を円滑に進める体験を通して、他者の考えを推察することについて考える。	講義	須磨
第10回	2025年12月15日（月） 臨床心理学的テーマ 「疾病別で生じる心理状態」 糖尿病や、心不全、癌、四肢切断など、身体疾患の症状にともない生じる心理反応について。正常な反応と治療が必要な反応との違いについて学ぶ。	講義	須磨
第11回	2025年12月22日（月） 臨床心理学的テーマ 「喪失への心的反応、悲嘆」 身体の一部を失う場合、QOLを失う場合、死別への予期悲嘆、家族の悲嘆などさまざまな場面で生じる悲嘆反応を学び、反応の背景にある気持ちを推察できるようになる。	講義	須磨
第12回	2026年1月5日（月） 臨床心理学的テーマ 「災害、被害、事故、トラウマ」 被災者支援のあり方、災害派遣医療チームについて学ぶ。事故や事件の被害者支援・加害者支援の実際について学ぶ。外傷的な出来事に直面した際の支援者が陥りやすい心理的危機について学ぶ。	講義	須磨
第13回	2026年1月19日（月） 臨床心理学的テーマ 「医療従事者のメンタルヘルス」 感情疲労など医療従事者に生じやすいメンタル不全やサポートを得にくい状態について学び、セルフマネジメントについて考える。	講義	須磨
第14回	補講 臨床心理学的テーマ 「学校でのメンタルヘルス、発達障害、虐待、不登校」 スクールカウンセラーの活動の実際、医療との連携について学ぶ。発達障害や虐待、不登校の理解と支援のアプローチについて学ぶ。	講義	須磨
第15回	補講 臨床心理学的テーマ 「コミュニケーション技法」 自身のコミュニケーション特徴を知り、アサーションや、アンガーマネジメントなど対人コミュニケーションスキルについて学ぶ。	講義	須磨
授業外学修（事前学修・事後学修）	授業外学修については授業内で案内を行う。		
テキスト	資料を授業中に配布します。		
参考書	資料を授業中に配布・紹介します。		
学生へのメッセージ等	自分自身や臨床の現場で出会う人の背景として、発達・成長・心のありかたが関連していることを理解し、興味を持って、授業に積極的に参加することを望みます。 不適応や心の病気への理解を深め、自分自身の心の健康の維持にも留意していくことを望みます。		

講義科目名称： 臨床心理学C

授業コード： I18130C

英文科目名称： Clinical Psychology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	教養教育	2	必修
担当教員			
若月 幸平（教育開発センター教育教授）			
添付ファイル			

全担当教員	若月 幸平（教育開発センター教育教授）／宿谷 仁美		
概要	科学・理論・実践を統合して社会への適応と人格成長について理解する。 不適応・障害・苦悩を持つ人に対する理解と共感を深め、その援助方法・技術・姿勢・倫理について学習する。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 人の発達・成長のあり方の理解を通して、医学生として倫理に基づいた相応しい行動を認識できる。 II 医学とそれに関する領域の知識 対人援助職として、身につけるべき基本的なスキルや態度の基礎を理解できる。 III 医療の実践 心理的な問題を抱えた人の理解と援助について、アセスメントする能力を習得する。 IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 医療現場における心理社会的ニーズと必要な支援について理解できる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 ☐ 不適応・障害・苦悩を持つ人に対する理解と共感を深めることができる。 ☐ 上記の者に対する具体的な援助方法・技術・姿勢等について理解できる。 VI 国際的視野と科学的探究 臨床心理学の実践に求められるさまざまな知見や研究を理解できる。		
評価方法	■受講態度（提出物なども含む）（40％）≪I, II, III, IV, V, VI≫ ■定期試験（60％）≪I, II, III, IV, V, VI≫ 《》内は評価するアウトカムのコンピテン্স番号を記載		
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	第1回 2025年9月22日（月） オリエンテーション、臨床心理学とは 受講にあたっての留意点。臨床心理学とは、臨床心理学の歴史と現代的意義について学ぶ。	講義	宿谷
	第2回 2025年9月29日（月） 人の心の理解「知覚、認知」 知覚の機能、認知の機能について学び、人はいかに見ているように見えていないか、聞いているように聞いているかについて学術的に理解する。	講義	宿谷
	第3回 2025年10月6日（月） 人の心の理解「学習、発達とパーソナリティ」 学習の理論、生来的な気質や後天的に体験を通して学習し形成される人のパーソナリティについて学ぶ。	講義	宿谷
	第4回 2025年10月20日（月） 人の心の理解「アタッチメントとコミュニケーション」 心身機能の発達とアタッチメントの発達、コミュニケーションのあり方について学ぶ。	講義	宿谷
	第5回 2025年10月27日（月） 臨床心理学的アセスメント「心理検査：質問紙法」 臨床心理学的アセスメントと医療的診断との違いについて学ぶ。心理学的アセスメントの一つとして、質問紙法を体験し、その検査メリット・デメリットについて考える。また、自分自身のあり方について考える。	講義	宿谷
	第6回 2025年11月10日（月） 臨床心理学的アセスメント「心理検査：発達検査、知能検査、性格検査」 さまざまな心理検査について概要を学ぶ。実際に性格検査を体験し、その検査のメリット・デメリット、限界について考える。また、自分自身のあり方について考える。	講義	宿谷
	第7回 2025年11月13日（木） 臨床心理実践に求められるもの「心理的援助の枠組み、構造、倫理」	講義	宿谷

	さまざまな心理的援助、心理療法、心理治療のための枠組みや構造、倫理的課題について学ぶ。		
第8回	2025年11月17日（月） 臨床心理学的援助「深層心理学、精神分析的理解とアプローチ①」 人の心のしくみと働きについての理論について学ぶ。	講義	宿谷
第9回	2025年12月1日（月） 臨床心理学的援助「深層心理学、精神分析的理解とアプローチ②」 人の心のしくみについての精神分析理論、自我機能、病態水準、防衛機制について学ぶ。	講義	宿谷
第10回	2025年12月4日（木） 臨床心理学的援助「認知・行動療法、マインドフルネス」 認知療法の基本、自動思考、マインドフルネス、海外の研究について学ぶ。	講義	宿谷
第11回	2025年12月8日（月） 臨床心理学におけるテーマ「精神的な問題と身体症状、職場のメンタルヘルス」 働く人をとりまく環境とそれが人の心身に与える影響について学ぶ。ストレス、ストレッサーが人の心身機能に与える影響、ストレスチェック制度のあり方とその課題（医療者の役割）、対人援助者が陥りやすい心理について学ぶ。	講義	宿谷
第12回	2025年12月15日（月） 臨床心理学におけるテーマ「学校のメンタルヘルス、ひきこもり、発達障害」 スクールカウンセラーの活動の実際、子どもの心をはぐくむ学校教育・システムのあり方、医療との連携について学ぶ。昨今のひきこもりや発達障害の理解と支援のアプローチについて学び、医療においてできる治療や支援について学ぶ。	講義	宿谷
第13回	2025年12月22日（月） 臨床心理学におけるテーマ「虐待、DV、離婚」 虐待やDVが人の心のあり方に及ぼす影響について学ぶ。両親の不仲や離婚が子どもの心のあり方に及ぼす影響について学び、医療においてできる治療や支援について考える。	講義	宿谷
第14回	2026年1月5日（月） 臨床心理学におけるテーマ「被災者支援、被害者／加害者支援」 被災者支援のあり方、災害派遣医療チームについて学ぶ。事故や事件の被害者支援・加害者支援の実際について学ぶ。外傷的な出来事に直面した際の支援者が陥りやすい心理的危機について学ぶ。	講義	宿谷
第15回	2026年1月19日（月） 臨床心理学におけるテーマ「精神病、依存症」 統合失調症、うつや躁鬱病、依存症、器質性疾患、摂食障害などさまざまな精神疾患と治療・援助アプローチの概要について学ぶ。	講義	宿谷
授業外学修（事前学修・事後学修）	・事前学習：各単元のテーマに関連した書籍や時事ニュース等を読む。 ・事後学習：学習した内容をふまえ、日常の中での自分のこころの動きや人との関係に目を向ける。事件や事故、災害、医療的な問題（身体や精神の病気、障害、中途障害、緩和ケア、不妊治療など）、時事問題（教育、福祉、いじめ、ハラスメント、DV、不登校、発達障害、メンタルヘルス、自殺、ジェンダーバイアス、マイクロアグレッション等）に積極的に目を向け、そうした事態に伴う人の心や苦悩、痛みに関して調べる。学習した内容をふまえ、課題に取り組み、提出物を出す。		
テキスト	資料は授業の際に配布します。 配布した資料は、掲示板にアップします。		
参考書	資料は授業の際に配布・紹介します。		
学生へのメッセージ等	自分を含めた人の発達・成長・心のあり方に興味関心を持って、授業に積極的に参加することを望みます。		

講義科目名称： 社会福祉と医療法規

授業コード： I18131A I18131B

英文科目名称： Social Welfare and Medical Law

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	教養教育	2	必修
担当教員			
若月 幸平（教育開発センター教育教授）			
添付ファイル			

全担当教員	若月 幸平（教育開発センター）／谷 直之／倉持 史朗		
概要	（倉持） 本講義の目的は、「社会福祉」に含まれる制度や実践の理解、および、「社会福祉」の価値や視点を理解することである。社会福祉に関する制度や社会福祉が対象とする諸問題と実践内容を取り上げることを通して、社会福祉の今日的意義と医療とのかかわりについて考えることを目指す。 （谷） 法とは何かを理解し、法的視点から、医療（倫理）、保健衛生、福祉の概要と諸問題について理解を深める。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム ☐ 人間の尊厳を尊重し、患者中心の立場に立つことを理解できる。 ☐ 医療倫理を理解し、説明できる。 ☐ 医療者として法的責任・規範を理解し、遵守することの重要性を説明できる。 II 医学とそれに関する領域の知識 ☐ 社会と医学・医療との関係、死と法について説明できる。 ☐ 医療安全の重要性、医療事故の予防と対処について説明できる。 III 医療の実践 — IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 レポートなどの文書を規定に従って適切に作成し、提出できる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 ☐ 保健・医療・福祉・介護に関連する法規・制度等を理解できる。 ☐ 健康・福祉に関する問題を評価し、地域や国際社会の疾病予防や健康増進の重要性を説明できる。 VI 国際的視野と科学的探究 —		
評価方法 《》内は評価するアウトカムのコンピテンス番号を記載	（倉持） ☒ 期末試験（90%）《V》 ☒ 授業への参加姿勢（10%）《I》 （谷） ☒ 受講態度（10%）《I》 ☒ 小レポート等（30%）《I, II, IV》 ☒ 期末レポート（60%）《I, II》 ※評価点数は『社会福祉』の評価点（100点を満点）×2/3+『医療法規』の評価点（100点を満点）×1/3で算出し、60点以上を合格とする。この評価点とは、試験、レポート、出席を含む平常評価すべてを総合した最終的な評価点であって、筆記試験の点数を指しているわけではない。		
授業計画 【】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	授業内容	授業形態	担当者
	第1回 （医法1）法学オリエンテーション ①法とは何か？法と倫理 ②自然法論と法実証主義 ③パターナリズムと自己決定権	講義	谷
	第2回 （福祉1）オリエンテーション	講義	倉持
	第3回 （福祉2）社会福祉の価値と理念	講義	倉持
	第4回 （医法2）医事法制医療法・医療職の資格法 ①医療法の目的・理念と医療施設 ②医療職の資格要件と業務規程	講義	谷
	第5回 （福祉3）社会福祉に関する制度 －社会保障・社会福祉の体系－	講義	倉持

	社会福祉の実践 ー障がい児・者福祉ー		
第6回	(福祉4) 社会福祉支援(ソーシャルワークの視点)	講義	倉持
第7回	(医法3) 医療従事者の法的責任 ①医療契約 ②医療過誤 ③法的責任 *刑事上の責任 *民事上の責任 *行政上の責任	講義	谷
第8回	(福祉5) 社会福祉の実践 ー子ども家庭福祉①子どもの貧困ー	講義	倉持
第9回	(福祉6) 社会福祉の実践 ー子ども家庭福祉②児童虐待ー	講義	倉持
第10回	(福祉7) 社会福祉の実践 ー婦人保護事業・DVー	講義	倉持
第11回	(医法4) 医療倫理 ①法と医療倫理 ②出産前診断・人工妊娠中絶 ③移植医療	講義	谷
第12回	(福祉8) 医療現場における社会福祉の実践 ーMSW・PSW等ー	講義	倉持
第13回	(福祉9) 医療現場における社会保障	講義	倉持
第14回	(福祉10) 医療現場における社会保障	講義	倉持
第15回	(医法5) 薬機法・感染症法と薬害訴訟 ①薬機法の目的と概要 ②感染症法の目的と概要 ③薬害・薬禍問題 (B型肝炎)	講義	谷
授業外学修 (事前学修・事後学修)	授業外学習については、授業内で案内を行う。		
テキスト	(倉持) 特に指定しない。プリント・資料などを配布する。 (谷) 「姫嶋瑞穂『医事法学入門 (第2版)』」成文堂、2021年		
参考書	(倉持) 授業中に適宜紹介する。 (谷) 必要に応じて適宜指示する。		
学生へのメッセージ等	(倉持) 社会福祉は生活を支える制度であり実践です。皆さんが向き合っていく人達はたとえ同じような病気や症状をみせていても、それぞれに異なる生活歴や環境の中で生きている「固有の存在」です。そのような人間観を持つことが、現代社会において医療・保健・福祉が協働していく意義を理解いただけたと思います。 (谷) 法律というと、難解で自分とは縁遠いもの、と思われがちですが、小説やドラマで頻繁に取り上げられているように、実は、私たちの生活、とりわけ、医師・看護師の業務とは密接に関連しています。法を守ること、第一に患者さんを守ることであり、同時に自分自身や自分の同僚を守ること。興味関心を持って受講されることを望みます。		

講義科目名称： 市民と法

授業コード： I181320

英文科目名称： Citizenship and Law

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	教養教育	2	選択
担当教員			
竹村 和也			
添付ファイル			

全担当教員	竹村 和也		
概要	まず、憲法を頂点とする法体系・統治のしくみについて、また市民生活を送るために必要な基礎知識を習得することを目的として講義を行う。その上で、私人間の紛争を解決するための一般法である民法、及び医師の権利義務や医療紛争に関する医事法について説明する。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 法的に適切な行動を示すことができる。 II 医学とそれに関する領域の知識 わが国の法のしくみ、及び市民生活を送るために必要な基礎知識を説明することができる。 III 医療の実践 医療の実践にあたり、法的に適切な判断を下すことができる。 IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 医師の看護師、もしくは上位の医師と下位の医師間に発生する契約の履行補助者責任ならびに監督者責任に関連して、適切に行動することができる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 医師にかかわる法的紛争を未然に防止することができる。 VI 国際的視野と科学的探究 —		
評価方法	■定期試験（80％）《Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ》 ■授業への積極的な参加やレポート（20％）《Ⅰ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ》		
《》内は評価するアウトカムのコンピテン্স番号を記載			
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	第1回 イントロダクション：法律・憲法・立憲主義	講義	竹村
	第2回 統治の仕組み、特に裁判所について	講義	竹村
	第3回 捜査・裁判と法①（憲法31条と捜査・裁判のプロセス）	講義	竹村
	第4回 捜査・裁判と法②（捜査・裁判と身体的自由権）	講義	竹村
	第5回 民法と財産権①（物権）	講義	竹村
	第6回 民法と財産権②（債権と契約・医療契約）	講義	竹村
	第7回 民法と財産権③（債権と不法行為・医療過誤）	講義	竹村
	第8回 民法と家族法①（親族法）	講義	竹村
	第9回 民法と家族法②（相続法）	講義	竹村
	第10回 契約・不法行為と過失責任（医療水準）	講義	竹村

	第11回 契約・不法行為と過失責任（チーム医療と信頼の原則）	講義	竹村
	第12回 契約・不法行為と過失責任（自己決定権とインフォームド・コンセント）	講義	竹村
	第13回 契約・不法行為と過失責任（個人情報の保護と第三者への開示）	講義	竹村
	第14回 因果関係と過失責任	講義	竹村
	第15回 まとめ	講義	竹村
授業外学修（事前学修・事後学修）			
テキスト	パワーポイントのスライドを印刷したものを配布します。また、授業内容の一部についてテキストを配布します。		
参考書	手嶋豊『医事法入門(第6版)』有斐閣, 2022 甲斐克則・手嶋豊編『医事法判例百選（別冊ジュリスト）』（第3版）有斐閣, 2022 磯義一郎・大滝恭弘・荒神裕之『医療法学入門』（第3版）医学書院, 2021 米村滋人『医事法講義(法セミLAWCLASシリーズ)』日本評論社, 2016 久々湊晴夫・旗手俊彦編『はじめての医事法』（第2版）成文堂, 2011 甲斐克則編『ブリッジブック 医事法』信山社, 2008 他に入手・購読が容易な一般的な法学に関する新書として、 青井未帆『憲法を守るのは誰か』幻冬舎, 2013 渋谷茂樹『憲法への招待((新版)』岩波書店, 2014 青井未帆『憲法と政治』岩波書店, 2016 後藤昭『わたしたちと裁判』岩波書店, 2006 森炎『裁判所ってどんなところ?』筑摩書房, 2016 木村草太『キヨミズ准教授の法学入門』星海社, 2012 今村核『冤罪と裁判』講談社, 2012 鎌野邦樹『不動産の法律知識 第2版』日本経済新聞社, 2017 池田真朗『民法はおもしろい』講談社, 2013 二宮周平『家族と法』岩波書店, 2007		
学生へのメッセージ等	社会の動きについて日常的な関心を持つことが必要です。具体的には新聞を通読することは、大学生として当然に行うべき事柄です。		

講義科目名称： 医学研究入門

授業コード： I181340

英文科目名称： Exploring Medical Research

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	教養教育	2	選択
担当教員			
森 英一朗			
添付ファイル			

全担当教員	森 英一朗（准教授）、五十棲 規嘉（助教）		
概要	医学研究の魅力を体験し理解することを目的とする。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナルリズム 生命科学者としてふさわしい行動を理解し説明することができる。 II 医学とそれに関する領域の知識 医学研究を進めるために必要な文献検索ができ、研究論文の形式を説明できる。 III 医療の実践 医学的問いに対して適切な研究計画を立案することができる。 IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 医学研究成果に関して社会とのコミュニケーションをとるための技能を説明できる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 医学研究を通じた社会への貢献について説明することができる。 VI 国際的視野と科学的探究 国際的な医療や医学研究に関する情報にアクセスし、様々な医学的課題の解決を目指した研究計画を立案することができる。		
評価方法 《》内は評価するアウト カムのコピテン番号 を記載	■ 受講態度 (10%) 《I》 ■ レポート (20%) 《I, II, III, IV, V, VI》 ■ 定期試験 (70%) 《I, II, III, IV, V, VI》		
授業計画 【】内は授業時に関係する モデル・コア・カリ キュラムの番号を記載	授業内容	授業形態	担当者
	第1回 オリエンテーション	講義	森
	第2回 医学研究入門講義 (1)	講義	森
	第3回 医学研究入門講義 (2)	講義	森
	第4回 医学研究入門講義 (3)	講義	森
	第5回 医学研究入門講義 (4)	講義	森
	第6回 医学研究入門講義 (5)	講義	森
	第7回 医学研究入門講義 (6)	講義	森
	第8回 医学研究入門講義 (7)	講義	森
	第9回 医学研究入門講義 (8)	講義	森
	第10回 医学研究入門講義 (9)	講義	森

	第11回 医学研究入門講義（10）	講義	森
	第12回 医学研究入門講義（11）	講義	森
	第13回 医学研究入門講義（12）	講義	森
	第14回 医学研究入門講義（13）	講義	森
	第15回 まとめ	講義	森
授業外学修（事前学修・事後学修）	普段から関心のある内容について文献検索する習慣を身に付ける。		
テキスト	講義スライド、配布資料。		
参考書	相分離生物学（白木賢太郎 著） 相分離生物学の全貌（白木賢太郎 編）		
学生へのメッセージ等	学内外の研究者の先生方の経験談を聞きながら、実際の研究がどのようなものか、感じて下さい。 注）「医学研究入門」を修得していることが、2年次後期「リサーチ・クラークシップ」の海外派遣の要件である。		

講義科目名称： 諸学への誘い

授業コード： I251010

英文科目名称： Invitation to the Academic Worlds

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	教養教育	1	選択
担当教員			
教養教育部長			
添付ファイル			

全担当教員	教養教育部長
概要	集中講義形式で学問の面白さや奥深さを感じよう。学外からの贅沢な講師陣も交えた, さまざまな分野の専門家が登壇します。多様な話題に触れ, 自分なりの知的世界を構築するためのヒントや刺激に出会ってください。 オンライン受講も可能。
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム — II 医学とそれに関する領域の知識 自然科学について理解できる。 III 医療の実践 — IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 — V 医学、医療、保健、社会への貢献 — VI 国際的視野と科学的探究 異分野・異領域についての知見や研究を理解できる。
評価方法	レポート（100％）《Ⅱ、Ⅵ》
《》内は評価するアウトカムのコンピテン্স番号を記載	
授業計画	〈実施期間〉 2025年8月25日～30日
【】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	
授業外学修（事前学修・事後学修）	
テキスト	
参考書	
学生へのメッセージ等	詳細については別途周知する。

講義科目名称： 医の探求入門

授業コード： I240010

英文科目名称： Introduction of Inquiry to Medicine

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	教養教育	-	必修
担当教員			
若月 幸平（教育開発センター教育教授）			
添付ファイル			

全担当教員	若月幸平・岡本佐和子・城戸楓		
概要	医学とそれに隣接する領域の学問を複合した探究活動を行い、それらの結果を研究として報告・発表を行う。こうした探究活動に伴い、それに付随する研究・医療・ICT倫理の理解、関連する隣接領域への学問的理解、研究手法の習熟を学ぶ。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 医学およびその隣接領域を対象とした研究活動および発表を行うことによって、医学および研究に関する倫理観について理解し、それらを実践する。 II 医学とそれに関する領域の知識 医学および医学に関わる隣接領域の知識を深め、研究活動に活用することで知識の定着と応用を図る。 III 医療の実践 — IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 グループワークによって研究活動を行う中で、より質の高い研究を目指すうえで、グループの活動を円滑にするためのチームマネジメントを実践し、グループ内でのコミュニケーションを行う。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 探究活動を発表するに際して、医学およびその隣接領域を対象とした自身の研究が、医学・医療・保健・社会にどのような影響力を及ぼすのか、どのような良いインパクトを与えることができるのかについて考察を深める。 VI 国際的視野と科学的探究 国際的な視野を持った科学的探究を行うとともに、英語での資料作りや発表などを可能であれば目指す。		
評価方法	■授業態度（40%）《I, II, IV, VI》；同一グループ内のピア評価によって評価を行う ■レポート（20%）《II, V》；探究活動の経過資料提出によって評価を行う ■授業態度（40%）《I, II, IV, VI》；最終のポスター発表の教員による投票評価によって評価を行う		
《》内は評価するアウトカムのコンピテン্স番号を記載			
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	1 オリエンテーション 情報モラル・情報リテラシーに関する講習。図書館の使い方・資料の集め方についての講習。 【IT-01-01/IT01-02/IT02-01/IT03-02】	講義	城戸楓
	2 本学教員の研究～アラカルト発表 本学教員による自身の研究紹介 【PR03-01/RE01-01/RE01-02/RE02-01/RE02-02】	講義	城戸楓
	3 探究の時間 1 テーマ決定 【PR03-01/RE01-01/RE01-02/RE02-01/RE02-02】	講義	城戸楓
	4 フィードバック 1 グループの探究テーマについての教員フィードバック 【PR03-01/RE01-01/RE01-02/RE02-01/RE02-02】	講義	城戸楓
	5 アカデミックライティング アカデミックライティングと研究の進め方について 【RE03-01/RE03-02/RE03-03/RE-03-04/RE05-01/RE05-02】	講義	城戸楓
	6 探求の時間 2 探究活動 【RE03-01/RE03-02/RE03-03/RE-03-04/RE05-01/RE05-02/IP02-01/IP02-02/S002-03】	探究学習	城戸楓
	7 本学学生の研究～アラカルト発表 マイプログラム対象学生による自身の研究紹介	講義	城戸楓

	【PR03-01/RE01-01/RE01-02/RE02-01/RE02-02】		
	8	探究の時間 3 探究活動 【RE03-01/RE03-02/RE03-03/RE-03-04/RE05-01/RE05-02/IP02-01/IP02-02/S002-03】	探究学習 城戸楓
	9	中間審査＋探究学習 教員による現状の研究資料の確認 【RE03-01/RE03-02/RE03-03/RE-03-04/RE05-01/RE05-02/IP02-01/IP02-02/S002-03】	グループワーク 若月幸平 岡本佐和子 城戸楓
	10	探求の時間 4 探究活動（中間資料提出） 【RE03-01/RE03-02/RE03-03/RE-03-04/RE05-01/RE05-02/IP02-01/IP02-02/S002-03】	探究学習 城戸楓
	11	探求の時間 5 探究活動 【RE03-01/RE03-02/RE03-03/RE-03-04/RE05-01/RE05-02/IP02-01/IP02-02/S002-03】	探究学習 城戸楓
	12	最終確認審査＋探究学習 教員によるポスター発表の最終研究資料の確認 【RE03-01/RE03-02/RE03-03/RE-03-04/RE05-01/RE05-02/IP02-01/IP02-02/S002-03】	グループワーク 若月幸平 岡本佐和子 城戸楓
	13	ポスター発表 完成した資料をホールなどに掲示し、ポスター発表を行う 【S004/RE04-01】	発表会 城戸楓
授業外学修（事前学修・事後学修）	なし		
テキスト	なし		
参考書	なし		
学生へのメッセージ等	本授業は医学を学ぶ初歩として、その研究を体験するものです。医師はすべからず医学を専門とする研究者となります。今後の皆さんの医学に関する研究の基本を身に付けられるよう、積極的に探究学習に参加してください。		

講義科目名称： 医学・医療入門講義

授業コード： I210020

英文科目名称： Introduction to Basic and Clinical Medicine

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	教養教育	-	必修
担当教員			
嶋 緑倫（医学部長）			
添付ファイル			

全担当教員	細井 裕司（学長）/嶋 緑倫（医学部長）/長榮 周作（パナソニック株式会社特別顧問・MBT特命教授）/森雅彦（DMG森精機株式会社・MBT特命教授）/中村 勝（クオールホールディングス株式会社取締役会長・MBT特命教授）/梅岡 比俊（医療法人社団梅華会理事長・MBT特命講師）/川本 恭治（城南信用金庫理事長・MBT特命教授）/コシノジュンコ（MBT特命教授）/向川 康博（奈良先端科学技術大学院大学）/細川 陽一郎（奈良先端科学技術大学院大学）/基礎医学教員/臨床医学教員		
概要	医師/医学者としてのキャリアアップのプロセスを理解し、病気のメカニズム、医学研究の面白さや治療技術の革新の一端を各領域の専門家によるオムニバス形式の講義で学ぶ。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 医師/医学者としてふさわしい行動を認識できる。 II 医学とそれに関する領域の知識 医療に関係する幅広い領域を理解し、医師/医学者としてのキャリアアップに活用できる。 III 医療の実践 医学や周辺領域の現状や進歩を認識できる。 IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 医師/医学者に求められるコミュニケーション技能の基礎知識を認識できる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 医学や関連領域の診療や研究に貢献するための意識を醸成し基礎知識を習得できる。 VI 国際的視野と科学的探究 グローバルマインドやリサーチマインドを有する医師/医学者としての素養を習得できる。		
評価方法	■講義時に配布するミニッツペーパー（50%）《Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅴ》 ■課題レポート（50%）《Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ》 《》内は評価するアウトカムのコンピテンス番号を記載		
授業計画	授業内容		授業形態
	第1回 2025年4月14日（月） 4限 奈良医大に入学したみなさんの将来は？－先輩医師の視点から－ 第2回以降の講義日程については、別途通知		講義
担当	細井裕司（学長）		
授業外学修（事前学修・事後学修）			
テキスト	講義資料は、各講義ごとに教務システムに掲載		
参考書	全領域にわたるため、附属図書館の指定図書を渉猟して欲しい。		
学生へのメッセージ等	講義を手がかりに、積極的な自学自習を通じて、医学への興味・関心・意欲をさらに高めるとともに、これから学ぶはずの医学に関する予備知識を獲得してほしい。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	教養教育	-	必修
担当教員			
看護教育部長			
添付ファイル			

全担当教員	看護教育部長／教養教育部長／若月 幸平（教育開発センター教育教授）／外部講師
概要	1 実施期間 令和7年9月8日（月）～12日（金） 2 実施内容 (1) 知的生産技術 チーム医療を担う医療人として求められる「能動的な情報収集力」、「他者と協力して学び合う力」、「論理的思考力」及び「批判的思考力（クリティカル・シンキング）」について、演習を通じて体験的にその重要性や必要性について気づき、自ら修得する態度の育成を目指す。 (2) コミュニケーション 多様性が増す昨今において、医療人として、他者と協働関係を結ぶ中で必要なコミュニケーション力とは何かを考え、それらを身につけるための理論と実践方法を学ぶことが必要である。 また、自分と他者の違いを理解するための「ソーシャルスタイル理論」や、人間関係を構築する上でのステップなどを学び、それぞれが今後のコミュニケーションレベルアップに必要な課題を自覚し、日常の中で恒常的にトレーニングできる状態を目指す。 さらに、医療者と患者コミュニケーションの基本的な姿勢、視点を身につける。 (3) 人権教育 男性も女性も自分らしく力を発揮し、一人一人の幸せを実現できる社会である男女共同参画について学ぶ。 障がい者や性同一性障害者、性的マイノリティに対する社会の障壁について考えるとともに、偏見や差別、人権侵害をなくし、共に生きる社会を実現していこうとする態度を身に付ける。
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム □協同学習の考え方を理解し、他者と学び合う際に注意すべき点について、認識できる。 □情報リテラシーを理解し、情報を適切に収集及び活用する力を修得できる。 □他の人の立場に立ってその人に必要なことやその人の考え、気持ちなどを理解できる。 II 医学とそれに関する領域の知識 理論に基づき医療現場で求められるコミュニケーション力や思考力を修得できる。 III 医療の実践 — IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 □コミュニケーションの仕組みについて説明できる。 □自分と他者の違い、苦手なタイプを理解し、相手に合わせたコミュニケーションの取り方が実践できる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 男女共同参画や共生社会等の現状や取り組み内容を認識できる。 VI 国際的視野と科学的探究 開発途上国のジェンダー格差の現状について認識できる。
評価方法	■ミニッツペーパーの提出を含む受講態度（100%）《I, II, IV, V, VI》 《》内は評価するアウトカムのコンピテンス番号を記載
授業計画	令和7年9月8日（月）～9月12日（金） 詳細については、後日、教務システムで通知します。 【】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載
授業外学修（事前学修・事後学修）	授業外学修については授業内で案内を行う。
テキスト	なし
参考書	なし

学生へのメッセージ等	この科目は、後期に開講する「奈良学」と同様に本学独自の科目として医学看護学合同で開講します。医療人としての基礎能力を修得できるよう多彩なゲストスピーカーをお招きし、グループワークも取り入れて構成していますので感性や価値観への刺激を体験することになると思います。積極的に参加しましょう。
-------------------	---

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	教養教育	2	必修
担当教員			
若月 幸平（教育開発センター教育教授）			
添付ファイル			

全担当教員	若月 幸平（教育開発センター教育教授）/城戸 楓/岡本 左和子
概要	[城戸] ヒトの行動と心理を理解するための基礎的な知識と考え方を学ぶ。 [岡本] 医療におけるコミュニケーションの基本メカニズムと理論を修得する。
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム [城戸] ☐ トロツコ問題や臓器くじ問題などの思考実験などを通して、生命の価値について自身の考え方や哲学を確立することができる。 ☐ 医療倫理の基本となる生命倫理について説明することができる。 ☐ それぞれの事象における倫理について客観的・多角的に構築することができる。 [岡本] ☐ 人間の尊厳を尊重し、患者に対して利他的、共感的、誠実に対応し、患者中心の立場に立つことができる。 ☐ 自己の目標を設定し、生涯にわたり向上を図るために学習し、研鑽することの重要性を理解する。 II 医学とそれに関する領域の知識 [城戸] ☐ 行動する主体としての人間のメカニズムについて、認知科学的な観点から説明をすることができる。 ☐ 生活体としての人間の認知的機能について説明することができる。 ☐ 人間の認知機能に基づく、行動原理について説明することができる。 [岡本] ☐ 社会と医学・医療との関係について説明できる。 ☐ 医療安全の重要性について理解することができる。 III 医療の実践 [城戸] - [岡本] 患者の主要な病歴を正確に聴取することの重要性を理解できる。 IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 [城戸] グループワークを通して、自身の役割遂行や他者への役割付与を適切に行うことができる。 [岡本] ☐ 患者、患者家族、医療チームのメンバーと、個人、文化、社会的背景を踏まえて傾聴、共感、理解、支持的態度を示すコミュニケーションを取ることができる。 ☐ 患者、患者家族、医療チームのメンバーとの信頼関係を築き、情報交換、インフォームドコンセント、教育などの医療の基本を実践する準備ができる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 [城戸] - [岡本] 医師になる者として、地域医療に関わることの必要性を理解できる。 VI 国際的視野と科学的探究 [城戸] ☐ 客観的で再現性のある科学的研究方法について説明・実践することができる。 ☐ 客観的かつ多角的な主張の展開をすることができる ☐ 検討事象の定義について明確に論ずることができる。 [岡本] 国際的視野で医療を考える重要性が理解できる。
評価方法	[城戸] ■授業態度（30%）《Ⅰ，Ⅱ，Ⅳ，Ⅵ》 ■レポート（40%）《Ⅱ，Ⅵ》 ■グループワークへの参加（30%）《Ⅰ，Ⅳ》 [岡本] ■受講態度（20%）《Ⅰ》

	■グループワークへの参加(20%)《I、Ⅲ》 ■授業内でのミニツペーパー(60%)《I、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ》 ※評価点数は、「城戸先生の評価点」×2/3+「岡本先生の評価点」×1/3で算出し、60点以上で合格とする。 この評価点とは、試験、レポート、平常評価をすべて総合した最終的な評価点であって、筆記試験の点数を示しているわけではない。		
授業計画 【】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	授業内容	授業形態	担当者
	第1回 自由意志と人工知能 【PR-01, PR-02, PR-03, PR-04】	講義	城戸 楓
	第2回 自由意志と人工知能 ～発表 【PR-01, PR-02, PR-03, PR-04, RE-01, RE-02, RE-04】	グループワーク	城戸 楓
	第3回 倫理と逸脱 【PR-04, RE-01, RE-02, RE-05】	講義	城戸 楓
	第4回 倫理と逸脱 ～発表 PR-04, RE-01, RE-02, RE-04, RE-05】	グループワーク	城戸 楓
	第5回 人格と測定 【CS-01-01, IT-01-01, IT-01-02, IT-03-02, CS-01-01, SO-02, SO-05, SO-06】	講義	城戸 楓
	第6回 人格と測定 ～グループワーク 2 【CS-01-01, IT-01-01, IT-01-02, IT-03-02, CS-01-01, SO-02, SO-05, SO-06, IP-01, IP-02】	グループワーク	城戸 楓
	第7回 人格と測定 ～発表 【CS-01-01, IT-01-01, IT-01-02, IT-03-02, CS-01-01, SO-02, SO-05, SO-06, RE-01, RE-02, RE-04】	講義	城戸 楓
	第8回 認知と進化 【PS-02-15, PS-02-16, PS-02-17】	グループワーク	城戸 楓
	第9回 認知と進化 ～発表 【PS-02-15, PS-02-16, PS-02-17, RE-01, RE-02, RE-04】	講義	城戸 楓
	第10回 感情と行動 【CM-01, CM-02, CM-03】	講義	城戸 楓
	第11回 医療コミュニケーションの定義と基本メカニズム 【CM-01-01-01, CM-01-01-02, CM-01-01-01, CM-01-01-03, IP-02-02-02, CM-01-01-04, CM-01-01-01, CM-01-01-03, CM-01-01-05, CM-01-01-04, CM-01-01-02, SO-06-01-03, SO-04-01-01, CM-02-02-01, GE-01-05-01, GE-01-05-0】	講義	岡本左和子
	第12回 患者に接する態度と配慮：コミュニケーションを歪める要因(ノイズ)/コミュニケーションの障壁 【GE-01-05-01, IP-02-02-02, CM-01-01-04, CM-01-01-01, CM-01-01-03, CM-01-01-05, CM-01-01-04, CM-01-01-02, SO-06-01-03】	講義	岡本左和子
	第13回 患者や家族のニーズの把握と配慮：Common Groundの構築 【IP-02-02-02, CM-01-01-04, CM-01-01-01, CM-01-01-03, CM-01-01-05, CM-01-01-04, CM-01-01-02, SO-04-01-01, CM-02-02-01, GE-01-05-01, GE-01-05-02】	講義	岡本左和子
	第14回 患者の意思決定の支援とそのための情報集・分かりやすい説明：国際的に医療教育でよく使う理論モデルと事例検討 【CM-02-03-01, PR-01-01-02, PR-01-01-01, CM-02-03-04, GE-01-03-01, PR-01-01-02, PR-01-01-01, A-1-3), GE-01-03-02, PR-02-02-01, PR-02-02-02, CM-02-03-02, CM-02-03-03, PR-01-02-01, RE-04-01-01】	講義	岡本左和子
	第15回 全人的な視点とアプローチ：医学データと患者の意思をつなぐ（学内臨床医：臨床の実際；岡本コーディネート） 【PR-04-01-01, SO-04-05-01, PR-04-01-02, GE-01-03-02, PR-02-02-01, PR-02-02-02, CM-02-03-02, CM-02-03-03, PR-01-02-01, RE-04-01-01, CS-03-06-02, CS-03-03-02, CS-03-03-01, CS-03-03-04, CS-03-03-03, GE-01-06-05】	講義	岡本左和子

授業外学修（事前学修・事後学修）	
テキスト	[城戸] 授業中に指示する [岡本] 授業中に配布する p p t （教務システム登録資料）
参考書	[城戸] 授業中に指示する [岡本] Patient-Centered Medicine. M. Stewart, J. B. Brown, et al. CRC Press シェアード・ディジョンメイキング（中山健夫著、日本医事新報社） 行動医学テキスト（日本行動医学学会編集、中外医学社） 実践行動医学－実地医療のための基本的スキル（林野泰明監訳、メディカルサイエンス・インターナショナル出版） The Biopsychosocial Approach: Past, Present, Future. R. M. Frankel, T. E. Quill, & s. M. McDaniel, University Rochester Press.
学生へのメッセージ等	[城戸] 人間は社会の中で他者と相互作用しながら生きる存在です。AIなど、「人間とは何か」についての答えが曖昧になりつつある現代において、社会常識や規範などに縛られない、みなさんそれぞれの確固たる人間観を、人間というメカニズムや社会構造についての心理的な理解を通して確立できることを望みます。 [岡本] 治療という使命と時間の制約がある医療環境において、どのように患者・家族、同僚とコミュニケーションを効率的にとるのかを学び、身に着けることは、医師として現場に出た時に、自分を守り、診断の確かさと治療の効率を上げ、患者・家族の満足を引き出す。自分が置かれた環境評価をして、適切なコミュニケーションがとれるための理論とメカニズムの基本をしっかりと理解する。行動医学的対話アプローチが接遇とは全く異なることを理解する。

講義科目名称： デジタル医用工学

授業コード： I221010

英文科目名称： Digital Medical Technology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	教養教育	-	必修
担当教員			
嶋 緑倫（医学部長）			
添付ファイル			

全担当教員	嶋 緑倫（医学部長）／佐藤 嘉伸（奈良先端科学技術大学院大学）／大竹 義人（奈良先端科学技術大学院大学）／スーフィー マーゼン（奈良先端科学技術大学院大学）		
概要	データサイエンスや医療工学の進歩により、人工知能(AI: Artificial Intelligence)医療やロボット医療が急速に発展している。画像診断や病理診断の領域ではAIが導入され、また、ICT(Information and Communication Technology)の進歩により遠隔医療も進んでいる。さらに、ロボット工学の進歩によりダビンチ等の手術支援ロボットやHAL等のパワーアシストロボットが手術やリハビリ分野でも導入されている。今後、これらの進歩に対応し、さらに発展・開発できるよう、AIの基礎と活用方法を、医用画像を含む実際のデータをコンピュータで解析することにより実践的に学ぶ。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 臨床現場で得られる患者データの重要性とプライバシーの問題を理解し、倫理的問題を把握した上で、医療の質向上への貢献を目指して行動できる。 II 医学とそれに関する領域の知識 医療データを活用した診断・治療や意思決定のための基礎となる統計数理手法を説明できる。 III 医療の実践 医用画像等の実際の医療データを用いて、人体解剖学や医療の問題に関して、人工知能による認識や予測のプログラムを実装・実行することができる。 IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 医療における人工知能を中心としたIT技術やロボット技術等の意義をレポートなどで述べることができる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 医師として、日常臨床で積み重ねた患者データが、研究上も重要で、社会に貢献することが理解できる。 VI 国際的視野と科学的探究 国際的な視野において、医学と諸科学の融合研究の重要性を、特に、情報科学との融合において理解し、説明できる。		
評価方法	■受講態度 (20%) 《I》 ■レポート (80%) 《II, III, IV, V, VI》 《》内は評価するアウトカムのコンピテンス番号を記載		
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
【I】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	第1回 2025年10月6日（月） 工学（デジタル）技術、AI技術の医療応用、医用画像処理/可視化技術の概要	講義	佐藤 嘉伸
	第2回 2025年10月20日（月） CT・MRI再構成・医用画像データベースを使った統計学習・AI技術の基礎	講義	大竹 義人
	第3回 2025年10月27日（月） Pythonを使ったプログラミング入門と医用画像処理演習	演習	大竹 義人 スーフィー マーゼン
	第4回 2025年11月10日（月） Pythonを使ったAI(深層学習)による画像認識演習	演習	大竹 義人 スーフィー マーゼン
授業外学修（事前学修・事後学修）			
テキスト	教員の作成した講義資料に加えて、日本医用画像工学会の深層学習ハンズオンセミナーで使用された解説書、および、データを用いて、講義および演習を行う。講義の最初に（あるいは、事前に）、ダウンロードURLを提示する。		
参考書	医療AIとディープラーニングシリーズ 2020-2021年版 標準 医用画像のためのディープラーニング入門編－著者：藤田 広志 シリーズ監修：福岡 大輔 編、定価：3,520円（本体3,200円＋税）、オーム社 ISBN：978-4-274-22545-1 医療AIとディープラーニングシリーズ 2021-2022年版 標準 医用画像のためのディープラーニング実践編－著者：藤田 広志 シリーズ監修：原 武史 編、定価：3,960円（本体3,600円＋税）、オーム社 ISBN：978-4-274-22639-7 その他、授業中にも紹介する。		

学生へのメッセージ等	AIの活用は、今後、医学研究、良い医療の提供のために、ますます重要になってきますので、ぜひとも積極的に取り組んでください。コンピュータが苦手な人にも、できるだけわかりやすい講義にしたいと思っています。
------------	--

講義科目名称： 臨床手技実習入門Ⅰ

授業コード： I210010

英文科目名称： Introduction to Basic and Clinical Medicine

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	教養教育	－	必修
担当教員			
若月 幸平（教育開発センター教育教授）			
添付ファイル			

全担当教員	若月幸平（教育開発センター）、各手技担当教員
概要	スキルスラボの各種シミュレータを用いて、心肺蘇生、縫合、バイタルサインチェック、感染症の臨床手技と関連する医学知識を身につける。
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 臨床現場での基本的態度・習慣、患者へのマナーを理解し実践することができる。 II 医学とそれに関する領域の知識 実習で習う手技に関する基本的知識を理解し説明できる。 III 医療の実践 実習で習う手技に関する基本的技能を理解し実践できる。 IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 指導教員および他の学生と適切なコミュニケーションをとることができる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 － VI 国際的視野と科学的探究 －
評価方法	■ 実習態度、技能（100％）《Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ》
《》内は評価するアウトカムのコンピテン্স番号を記載	
授業計画	〔実習内容〕 4～5名を1グループとし、グループごとに下記①～④についての実習を行う。 ①心肺蘇生 ②縫合 ③バイタルサインチェック ④感染症 〔実習期間〕 令和7年11月17日（月）～令和8年1月19日（月）15：00～16：50 ※実施内容の詳細については別途通知 〔実習担当〕 ①臨床研修センター ②形成外科 ③臨床研修センター ④感染症内科学 〔モデル・コア・カリキュラム対応番号〕 【LL-01-01-01、LL-01-01-02、LL-02-01-01、RE-04-01-01、CM-01-01-01、CM-01-01-03、CS-05-04-02】
授業外学修（事前学修・事後学修）	事前にテキスト「医学生のための基本的臨床手技」を各自で購入し、予習すること
テキスト	テキスト「医学生のための基本的臨床手技」を用いて実習するため、必ず事前にテキストを購入すること
参考書	なし
学生へのメッセージ等	本手技実習の目的は、医学部の教養の時期に、臨床の現場で使う医療手技を学ぶことにより、将来医師としての自覚と目標を持ってもらうことです。 臨床の第一線で活躍しているエキスパートの医師や、研修医の先生から、直接臨床の手技を学ぶことにより、教養や基礎医学との関連性と重要性を、よりいっそう再確認できるものと考えます。 また、本授業はテキスト「医学生のための基本的臨床手技」を用いて実習するため、テキストを事前に購入してください。

講義科目名称： 奈良学

授業コード： I180010

英文科目名称： Nara study

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	教養教育	-	必修
担当教員			
教養教育部長			
添付ファイル			

全担当教員	教養教育部長／看護教育部長／若月 幸平（教育開発センター教育教授）／外部講師
概要	1 実施期間 令和7年2月3日（月）～2月7日（金） 2 実施概要 奈良県の文化、歴史、自然などを通じて「奈良」についての理解を深めるとともに、医学科生と看護学科生が合同で県内の地域医療機関を病院見学実習（early exposure）に行くことで県の医療状況を知り、県内の地域医療に対する意識の涵養を図る。 また、病院見学の内容も踏まえ、各医療機関の特性に沿って課題や改善策等についてグループディスカッションし、その内容を発表することで、県内医療機関の特性や役割について学ぶ。
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 奈良県の医療に貢献する医学生として相応しい行動を認識できる。 II 医学とそれに関する領域の知識 □奈良の文化・歴史について学び、自然学習を通して奈良県の特色や地域性を理解する。 □奈良県の地域医療の現状と課題を理解することができる。 III 医療の実践 — IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 □奈良県の医療の現状と将来について議論し、課題を見つけその解決策を提案することができる。 □多職種連携の重要性について理解し、説明することができる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 □県内医療機関への訪問や医療体験実習等を通じて、奈良県の医療への関心を深めることができる。 □奈良県の地域性や医療状況等を理解することができる。 VI 国際的視野と科学的探究 —
評価方法	■ミニツツペーパーの提出を含む受講態度（100%）《Ⅰ、Ⅱ、Ⅳ、Ⅴ》
《》内は評価するアウトカムのコンピテン番号を記載	
授業計画	令和7年2月3日（月）～2月7日（金） 詳細については、後日、教務システムで通知します。
【】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	
授業外学修（事前学修・事後学修）	授業外学修については授業内で案内を行う。
テキスト	なし
参考書	なし
学生へのメッセージ等	みなさんは将来、奈良県の医療に貢献するものと期待されています。 本講義の受講を機に、奈良県の文化・歴史・自然、そして保健・医療・福祉の現状と課題に興味をもち、主体的に学修し続けることを願っています。

講義科目名称： 早期医療体験実習

授業コード： I180140

英文科目名称： Early Exposure to Clinical Experience

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	教養教育	-	必修
担当教員			
若月 幸平（教育開発センター教育教授）			
添付ファイル			
全担当教員			
若月幸平（教育開発センター）／教養教育部長／看護部担当者／薬剤部担当者／医療技術センター担当者／スキルスラボ担当者			
概要	医療現場において患者および家族と身近に接し、患者側の気持ちを理解する。それとともに、医療に関わる様々な人々との交流を通して医師と共に働く職種およびその役割を理解し、医師に求められる態度・習慣の学習活動に役立てる。		
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 医師に求められる態度や習慣について理解できる。 II 医学とそれに関する領域の知識 配属先の職種やその業務内容について理解できる。 III 医療の実践 患者やその家族と身近に接し、患者側の気持ちを理解することができる。 IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 患者やその家族、指導者と適切なコミュニケーションが取れる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 実習を通じて医療に関わる様々な人々の役割を理解するとともに、その人々の医療に対する思いを理解できる。 VI 国際的視野と科学的探究 —		
評価方法	■ 実習態度・技能（80％）《 I, II, III, IV, V 》 ■ 実習報告（20％）《 I, II, III, IV, V 》		
《 》内は評価するアウトカムのコンピテン番号を記載			
授業計画	〈実施期間〉 2026年2月16日（月）～3月6日（金）※土日・祝日を除く ※前期入試日程を除く 〈方 法〉 (1) オリエンテーションの実施 (2) 各部署での実習 (3) 実習報告（グループワーク、発表会の実施） 〈モデル・コア・カリキュラム対応番号〉 PR-01-01-01/02, PR02-01-01/02, PR-02-03-01/02 CM-01-01-01/02/03/05, CM-02-01-02, CM-03-01-02 IP-01-02-01, IP-02-04-01		
【】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載			
授業外学修（事前学修・事後学修）			
テキスト	特になし		
参考書	特になし		
学生へのメッセージ等	配属及び詳細については別途周知する。		

地域基盤型医療教育コース

コース責任者：教育開発センター 教育教授
コーディネーター：教育開発センター 教育教授
対象学生：緊急医師確保枠学生

1. 授業の概要

地域基盤型医療教育コースは、第1学年4月1日から開始される。

2. 授業のねらい

奈良県立医科大学は、高度先進医療を担う専門医を養成するとともに奈良県の地域医療を担う人材を養成する責務を負っている。学生諸君は一般教育で教養を涵養し、基礎医学を学んでリサーチマインドを身に付け、そして医師としての自覚とともに1000を超える疾患の病態生理、診断、治療について学ぶことが求められている。

しかし、大学附属病院は3次医療機関として高度先進医療を行なうことが責務であるため、来院する患者は特殊なあるいは稀な疾患であることが多く、また、治療のための在院期間が非常に短いのが通例である。つまり、特殊な疾患に求められる高度で核心的な治療を短期間に集中して行っている。いわゆるCommon diseaseや特定の疾患の治療を時間軸全体（初診から治療完結まで）で学ぶこと、そして、患者医療を支える社会的資源（福祉、介護など）を学ぶためにはキャンパス内での学習では不十分である。この地域基盤型医療教育コースはキャンパス内では学ぶことが難しいこれらの学習課題を学ぶために企画されている。このカリキュラムを通じて学生諸君が、地域住民の健康管理および医療の実態を知るとともに、プライマリケアの在り方、全人的医療の重要性を学び、同時に住民との触れ合いを通じて人間性を涵養することを願っている。

3. 授業計画

1) 正規プログラム

医学・医療入門講義（1年次）、早期医療体験実習（1年次）は準備教育として学内で実施する。

地域医療実習1（3年次）および地域医療実習2（臨床医学Ⅲ）は地域診療所、地域基幹病院など学外施設を利用して行われる。

キャリアパス・メンター実習は卒後のキャリア形成支援の一環として学内で実施する。

2) 休暇中特別プログラム

緊急医師確保枠学生地域医療特別実習1（1～4年次）、緊急医師確保枠学生地域医療特別実習2（5～6年次）のうち、地域診療所等で実習する「地域医療メンター実習」は夏季・冬季・春季のいずれかの休暇中等に実施する緊急医師確保枠学生のためのプログラムである。

コンソーシアム実習は夏季休業中に早稲田大学と連携して隔年で「地域医療学概論」として本学で開講されるプログラムであり、緊急医師確保枠学生は原則1年次～4年次までの間に1回、その他の1年次～6年次までのすべての学生は選択科目として受講できる。

詳しい授業内容については、シラバス「緊急医師確保枠学生地域医療特別実習Ⅰ、Ⅱ」を参照してください。

4. 評価方法

各学年毎に活動状況を総合的に評価する。

5. 推奨する教科書

特になし

6. 参考図書

特になし

7. 学生へのメッセージ等

実習の詳細については、事前に説明会を開催して説明します。緊急医師確保枠学生地域医療特別実習1（1～4年次）、緊急医師確保枠学生地域医療特別実習2（5～6年次）の日程調整については教育開発センター実習コーディネーターが対応しています。

研究医養成コース

コース責任者：医学部長

コーディネーター：教育開発センター 教育教授

1 授業の概要

1) 学部における実施の概要

研究医養成コースは、第2学年4月1日から開始される。

2) 大学院における実施の概要

卒業後2年以内に医師免許を取得し、奈良県立医科大学大学院医学研究科（博士課程、4年間）、関西医科大学大学院医学研究科（博士課程、4年間）または早稲田大学大学院（先進理工学研究科後期課程、3年間）のいずれかに進学し、博士の学位を取得する。奈良県立医科大学または関西医科大学では3年での取得を目指す。（医師免許取得後、直ちに臨床研修（2年間）に従事することは可能）

2 授業のねらい

基礎医学・社会医学の分野において、世界的に貢献する研究者となるための基礎を身に付ける。

3 授業計画

1) 正規プログラム

本コース学生は6年一貫教育の基本単位をもとに特別の単位を加えた学部課程と大学院課程から構成される「研究医養成プログラム」を履修する。

学部課程においては、2年次リサーチ・クラークシップを必修履修し、研究マインドを醸成する。

また、研究医メンター実習では、各自が将来専門にしたいと希望する基礎医学・社会医学系教室で指導を受ける。

2) 休暇中特別プログラム

夏季・冬季・春季の休暇中にも、「研究医特別メンター実習」を必修履修し（2～4年生対象）、基礎医学・社会医学系教室で5日間の実習を履修する。

なお、研究医養成コースの学生は、毎年1回は、研究発表会を学内で開催し、医学部長、指導担当教員、教育開発センター教員から評価を受けることが義務付けられる。

コンソーシアム実習は夏季休暇中に早稲田大学と連携して開講されるプログラムであり、本コースの学生は隔年で早稲田大学で開講されるコンソーシアム実習「先端医療工学と生命科学」を在学期間中に必修履修する。

3) 早稲田大学 Writing Scientific Papers

本コースでは、在学中に英語のライティングの基礎を学び、英語の論文や文書に対応できるようにする。このコースも研究医養成コースの学生について必修とする。

ホームページ参照

<https://led.w-as.jp/gogaku/wsp.html>

4 評価方法

各学年毎に活動状況を総合的に評価する。

5 推奨する教科書

特になし

6 参考図書

特になし

7 学生へのメッセージ等

メンター実習の日程調整については教育開発センター実習コーディネーターが対応しています。

講義科目名称： 緊急医師確保枠学生地域医療特別実習1

授業コード： I200010

英文科目名称： Community Medicine Special Training 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中	1～4年	-	必修（緊急医師確保枠の学生）
担当教員			
若月 幸平			
添付ファイル			

全担当教員	若月幸平（教育開発センター）、地域基盤型医療教育協力施設担当者
概要	奈良県の地域医療の充実に必要な医師の養成及び確保を図るため、医師の確保が困難な県内の地域に所在する医療機関又は医師の確保が困難な診療科等において、将来、医師として業務に従事しようと意欲を持って「緊急医師確保入学試験枠」で入学した学生に対し、地域で教育し、地域での交流の成功体験を増やすことによって地域への定着を促進することを目的とする
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム 私たちのプロフェッショナル宣言を遵守し、医学生としてふさわしい行動を示すことができる。 II 医学とそれに関する領域の知識 □高血圧や糖尿病といったCommon diseaseの基本知識を説明することができる。 □社会保障制度、公衆衛生、地域保険、産業保険、健康危機管理を理解し、説明することができる。 III 医療の実践 実習において各医療現場の役割を理解し、説明することができる。 IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 □実習を通して他職種の役割を理解し、お互いに良好な関係を築きながら協働することができる。 □患者さんおよび家族と良好な人間関係を築くことができる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 □社会保障制度、公衆衛生、地域保険、産業保険、健康危機管理を理解する。 □地域医療の担い手となるための心構えを身につける。 VI 国際的視野と科学的探究 経験した症例に対してリサーチマインドを持ってより理解を深めることができる。
評価方法	■レポート（80%）《Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ》 ■受講態度（20%）《Ⅰ》
《》内は評価するアウトカムのコンピテンス番号を記載	
授業計画	1) 対象者 医学科1年～4年次の緊急医師確保入学試験枠学生全員 2) メンター実習 休暇中の平日の4日間、奈良県立医科大学教育協力施設等の医療施設で実習をおこなう 3) メンター実習報告会（年2回） 夏休み明け、春休み明けに開催する報告会で実習レポートの発表をする （1年次は実習に参加していないが入学後すぐに開催する報告会に出席し先輩の発表を聞く） 4) 研修等 教育開発センター、地域医療学講座、県費奨学生配置センターが緊急医師確保入学試験枠学生のために企画する会議、研修に参加する 5) 面談 緊急医師確保入学試験枠学生として大学生活を充実して送っているかを確認する。また学生が制度を理解し健やかな生活ができるよう助言する （面談者：教育開発センター、地域医療学講座、県費奨学生配置センター、奈良県担当者） 〔モデル・コアカリキュラム対応番号〕 【A-1-2)-③④, A-1-3)-②③④⑤, A-2-1)-①②③④⑤ A-2-2)-②③, A-3-1)-①②, A-4-1)-①②③ A-4-2)-①②④⑥⑦, A-5-1)-①②③④, A-6-1)-④⑤ A-6-2)-①, A-7-1)-①②③④⑤⑥⑦, A-7-2)-①② A-9-1)-①②⑤, B-1-7)-①②③④⑤⑦, B-1-8)-①②③⑩⑫ E-7-2)-①②③, E-7-3)-③④⑤⑥, E-9-1)-①⑥⑦⑨⑩】
授業外学修（事前学修・事後学修）	
テキスト	特になし
参考書	特になし
学生へのメッセージ等	メンター実習や面談、研修の日程調整は、教育開発センターと県費奨学生配置センターが対応しています

講義科目名称： コンソーシアム実習

授業コード： I180240

英文科目名称： Consortium Practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中	1～6年	-	選択（緊急医師確保枠学生、研究医養成コースの学生は必修）
担当教員			
若月 幸平			
添付ファイル			

全担当教員	若月幸平（教育開発センター）、コンソーシアム実習担当教員（早稲田大学、奈良県立医科大学）
概要	1. 「医工学と医学」医学と工学が融合した医工学と医療の関わりについて医学、工学の両側面から学ぶ。 2. 「地域医療学概論」地域医療に関わる行政、経営、予防医学、医療の現状について学ぶ。
目標	I 倫理観とプロフェッショナリズム ☐医学生としてふさわしい行動を示すことができる。 ☐医学、医療の発展に貢献する使命感と責任感を持つことができる。 II 医学とそれに関する領域の知識 地域医療や医工学の知識を理解することができる。 III 医療の実践 コンソーシアム実習で得た知識を医療の実践に活用することができる。 IV チームマネジメントとコミュニケーション技能 他学の学生や教員と適切なコミュニケーションをとり、積極的にグループワークに参加することができる。 V 医学、医療、保健、社会への貢献 ☐医学・医療の研究と開発が社会に貢献することを理解できる。 ☐地域医療に関わることの必要性を理解できる。 VI 国際的視野と科学的探究 ☐実習で経験した内容をさらに深く学ぶための自己学習ができる。
評価方法	■受講態度（60%）《Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ》 ■レポート（40%）《Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅴ、Ⅵ》
《》内は評価するアウトカムのコンピテン্স番号を記載	
授業計画	1) 対象：医学科1～6年次 自由選択科目 開講される科目、日時などの詳細は別途周知する。 2) 実習内容 夏季休業中に早稲田大学（東京）あるいは本学で開講される4日間の集中講義、ワークショップを履修する。 講義は、早稲田大学と本学の両方の教員が分担する。 ※令和7年度は本学で8月18日（月）～21日（木）に「地域医療学概論」を開講予定。
【】内は授業時に関係するモデル・コア・カリキュラムの番号を記載	
授業外学修（事前学修・事後学修）	
テキスト	特になし。授業中に資料を配布します。
参考書	特になし。
学生へのメッセージ等	他大学の学生と触れ合う貴重な機会です。奮ってご参加ください。

奈良県立医科大学医学部公欠規程

平成28年2月4日制定

(目的)

第1条 この規程は、奈良県立医科大学学則第25条に規定する学生の欠席について、奈良県立医科大学がやむを得ないと認める理由（以下「理由」という。）による欠席（以下「公欠」という。）の取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

(公欠の定義)

第2条 公欠とは、学生が次条に規定する理由により講義、実習等を欠席した場合、これを単位認定、科目修得及び履修要件における欠席扱いとしない取扱いをいう。

(公欠の理由)

第3条 公欠を認める理由は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 学生が学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症に罹患したことにより出席停止措置を受けた場合、又は健康管理センター長が学生の出席停止措置が必要であると認めた場合
- (2) 気象警報の発表、交通機関の運休等により学生の通学が困難であると認められた場合
- (3) 学生の親族が死亡した場合（忌引）
- (4) 学生が裁判員制度による裁判員又は裁判員候補者に選任された場合
- (5) 学生がカリキュラム履修や教員の指導下で実施している自主的研究において、教員が必要と認める学会等に参加する場合
- (6) その他学長が必要と認めた場合

(公欠の基準)

第4条 前条第1号及び第3号における公欠の基準については、別表第1に定めるとおりとする。

(公欠の手続)

第5条 公欠の適用を受けようとする学生は、公欠届（別紙様式）に別表第2に定める書類を添えて、学長に提出するものとする。

- 2 学長は、前項の規定により公欠届の提出があったときは、その内容を第3条及び第4条の基準に基づき審査し、公欠として適正と認める場合はこれを許可する。
- 3 公欠の申出時期は、原則として別表第2のとおりとする。ただし、学長が別に定める場合はこの限りではない。
- 4 公欠の許可について、公欠届の内容及び理由によりやむを得ないと認められる場合には、学長は公欠希望日に遡ってこれを認めることができるものとする。

(公欠時の講義、実習等の取扱い)

第6条 教員は、公欠を許可された学生に対し、講義、実習等の履修において、補講、個別指導等の実施により当該学生が不利とならないよう配慮を行うものとする。

ただし、実習等については、公欠を許可されても、追実習、評価及び単位認定ができない場合がある。

(公欠時の定期試験等の取扱い)

第7条 公欠を許可された期間は、奈良県立医科大学医学部医学科授業科目履修要領第5条第3項及び奈良県立医科大学医学部看護学科授業科目履修要領第7条に規定する定期試験等の受験に係る授業時間数には含めないものとする。ただし、前条に規定する補講等が実施された場合は、当該時間数に含めるものとする。

2 公欠を許可された学生に対する定期試験等の取扱いにおいて、奈良県立医科大学医学部医学科授業科目履修要領第5条第4項及び奈良県立医科大学医学部看護学科授業科目履修要領第8条第2項に規定する疾病その他やむを得ない理由については、第3条各号を適用するものとする。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、学長が別に定める。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

別表第 1（第 4 条関係）

感染症について(第3条第1号関係)

	対象疾病	出席停止期間
第一種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎(ポリオ)、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る)、MERS、鳥インフルエンザ(病原体がインフルエンザウイルスA属インフルエンザウイルスであってその血清型がH5N1、H7N9であるものに限る)	治癒するまで
第二種	インフルエンザ(鳥インフルエンザH5N1を除く)	発症した後(発熱の翌日を1日目として)5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで
	百日咳	特有の咳が消失するまで、又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
	麻疹	解熱した後3日を経過するまで
	流行性耳下腺炎	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
	風疹	発しんが消失するまで
	水痘	すべての発しんが痂皮化するまで
	咽頭結膜熱	主要症状が消退した後2日を経過するまで
第三種	結核、髄膜炎菌性髄膜炎	病状により本学健康管理センター医師、その他の医師が感染のおそれがないと認めるまで
	感染性胃腸炎(ノロ・ロタ等)	症状のある間が主なウィルスの排出期間なので、下痢、嘔吐症状が消失してから48時間を経過するまで。手洗いを励行すること。
	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他感染症	病状により本学健康管理センター医師、その他の医師が感染のおそれがないと認めるまで

忌引について(第3条第3号関係)

親等	対象範囲	日数(土日・祝祭日を含む)
	配偶者	最長7日
1親等	父母、子	最長7日
2親等	祖父母、兄弟姉妹、孫	最長3日

別表第 2（第 5 条関係）

手続方法について

以下の理由により欠席する場合は、公欠届及び以下の添付書類を提出すること。

欠席理由	添付書類	申出時期
感染症等(第3条第1号)	医師の診断書	診断書による療養期間終了後すみやかに
忌引(第3条第3号)	会葬の案内状、礼状等	事後1週間以内
裁判員制度(第3条第4号)	用務内容が記載された書類	招集日の1週間前まで
学会等参加(第3条第5号)	学会等の概要がわかる書類	学会等参加の1週間前まで
その他(第3条第6号)	理由が証明できる書類	事後1週間以内

※(第3条第2号関係)

気象警報の発令、交通機関の運休等社会的要因によるものについては、添付書類の提出は不要とする。

公 欠 届

年 月 日

奈良県立医科大学長 殿

第 学年 (学籍番号)

氏 名

記

- ☐ 感染症等
☐ 気象警報、交通機関運休等
☐ 忌引（続柄 ）
☐ 裁判員制度
☐ 学会等参加
☐ その他（ ）

- 年 月 日 ~ 年 月 日

[illegible]

– 143 –

奈良県立医科大学医学部医学科における成績評価異議申立てに関する要領

(目 的)

第1条 この要領は、奈良県立医科大学医学部医学科に在籍する学生（以下、「学生」という。）が履修するすべての科目について、奈良県立医科大学医学部医学科授業科目履修要領第7条第6項に規定する成績評価に対する異議申立てに関し必要な事項を定める。

(成績に対する確認)

第2条 学生は、成績に対して確認すべき事項がある場合は、授業科目担当教員に、直接確認することができるものとする。

(確認依頼受付期間)

第3条 前条による確認依頼の受付期間は、成績開示後、一定期間を設けるものとする。

(確認に伴う措置)

第4条 第2条による確認依頼を受けた授業科目担当教員は、所定の期間内に確認結果を回答するものとする。

2 前項の回答に当たっては、授業科目担当教員が直接当該学生に確認結果を回答するものとする。

(異議申立て)

第5条 前条の規定による確認結果に異議がある学生で、次の各号に掲げる事項に該当する場合は、別に定める「成績に対する異議申立書」（以下「異議申立書」という。）を学長あてに提出することにより、異議申立てができるものとする。

(1) 成績の誤記入等、明らかに担当教員の誤りであると思われるもの

(2) シラバスや授業時間内での指示等により周知している成績評価の方法から、明らかに逸脱した評価であると思われるもの

2 前項の異議申立書は教育支援課を通じて提出するものとする。

(異議申立て受付期間)

第6条 前条による異議申立ての受付期間は、当該学生が第4条による回答を受理後、一定期間を設けるものとする。

(受 理)

第7条 学長は、第5条による異議申立書を受理した場合は、医学部教務委員会において当該異議申立ての審査を行うものとする。

2 学長は、異議申立てを受理する事由に該当せず、異議申立てを却下する場合は、速やかに当該学生に通知するものとする。

(審査結果の報告及び対応)

第8条 医学部教務委員会は、当該異議申立ての審査を行い、その結果を学長に報告し、学長が決定するものとする。

2 教育支援課は、学生及び授業科目担当教員に当該結果を成績に対する異議申立てに関する回答書により通知する。この場合において、異議申立てを容認する結果であった場合は、授業科目担当教員に成績について変更する措置を行わせるものとする。

3 異議申立てへの回答に対して再異議申立ては認めない。

(雑則)

第9条 この要領に定めるもののほか、必要な要領は別に定める。

附 則

この要領は令和5年4月1日から施行する。

出席確認端末について

1 導入教室

キャンパス名	棟	諸室
畝傍山キャンパス	講義棟	情報処理 PC ルーム 101、医看合同講義室 108 多目的中講義室 104・105、中講義室 201～204 大講義室 206
	実習研究棟	成人・老年看護学実習室、基礎看護学実習室、 母性・小児看護学実習室、在宅・老年看護学実習室
四条キャンパス	基礎医学棟	第1・第2講義室、生化学実習室、生理学・薬理学実習室、 組織実習室、小講義室
	臨床講義棟	第1・第2講義室

2 操作手順

- ・出席確認端末では、授業開始前の 10 分間(授業開始時刻は含まない)に学生証をかざした場合のみ「出席」と記録されます。

(例) 1 時間目 (9 : 00 開始) の場合は 8 : 50 から 8 : 59

- ・端末に学生証をかざし、電子音が鳴り画面に「学籍番号」と「氏名」が表示されると読取り完了です。

3 注意事項

- ・出席確認方法は科目によって異なりますので、各教員の指示に従ってください。
- ・端末に記録が残されていない場合は欠席扱いになるので注意してください。
- ・学生証を忘れた場合は、欠席扱いとなるので注意してください。
- ・動作確認できない場合や操作に不安がある場合は、再度端末にカードをかざしてください。
- ・教務システムで各自の出席状況を確認できますが、実際の出席数を反映しているかどうかは、科目責任者に確認してください。
- ・なお、他人の学生証を端末に通す等の不正行為をすれば、学則第 41 条の規定により、けん責、停学又は退学処分の対象になるので十分注意してください。

〈参考〉奈良県立医科大学学則（抜粋）

（懲戒処分）

第 41 条 学長は、学生がこの学則及びこの学則に基づく規程並びに学長の指示及び命令にそむき、学生の本分に反する行為があったとき、これに対し懲戒処分として、けん責、停学又は退学の処分をすることができる。ただし、退学の処分は、次の各号の一に該当する者に対してのみ行うことができる。

- 一 性行不良で改善の見込がないと認められる者
- 二 学力劣行で成業見込がないと認められる者
- 三 正当の理由がなくて出席常でない者
- 四 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

試験に関する諸注意

1 試験の注意事項

- ① 学生証不携帯の場合は、受験不可のため、教育支援課で仮学生証の発行を受けること。
- ② 携帯電話、スマートフォン、タブレット、アップルウォッチ等の電子通信機器の使用は禁止のため、電源を切りカバンの中へ入れること。試験中にこれらの機器の音声やアラームが聞こえた場合、カバンの中に入っていることも不正行為とみなす。
- ③ 机の上には、筆記用具（鉛筆、シャープペンシル、消しゴムなど）、時刻表示機能のみの時計、メガネ、学生証、特別に持込を許可された物以外は置かないこと。
- ④ その他、試験監督者の禁止するものを持ち込んではいけません。
- ⑤ 試験中に質問がある場合は挙手し、試験監督者の指示に従うこと。
- ⑥ 試験中における私語及び物品の貸借は一切禁止する。
- ⑦ 次の場合、当該試験は無効とする。
 - ・ 答案を提出しない場合
 - ・ 学籍番号・氏名等の記入がない場合
 - ・ 試験監督者の指示に従わない場合
- ⑧ やむを得ず欠席する場合は、試験開始までに教育支援課に連絡を入れること。無断欠席した場合は、追再試験の受験資格を失う。

2 遅刻・退室等について

- ① 試験開始後、入室限度時刻を超過した遅刻者は受験できない。
※遅刻し、かつ、学生証を忘れた場合は、仮学生証の発行を終えて試験室へ入室した時間が入室限度時間内かどうかで受験の可否が判断される。
- ② 公共交通機関の遅延で遅刻した学生については、別途協議のうえ対応する。
- ③ 試験開始後、入室限度時刻までは退出できない。
- ④ 一度退出した者は、再び入室できない。
- ⑤ 体調不良・トイレ等で一時退室した場合、試験時間の延長は行わない。

3 不正行為について

- (1) 試験における不正行為とは、次に掲げる行為をいう。
 - ア 書籍、ノート、メモ、携帯電話等を試験中に参照すること。
 - イ 他人の答案をのぞき見たり、答案を見せ合うこと。
 - ウ 音声や動作等により解答に役立つ情報を伝え合うこと。
 - エ 机などに解答に役立つメモ等を残すこと。
 - オ その他、前記行為に類する行為
- (2) 参照を許されていない書籍、ノート、メモ、携帯電話等を試験中に机の下部棚などに置くことは、実際に参照したかどうかを問わず、不正行為と見なす。
- (3) その他、不正行為に関する試験監督者の注意や指示に反する行為は、不正行為と見なす場合がある。

4 不正行為を行った者に対する処分

試験において不正行為を行った者については、当該科目及び関連科目の試験を無効とし、進級又は卒業を停止する。不正行為が悪質であると判断された場合には、学則第41条による懲戒処分を行う。

暴風警報等発表時における授業の措置について

(平成26年1月8日 医学科・看護学科学務委員会等 決定)

台風等の接近に伴い奈良県北西部に「暴風警報」または「特別警報」(大雨、暴風、大雪、暴風雪)が発表されたときの授業の取扱いは原則として次のとおりとする。

【共通事項】

- (1) 午前7時現在「暴風警報」または「特別警報」(大雨、暴風、大雪、暴風雪)が発表されているときは、午前の授業は休講とする。
- (2) 午前11時までに「暴風警報」または「特別警報」(大雨、暴風、大雪、暴風雪)が解除されたときは、午後の授業のみ行う。
- (3) 午前11時以降も「暴風警報」または「特別警報」(大雨、暴風、大雪、暴風雪)が解除されないときは、当日の授業は休講とする。ただし、大学院は下記(7)によることとする。
- (4) 午前11時以降の授業時間中に「暴風警報」または「特別警報」(大雨、暴風、大雪、暴風雪)が発表された場合は、当該授業終了後はすべて休講とし、速やかに帰宅させることとする。
 - ① 「暴風警報」または「特別警報」(大雨、暴風、大雪、暴風雪)が発表された場合のクラブ活動等の課外活動は、禁止とする。
 - ② 「暴風警報」または「特別警報」(大雨、暴風、大雪、暴風雪)が発表された場合の図書館及び自習室等の学内における学生の自習については、禁止とする。

【医学科】

- (5) 医学科の学内及び学外実習については、上記(1)～(4)を原則とし、当該実習施設の指導者の判断に基づき決定することとする。

【看護学科】

- (6) 看護学科の臨地実習については、原則上記(1)～(4)のとおりとする。ただし、学外で実習を行っている場合の措置については、当該実習担当教員が実習先の指導者と協議し、原則として実習を中止し帰宅させる。ただし、台風等の接近に伴い帰宅に危険が伴うことが想定される場合は、実習先で待機させる等の柔軟な対応を行うこととする。

【大学院】

- (7) 大学院については、午後4時までに「暴風警報」または「特別警報」(大雨、暴風、大雪、暴風雪)が解除された場合は、午後6時以降の授業を行う。午後4時以降も解除されない場合は、終日休講とする。
- (8) 実習については、上記(6)に準ずるものとする。

*なお、状況によって警報発表の有無にかかわらず別段の決定を行うことがある。

地震発生等災害時における授業の措置について

地震発生等災害時における授業の取扱は原則として次のとおりとする。

1. 講義

- ①教育支援課が被害状況、交通機関の運行状況等の情報収集を行い医学部長に報告
- ②医学部長が①を確認し、授業の実施、今後の方針等を判断（必要に応じて看護学科長（看護学科長と連絡が取れない場合は、看護教育部長）と協議）
なお、医学部長と連絡が取れない場合は、事務局長が判断
- ③教育支援課は医学部長の判断を教務システム及び大学ホームページに掲載し、周知

休講とする判断の目安

○近鉄大阪線及び橿原線が同時に運休した場合

※ 交通機関の運休等により登校できない場合は、公欠扱いとする。

2. 実習

当該実習の担当教員、領域長及び指導者と協議し、必要に応じて実習を中止し帰宅させる。ただし、帰宅に危険が伴うことが想定される場合は、実習先で待機させる等の柔軟な対応を行うこととする。

※「暴風警報等発表時における授業の措置について」に準じる。

【災害等発生時 教育支援課 緊急連絡先】

- ① 0744-22-3051（大学代表番号）
- ② 0744-22-9844（四条キャンパス直通）
- ③ 0744-29-8805（畝傍山キャンパス直通）
- ④ 0744-29-8917（畝傍山キャンパス直通）

※医学科 2～6 年生は①②、医学科 1 年生及び看護学科生は①③④の番号にご連絡ください。

健康管理

(1) 学生相談

学生が学生生活を送るうえでの様々な相談に応じるため、臨床心理士による学生カウンセリングルームを週1回開設しています（予約制）。

カウンセリングを希望する場合は、教育支援課又は教員（学生生活相談担当教員、アドバイザー教員、研究指導教員など）を通じて申し込んでください。

申し込みする場合、希望のカウンセリング日を伝えてください。カウンセラーと日程調整を行います。

なお、相談内容の秘密は固く守られます。

(2) 健康相談

学生が健康上の相談をしたい場合は、校医による健康相談を受けることができます。教育支援課又は健康管理センターに申込み、日程調整をしてください。

(3) 健康管理

健康状態について、常に自己管理を心がけてください。登校中、又は学内において体調が思わしくない場合は、教育支援課に欠席を届け出たうえで早めに帰宅して静養するなり、医療機関を受診するなどしてください。帰宅が難しいほど不調の場合は、教育支援課に連絡し(5)の健康管理センターの指示に従ってください。

(4) 定期健康診断

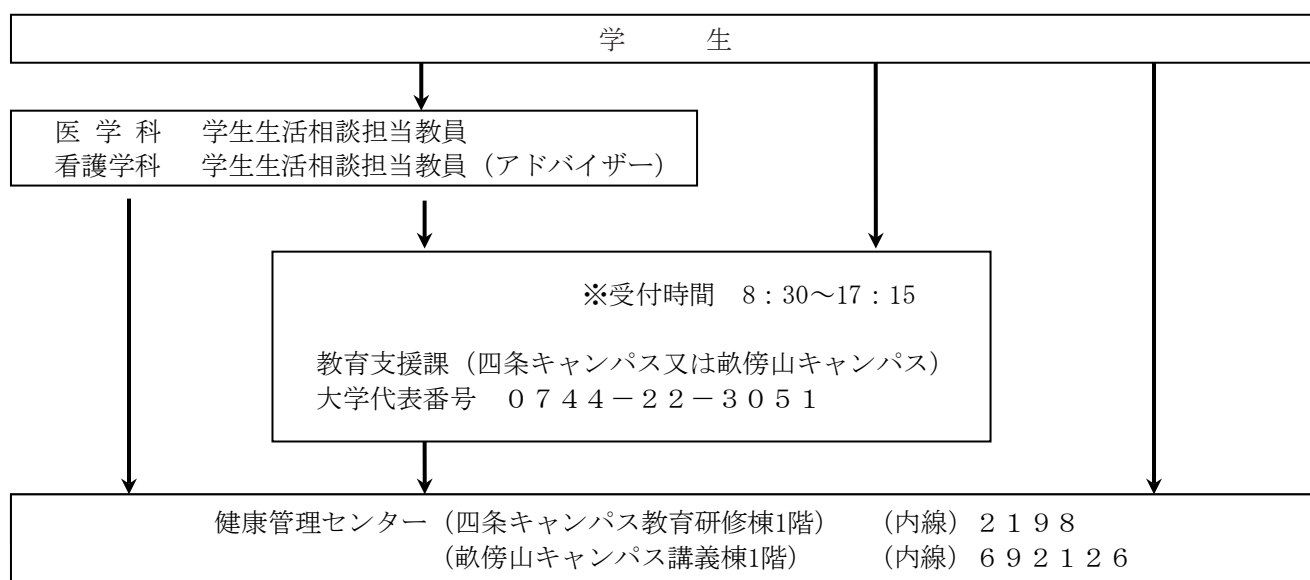
学校保健安全法により、定期健康診断の実施が義務付けられています。

各学年とも毎年1回、4月以降に実施する定期健康診断を受けなければなりません。定期健康診断を受診できなかった学生は、定期健康診断項目について自己責任で受診し(5)の健康管理センターに結果の写しを提出してください。

また、医学科1年生、編入2年生、看護学科1年生・看護学研究科1年を対象に結核感染防止のためのIGRAs検査、麻疹（はしか）・風疹（三日ばしか）・流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）・水痘（水ぼうそう）の4種感染症抗体価検査及びB型肝炎抗原抗体検査を実施します。さらに、B型肝炎抗原抗体検査の結果、ワクチン接種対象とされた方にはB型肝炎ワクチン接種を実施します。健康診断結果は今後必要などときがあります。大切に保管しコピーをして活用してください。

(5) 健康管理センター（四条キャンパス及び畝傍山キャンパスに各1か所設置しています）

学内において緊急を要する怪我・発病等の場合は、下記により健康管理センターに連絡してください。応急対応やベッドでの休憩などが可能です。必要に応じて医療機関を案内します。なお、健康保険証は常に携帯しておくことをお勧めします。



(6) 附属病院の受診を希望される方へ

本大学の附属病院を受診される場合、他院もしくは健康管理センターの発行する紹介状を持参されると選定療養費が免除されます。

健康管理センターにて紹介状の発行を希望される方は、平日午前 8 時 30 分～午後 4 時 30 分までに健康管理センターに行き、受診理由等を記載してください。

なお、緊急の場合を除き附属病院の受付時間（平日午前 8 時 30 分～午前 11 時）外は受診することはできません。また、診療科により外来診療を行っていない曜日があるため、事前に調べておいてください。

(7) 感染症対策

感染性の疾患にかかった場合、速やかに医療機関を受診し、教育支援課に連絡してください。診断が出るまでは登校を控え、診断が出た場合は医師の指示に従ってください。併せて、診断結果を教育支援課に連絡してください。欠席しても公欠が認められますので、登校後に診断書と公欠届を提出してください。

なお、新型コロナウイルス感染症については発症日を 0 日目とし有症状 7 日間、無症状 5 日間の出席停止としています。

ただし大学からの対応方針が状況に応じて更新されているので、最新の情報を把握してそれに従ってください。

主な感染症の出席停止期間

(その他の疾患でも教育支援課又は健康管理センターの指示に従って下さい)

感染症の種類	出席停止期間（登校基準）
インフルエンザ (※)	発症した後（発熱の翌日を 1 日目として）5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日を経過するまで。
百日咳	特有の咳が消失するまで、または 5 日間の適切な抗菌薬療法が終了するまで。
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	耳下腺等の腫脹が発現した後 5 日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで。
麻疹（はしか）	発疹に伴う発熱が解熱した後 3 日を経過するまでは出席停止。ただし、病状により感染力が強いと認められたときは、さらに長期に及ぶ場合もある。
風疹（三日ばしか）	発疹が消失するまで。
水痘（水ぼうそう）	すべての発疹がかさぶたになるまで。
感染性胃腸炎 (ノロ・ロタ等)	下痢、嘔吐症状が消失してから 48 時間を経過するまで。手洗いを励行すること。
B 型肝炎	急性肝炎の急性期でない限り登校は可能。HBV キャリアの登校を制限する必要はない。ただし、血液に触れる場合は手袋を着用するなど、予防策を守ることが大切。
髄膜炎菌性髄膜炎	病状により校医等において感染の恐れがないと認めるまで。

(※) 鳥インフルエンザ（H5N1、H7N9 など）及び新型インフルエンザ等感染症は別途対応。

附属病院での実習時には、B 型肝炎、麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘の抗体価およびワクチン接種記録の提出が求められます。また、学外の実習受け入れ施設でもワクチン接種を済ませていることを要件とする場合があります。海外留学時にも抗体検査結果やワクチン接種記録が求められます。実習に参加できない事態を避けるため、定期健康診断においてワクチン接種が必要とされた者は、必ずワクチン接種を済ませておいてください。またワクチン接種記録は速やかに健康管理センターに報告するとともに、医療機関に勤める際にも必要になりますので自己管理してください。

義棟 1階



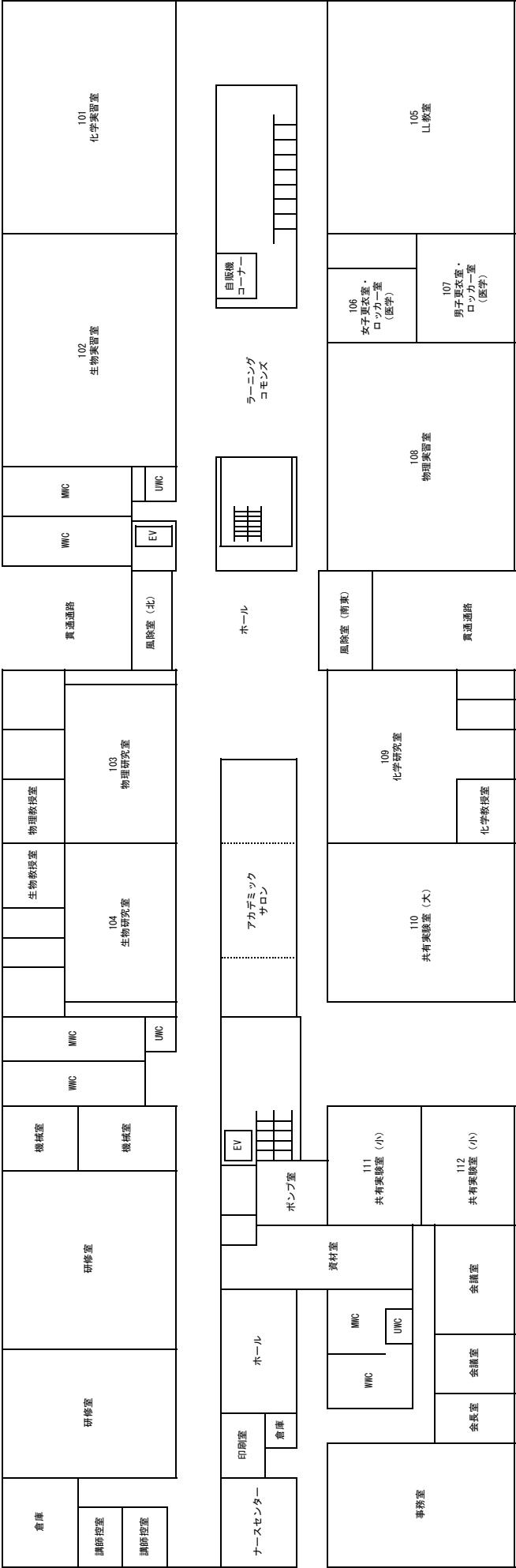
畝傍山キャンパス 講義棟 2階

201 中講義室	202 中講義室	WMC	WMC	203 中講義室	204 中講義室	205 小ロッカー	206 大講義室	WMC	WMC
テラス	吹抜	吹抜	吹抜	吹抜	吹抜	EV	吹抜	ラーニング コモンズ	ラーニング コモンズ
108 設備合同講義室	EV	倉庫	EV	207 精神・公衆衛生 看護学習室	208 小講義室	209 小講義室	210 小講義室	211 多目的小講義室	212 多目的小講義室
213 臨床手技トレーニング室	EV	バルコニー	EV	214 多目的小講義室	215 多目的小講義室	216 多目的小講義室	217 多目的小講義室	218 多目的小講義室	219 多目的小講義室

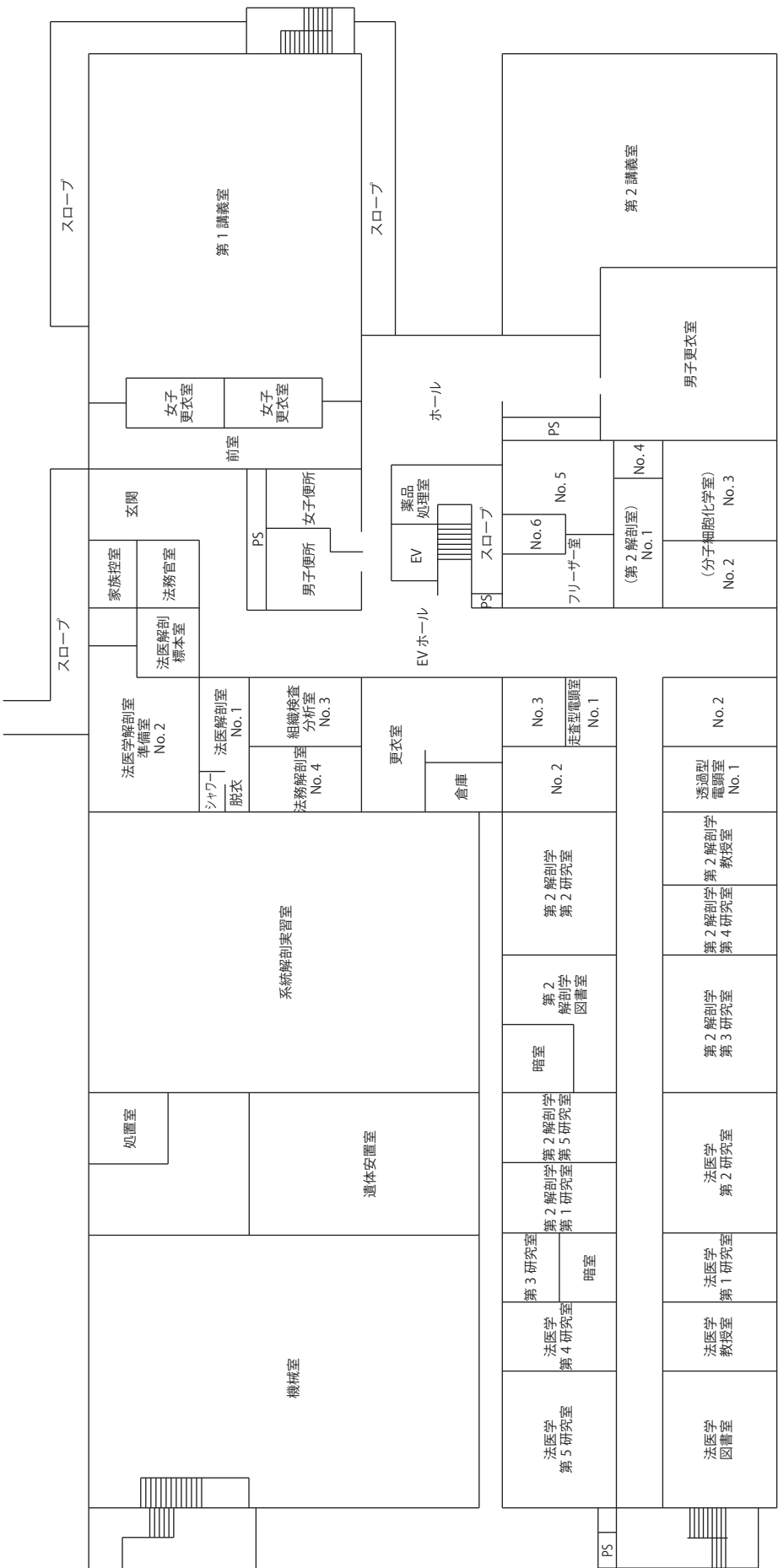
敵傍山キャンパス 講義棟 3階

301 演習室		302 演習室		WIC		MWC		303 演習室		304 演習室		305 演習室		306 演習室		307 演習室		308 演習室		309 演習室		310 演習室		311 演習室		312 演習室		313 演習室		314 演習室																					
				UWC																																															
ラーニング コモンズ				吹抜												ラーニング コモンズ				吹抜												ラーニング コモンズ																			
				吹抜 吹抜																吹抜 吹抜																EV															
315 演習室		316 演習室		EV		倉庫		317 演習室		318 演習室		319 演習室		320 演習室		321 演習室		322 演習室		323 演習室		324 演習室		325 演習室		326 演習室		327 演習室		328 演習室																					

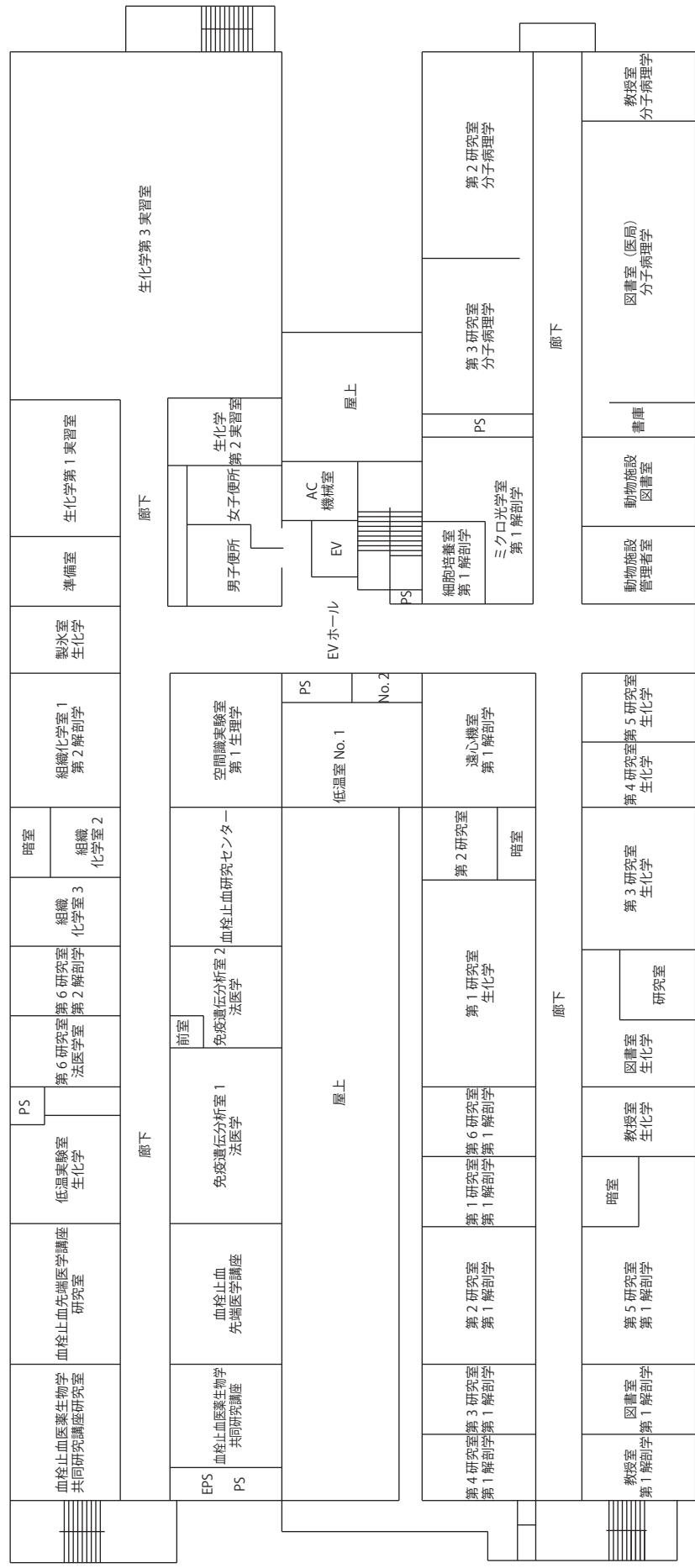
畝傍山キャンパス 実習研究棟 1階



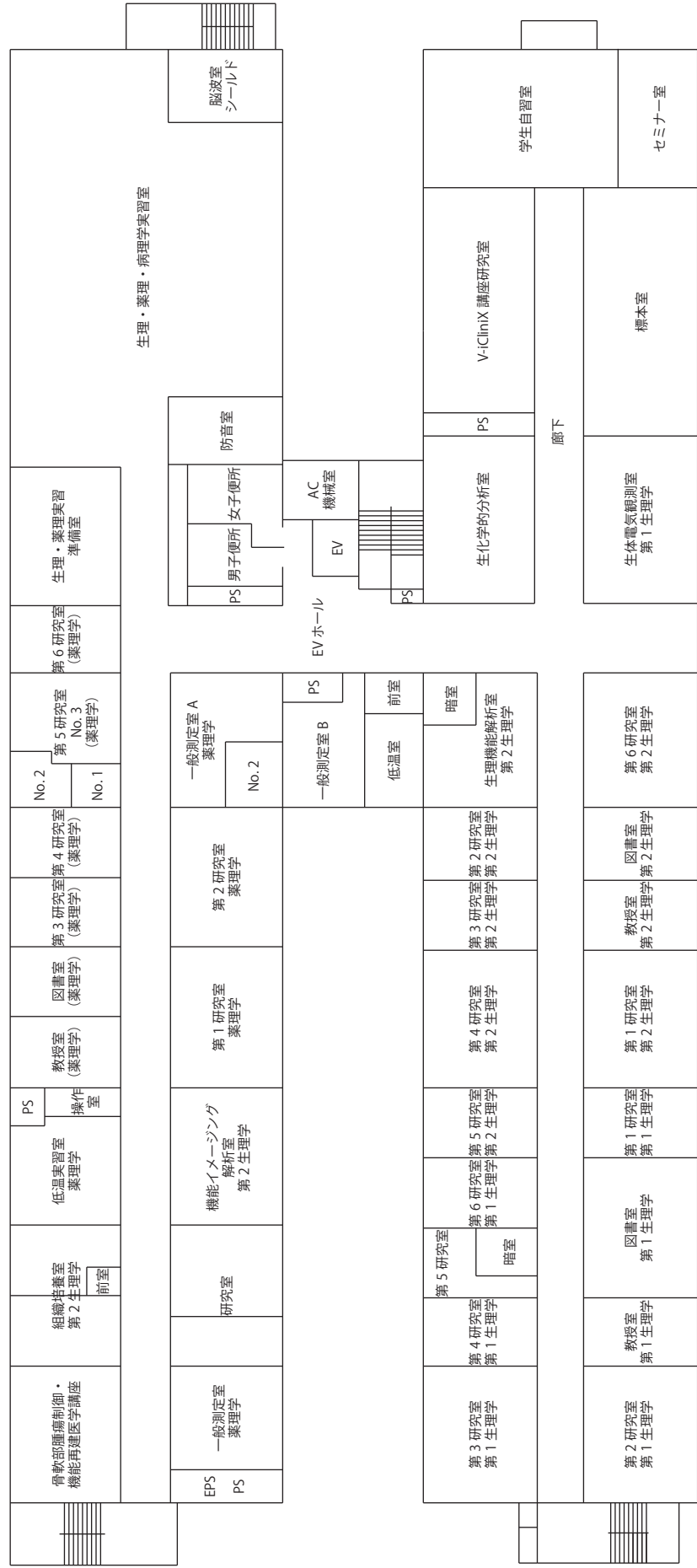
4 条 キャンパス 基礎医学棟 1 階



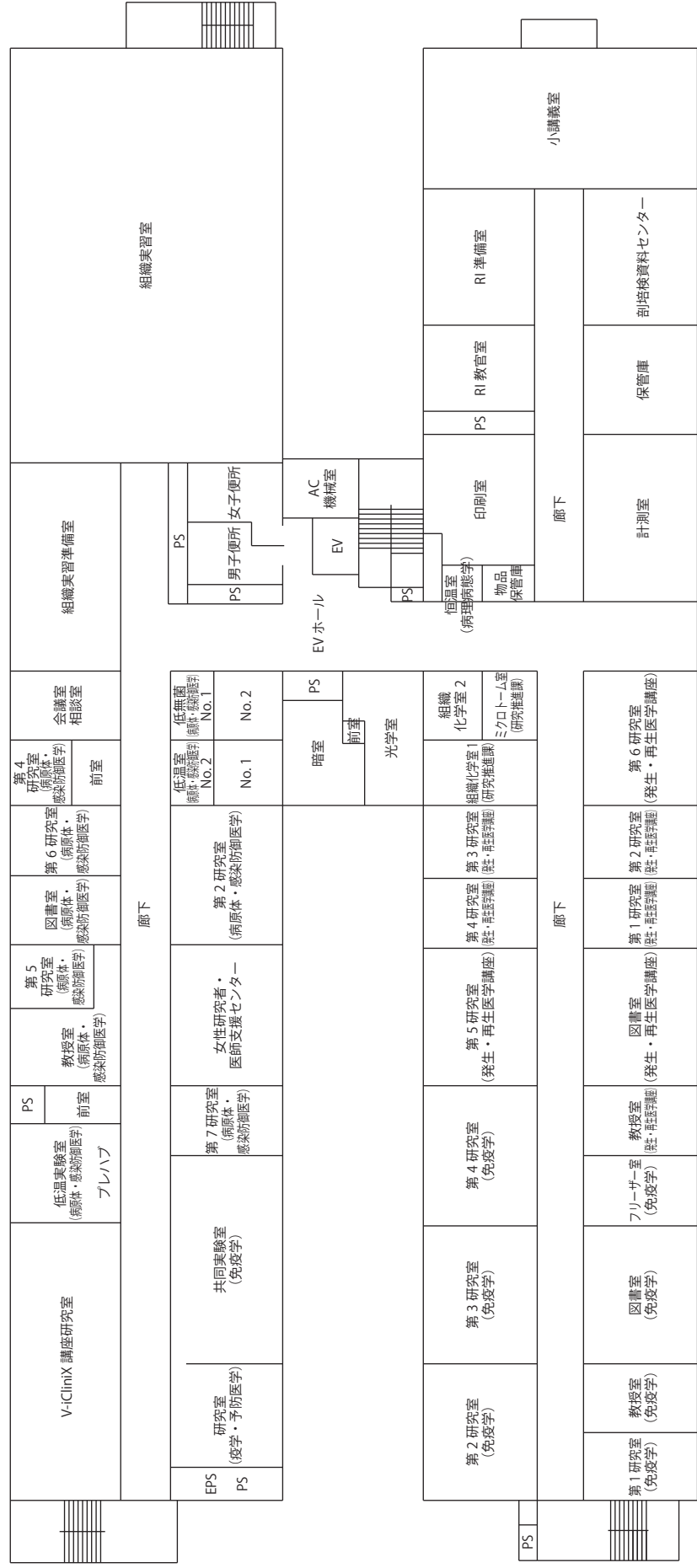
四条キャンパス 基礎医学棟 2階



四条キャンパス 基礎医学棟 3階



四条キャンパス 基礎医学棟 5階



附属病院

医局棟・管理棟1階

管理棟 廊下

便所		
機械室		
便所	放射線診断・IVR学	

廊下

医局棟 廊下

総合画像診断センター	
------------	--

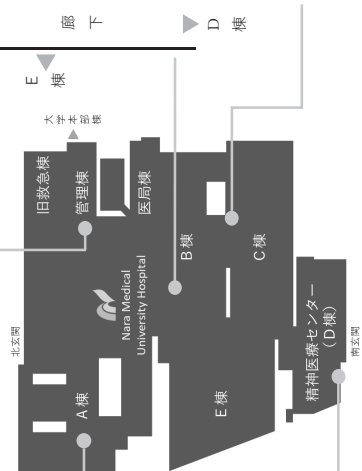
A棟2階

腎臓内科学

A棟5階北

医師・患者関係学	糖尿病・内分泌科学	放射線腫瘍医学	医療安全 推進室	感染管理室	感染症内科学

醫師・患者關係学



D棟1階

精神科 外来	倉庫等		廊	通路	精神医学 研究室	会議室	ダイケア	南玄関

南玄閱

医局棟・管理棟2階

管理棟 廊下

便所			
総合 医療学			
便所	NICU	消化器内科学	呼吸器内

廊下

医局棟 廊下

小兒科学	脳神経内科学	循環器内科学
------	--------	--------

医局棟・管理棟3階

救急医学	
産婦人科学	口腔外科学

管理棟 廊下

便所	胸部・心臟血管 外科学	整形外科学
皮膚科学		
便所	眼科学	耳鼻咽喉・ 頭頸部外科学
		脳神経外

廊下

医局棟 廊下

消化器・	泌尿器科学	麻酔科学	総合外科学
------	-------	------	-------

B棟2階

廊下	リハビリテーション 医学	血液内科学	中央臨床検査部 臨床実習室	光庭

廊下

B・C棟2階 **がんゲノム・腫瘍医学**

B·C棟3階